

1991年1月1日発行(通巻255号=毎月1日発行)昭和54年3月20日第3種郵便物認可

MAGAZINE FOR REAL MOTORCYCLISTS
ライディング 臨時増刊

MFJ 1991 MFJ
MOTORCYCLE
SPORTS
RULES

国内競技 規則書

[1991年版]



財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

加速レスポンスが違う! 高性能プラグ

プラチナ特殊合金中心電極

プラチナ特殊合金の超極細中心電極(0.7φ)使用により、飛火性を向上。接合部はレーザー3点溶接により、すぐれた信頼性を発揮します。



テーバーカット接地電極

従来のU溝カットをさらに極めたテーバーカット接地電極の採用により、消炎作用を低減させ、着火性を向上。絶妙の加速レスポンスと高出力を実現しました。



ZU

DENSO
SPARK PLUGS
日本電装株式会社
〒448 愛知県刈谷市昭和町1-1 TEL.0566)25-5511

ヴ
イ
ヴ
イ
ツ

ド
レ
ス
ポ
ン
ス



サーキット・スペック

BATTLAX-S RADIAL

このグリップから、ヒーローが生まれる。

バトラックスS・ラジアルが追い求めてきたもの、それは勝利。パタン、形状、構造、コンパウンド…。すべてがたれよりも速く、華麗なる走りを実現するために研究開発されてきた。そして今、高度に進化した第2世代ラジアル「MS・BELT(モノスパイラル・ベルト)」が誕生。BT-70S RADIAL(リア)に搭載して、その真価を発揮する。バトラックスS・ラジアル。常にサーキットを騒がせてきたタイヤだ。

BATTLAX

'90鈴鹿6時間
耐久ロードレース

1.2.3位独占!

'90鈴鹿4時間
耐久ロードレース

V5を達成!

'89全日本選手権シリーズ国際A組
250ccクラスチャンピオン 岡田忠之

MS・BELT

第2世代ラジアル誕生。

MS・BELTのメリット

- ①軽量化に成功 ②グリップの向上 ③旋回性の向上
- ④高速性能の向上 ⑤優れたダンピング効果

BT-625 RADIAL THE DRY & WET

好評発売中!



NEW

**THE DRY
BT-70S
RADIAL**



NEW

**THE WET
BT-73S
RADIAL**



BIKE NATURALIST

河原・森林・山野にはや風や砂塵が舞います。
走行場所、走行方法には
十分気をつけて走りましょう。

●走行写真は、プロライダーによる走行を撮影したものです。無理な走行をしないようにしましょう。



静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
 - いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけてしまいます。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

B'Harmony

人とバイクの友好生活

Let the Good Times Roll!
人とバイクと、そして「遊び」のいい関係

250!

Pure Enduro Racer KDX250R

スーパーモトクロスカーKX250をベースに、エンデュロレーサーとしての最強のパフォーマンスを備えたKDX250R。エンジンは、パワフルな中低速域と扱いやすい出力特性を獲得し、アグレッシブな走りを生み出す。またペリメーターフレーム、大径倒立フロントフォークの採用により、高剛性化とともに高い操縦安定性を実現。リヤサスペンションには、'91KX250と同形式のユニトラックを搭載。作動性の良さと高い耐久性・信頼性を得ている。ブレーキは大径ディスクプレートを装着し、強力なストップパワーとコントロールな制動性を確保。その他、マスの集中化や低重心化を図った。戦闘力を極限まで昇華した最強エンデュロ。KDX250R。

KDX250R ● Engine type: Liquid-cooled, 2-stroke, Single, Piston reed valve, 3 WAY KIPS ● Displacement: 249cc ● Max. power: 40ps/7,000rpm ● Max. torque: 4.1kg-m/6,500rpm ● L×W×H: 2,165mm×850mm×1,250mm ● Dry weight: 107kg ● Color: Lime green

メーカー希望小売価格 449,000円 価格には消費税は含まれていません。消費税額は、別途計算のうえ申し受けます。

●価格は北海道及び沖縄を除くメーカー希望小売価格です。●改良のため、仕様及び価格は予告なしに変更することがあります。●公道及び一般交通の用に供する場所では一切走行できません。



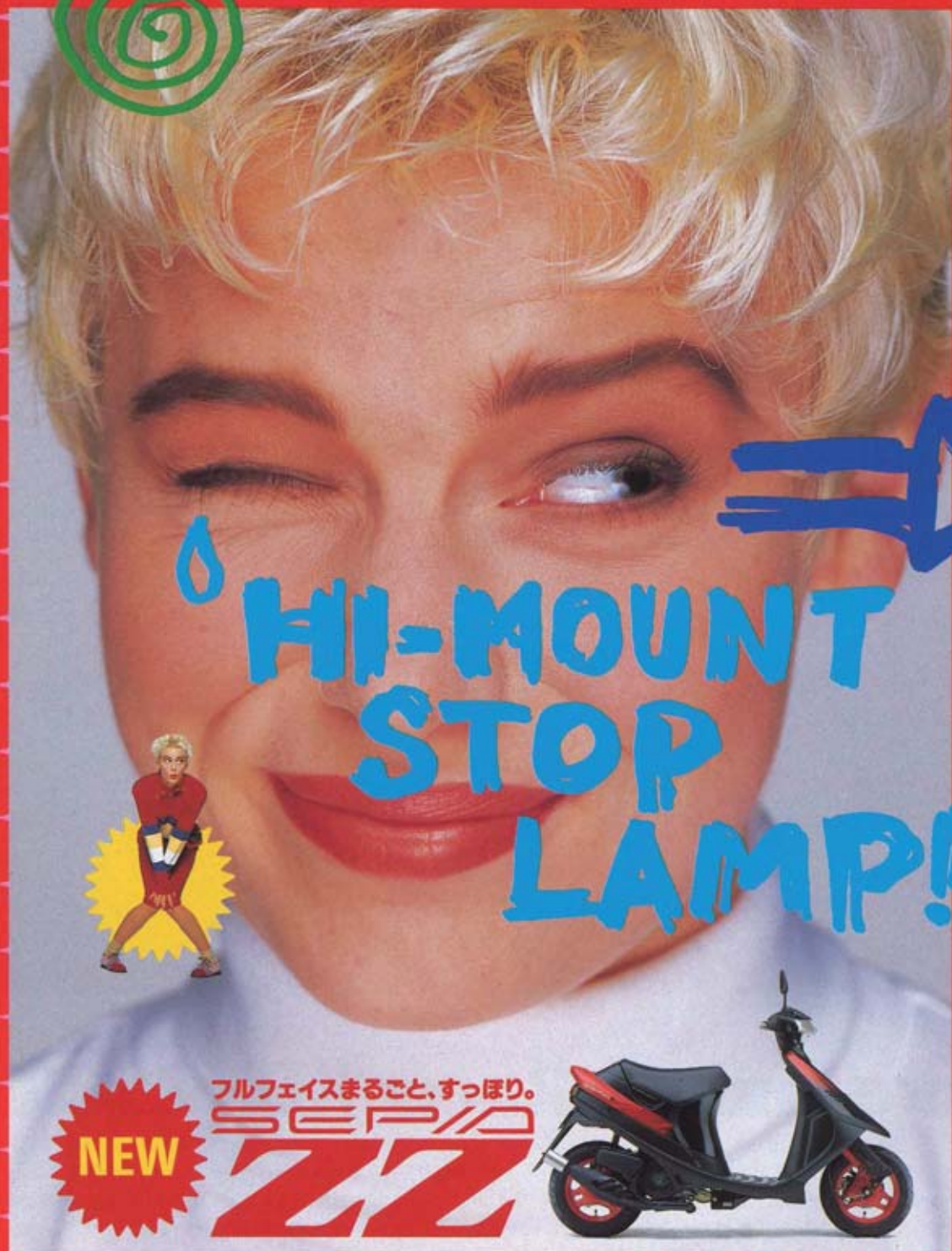
「ARK」はカワサキの正規販売店
Authorized and Reliable shop of Kawasaki
カワサキ車ならびに純正部品・商品のお求め、ご相談は
必ずこのマークのある信頼と安心のカワサキ正規販売店
「アーク」で、必ず「ARK」でお買い求めください。

Kawasaki Member Club

KAZE メンバー募集中。
バイクを持っている方も、持っていない方も……。バイクに興味のある方なら、
カワサキライダーズクラブ「KAZE」にご入会ください。毎月のお楽しみのお届けや
割引の特典など入金メリットがいっぱい。ご入会のお申し込み・お問い合わせは
「ARK」もしくはKAZE本部事務局（フリーダイヤル0120-100899（無料））へどうぞ。

Kawasaki
カワサキオートバイ販売株式会社

カタログご希望の方は、車種名と雑誌名を明記し1万円切手も同封の上、〒673 明日香川崎町1-1 カワサキオートバイ販売株式会社（カタログ係）までご請求ください。



NEW

フルフェイスまるごと、すっほり。
**SEP10
ZZ**



※セピアZZが、グッドデザイン選定商品に選ばれました。



静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造！
 - いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし！
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけてしまいます。
- カタログご希望の方は、機種名、雑誌名を明記し、切手175円分を同封のうえ、〒432-91浜松市外高塚 スズキ株式会社スズキインフォメーションセンター SEP10 ZZ係へ。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン！
- カーブ・交差点では、スローイングダウン！

B'Harmony

人とバイクの友好生活



ピカイチの後ろ姿。走りのZZZ、ハイマウントストップランプでめかしこむ。

ピカイチのセピアZZZ。

ハイパワー7馬力のエンジンをはじめ、さらに速く、超えるために鍛えたピカイチの走り。そして新たに今、後ろ姿にピカイチの印象、ハイマウントストップランプを装備。さらなる洗練、ひときわの精悍さを身につけて、ピッカピカの新生セピアZZZ、登場です。

※型式:A-CAT1ED ※燃料消費率27.4km/l ※実燃費約100km/l ※最高出力7.5馬力 ※エアロリジッドブレーキ ※ハイマウントストップランプ ※防曇ランプ付 ※XLS125の747cc(56.9ml)が搭載されるハイマウントストップランプ ※車体重量170kg(タンクフル時) ※最高時速100km/h ※エンジンオイル容量0.8L ※エンジンオイル交換間隔1000km ※エンジンオイル交換時、エンジンオイルを交換してください ※エンジンオイルを交換する際は、必ずエンジンオイルを交換してください ※エンジンオイルを交換する際は、必ずエンジンオイルを交換してください ※エンジンオイルを交換する際は、必ずエンジンオイルを交換してください

メーカー希望小売価格 ¥149,000 (北海道・沖縄および一部離島を除く) ※価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれていません。消費税額は別途計算の上、申し受けます。

YZ YAMAHA ANSWER.

YZをエンデューロマシンに鍛え上げる。
オフ性能の頂点を追求し続けるヤマハの解答である。

モトクロスの頂点を駆け、なおも勝つために進化し続けるYZ。それを支えるものは、最強のオフロード性能を追い求めるヤマハの純粋なレーシングスピリッツにほかならない。'89年、その情熱はYZのエンデューロバージョン、YZ250WRをアメリカで誕生させ、'91年、さらに戦闘能力を高めWRシリーズを完成させた。そして、いま、ヤマハはここ日本にも本格的なエンデューロマシンを送り出す。US/WR200Rの国内モデル、DT200WRである。YZ125のメインフレーム、倒立フォーク、ヒギーバックリアサスペンションをはじめ、使用されるパーツの殆どをYZベースとし、200ccフルサイズのチューンドエンジンを搭載した、まさにYZの分身的なマシンである。リアル・エンデューロ、DT200WR。これは、オフを知り尽くし、勝つことの意味を知る者が辿り着く、たった1台のマシンだ。



PURPLISH WHITE SOLID1/
VIVID MAGENTA SOLID1

REAL ENDURO
New DT200W

●型式3XF ●木炭2サイクル ●冷却系・水冷 ●最高出力25ps 3,000rpm ●最大トルク3.0kgm 3,000rpm ●リターン式5段 ●総重量107kg ●カラーリングレバー・リアタンクカワイヤ・リフト・セパレートマゼンダリアリフト・ハーブグリップカワイヤ・リフト・セパレートリアリフト ●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部離島を除く) ●価格には保険料・税金(含む消費税)・登録などに伴う費用等は含まれていません。 ●消費税額は別途計算の上申し受けます。 ●メーカーオプションで選定可能な付属品は別途表示します。

静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
 - いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけてしまいます。



見る・見られる・いい運転。 **B'Harmony**

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

人とバイクの友好生活

「あかるいスポーツ」宣言。
YAMAHA MOTORCYCLE

S

R

フルバージョンソフト
20巻1もありませ。 ¥419,000



河原・森林・山野には小鳥や動物がいます。
走行場所、走行方法には
十分気をつけて走りましょう。

DT200WRの資料請求についてのお問い合わせは下記のフリーダイヤルまで
☎ 0120-200-819

只今、
予約受付中。
'91年1月12日発売
詳しくは、お近くのヤマハ販売店
までお問い合わせ下さい。

55mph

ヤマハのバイクマガジン『55mph』Vol.10 12月20日、発進します。

今回のVol.10は、バリエーションが豊富なモデル豊富なA4型対向04ベーン。●ご希望の方はヤマハ販売店で手にするか、半誌約半720円分。カレンジャーは初号900円分(いずれも税込み)を別封して、お配りして。あて先：〒438静岡県静岡市駿河区2500ヤマハ発動機株式会社55mph編集部(※次の書店でもお求めいただけます。東海バス内東海河原店(東海)、紀伊屋書店(新栄橋)、三友堂書店(神岡橋)、文芸堂書店(美の国橋)、坂屋書店(銀座・大塚)、有隣堂書店(伊勢橋本町橋)、福家書店(銀座・大塚)、ツアロ出版、秀林堂書店(宝塚)、新東宮ブックサービス(銀座)、スターグラフ(豊比野)



YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県静岡市駿河区2500

チャンピオンだって、チャレンジャーだ。



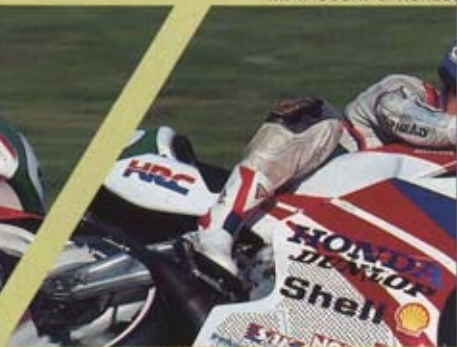
★ GP500 CHAMPION

S. ITO & NSR500 (PENTAX HONDA R. T)

M. TAGUCHI & NSR250



T. ARAKAKI & NSR250 (TEAM HRC)



T. KUROKAWA & NSR250 (TEAM HRC)



★ GP250 CHAMPION

T. OKADA & NSR250 (TECHNICAL SPORTS KANTO)



★ TT-F1 CHAMPION

K. IWAHASHI & RVF750 (B.V.D. YAMAMOTO RACING)

S. MIY

Come ride with us.  HONDA

ありがとう

バイクが好きだから、セーフティライド。



H. MIYAGI & NSR500 (AJINOMOTO BLUE FOX)



H. OKUMURA & NSR250 (SCUDERIA OKUMURA)



(ENDURANCE R. T)



T. UDAGAWA & NSR250 (ENDURANCE R. T)



N. AOKI & NSR250 (CUPNOODLE TS KANTO HONDA)



ZAKI & RVF750 (an team BLUE FOX)

'90全日本ロードレース選手権 4部門チャンピオン獲得!!

GP500(伊藤真一)/GP250(岡田忠之)/GP125(坂田和人)/TT-F1(岩橋健一郎)

最後まで熾烈な争いをみせた全日本ロードレースシーン。ホンダは4つのクラスに、チャンピオンを誕生させることができました。レースにはスポーツの感動があります。コンマ数秒に苦杯をなめた勝負がありました。ケガにもめげず、果敢なライディングで勝ちとった栄光もあります。すべてがドラマ。私たちはファンのみならずと胸の熱くなる場面をともにできたことが、なにより嬉しい。そして、いま私たちのチャレンジ精神は、次のステージへと動いています。モーターサイクルがいつまでも、人のこころを揺さぶりつつける乗りものであるために。

熱い声援。'91レースシーンもホンダが沸かせてみせる。

静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
 - いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけてしまいます。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

B'Harmony

人とバイクの友好生活

最高のパートナーシップを



北海道

新オーランド札幌
〒004 札幌市白石区南幌町中央3番11-1
TEL.011-850-3223

ホンダウイング札幌
〒060-14 東区南郷町77
TEL.011-213-9466

株ナカガフ
〒004 札幌市中央区南5条西5丁目
TEL.011-811-6417

ホンダ札幌販売
〒004 札幌市中央区南5条西5丁目
TEL.011-641-5267

南アヤマモーターサイクル
〒002 札幌市東区北15条東5丁目2
TEL.011-852-6600

バイクーズ
〒001 苫小牧市東中野町9-14-12
TEL.0184-32-6310

南ホンダウイング北
〒000 札幌市東区北24条東2丁目4-1
TEL.011-784-5111

岩手

株エヌエー盛岡支
〒020 盛岡市東野町津生町20-4
TEL.0196-35-2516

宮城

株クルーズ
〒981-15 仙台市青葉区中町102
TEL.0224-62-0671

株ホンダスポーツ ウィリー
〒982 仙台市青葉区13-5
TEL.022-246-2515

ホンダ宮城販売株
〒982 仙台市青葉区3-8
TEL.0222-47-0123

ホンダライディングクラブ
〒982 仙台市青葉区13-61
TEL.022-287-4548

広野輪業商会
〒986 仙台市青葉区4-30
TEL.0226-22-2255

株ライドスポットピバ
〒982 仙台市青葉区13-12
TEL.022-258-3020

株ビッグフォー小松島
〒983 仙台市青葉区高砂中道4-1
TEL.022-216-1118

ホンダテクニカルショップ
〒961-11 仙台市青葉区南郷町2番20番
TEL.0222-42-1880

ホンダウイングベスト
〒982 仙台市青葉区南郷119-16
TEL.022-248-7628

TOWNS原町ホンダ
〒981 仙台市青葉区南郷11-15
TEL.022-258-5635

ホンダスポーツ ウィング
〒982 仙台市青葉区南郷11-15
TEL.022-261-2429

秋田

ホンダオートセンター
〒010 秋田県外城川町野田1020-2
TEL.0198-64-5266

横手サイクルセンター
〒013 横手市北町10-1
TEL.01823-2-9811

ホンダハート
〒017 大館市南2-2-12
TEL.0196-45-0815

山形

株ホンダウイング荘内
〒984-01 庄内市大字区野中道730-1
TEL.0234-62-3838

株ホンダウイング 夢屋
〒992 山形市大町7-23-25
TEL.0236-43-2097

ホンダウイング サイトウ
〒996 新庄市中央町8
TEL.0233-22-1845

サイクルショップ 川口
〒992 米沢市東3-2-18
TEL.0238-23-4158

福島

モト・ビット・マックス
〒963-11 会津若松市南郷町47-1
TEL.0243-23-2455

コジマオート
〒961 西白河町西郷村大字中野原字新山4
TEL.0248-25-2294

ホンダウイング福島
〒960-05 福島市上野町4-4番11-4
TEL.0245-53-8437

セフティーホンダ
〒960-05 福島市南郷3-315
TEL.0249-45-7182

株エヌエーいわき支
〒970-11 いわき市南郷町南郷1-1
TEL.0246-23-2137

ホンダウイングいわき
〒970-11 1-11 南郷町南郷町南郷1-1
TEL.0246-36-5122

南桜井輪業商会
〒960-02 福島市南郷町南郷字中野原18
TEL.0243-42-3588

茨城

南ワールド ツクバ
〒300-28 結城郡八千代町大字南山田894
TEL.0296-49-3138

カシマレーシング BIKE
〒314 鹿嶋市鹿嶋町南郷11
TEL.0293-83-7428

モトアルファ
〒312 勝田市南郷1-4-4
TEL.0292-72-1988

日立ホンダ販売株
〒317 日立市南郷町7-2
TEL.0294-22-0604

オートショップ大月
〒209-17 茨城県水戸市中央1-1-18
TEL.0297-7-6324

バイクセンター ホリウチ
〒308 下館市南1120-1
TEL.0296-29-3818

モトショップユタカ
〒300-01 茨城県水戸市南郷1010-15
TEL.0298-62-4120

小林モーターサイクル
〒312-02 鹿嶋市南郷町南郷1846
TEL.0299-2-7871

モトハウスミヤ
〒317 日立市南郷14-29
TEL.0294-22-1987

福島モーターズ
〒311-25 行方町南郷町南郷14-8
TEL.02959-0-0205

スポーツショップ秋山
〒209-12 茨城県水戸市南郷1118-1
TEL.02967-0-5149

ホンダウイングマイ・ロード
〒311-01 鹿嶋市南郷町大字南郷1040-1
TEL.0292-95-0012

栃木

I・FACTORY
〒229-02 小山市南郷1-13-45
TEL.285-25-0508

赤色で記載されているのがHRCサービスショップです。

あなたとレーシング・スピリットを語り、
ウィニング・ランに向けてバックアップしていく。
それがHRC商品取扱店です。
ホンダ・レーシングが頂点で磨き、フィードバックしてきた
市販レーサー・マシンと各種キット・パーツの販売はもちろん
レースで培ってきたテクノロジーや知識、ノウハウを紹介。
あなたのレース・シーンはここから始まります。
勝利を目指して走るのなら、
必ずや、最高のパートナーシップが実現します。

求めて。

宇都宮ホワイトハウス

〒321 宇都宮市院前1-1
TEL.0286-22-0821

株ホンダセンター栃木 西川田店

〒321-01 宇都宮市西川田500
TEL.0286-59-2456

小林商会

〒206 足利市南町2307
TEL.0284-41-3825

モトハウスアスカ

〒302 鹿沼市下町2-106
TEL.0279-62-3838

大井輪業

〒217-03 幸袋郡西沢町大字西田284
TEL.0275-32966

株ショップ竹沢

〒102 葛西市茂原3-3
TEL.0299-76-1230

群馬

オートショップ金谷

〒319-01 藤原郡足利町五里1217
TEL.0277-76-2308

株エヌエー前橋店

〒379-01 前橋市上河原町3-1-18
TEL.0272-24-3581

マイティースロード ツツミ

〒309-01 多野郡吉野町長門114
TEL.0273-87-3888

プロショップ ツツミ

〒379-26 北群馬郡吉野町中島404-4
TEL.0279-54-5031

久保田モーターサイクル

〒378-01 山形郡大田町大田学園401-1
TEL.0271-73-3477

株ジョイフルスポーツ

〒316 沼田町下久保町947-6
TEL.0278-29-6348

セーフティウイング 玉木

〒379-01 群馬市上河原町1483
TEL.0272-83-8198

モトショップシロタ

〒316 高崎市中央町408-4
TEL.0273-61-0522

モトウエイ

〒305 群馬県前橋市1000-4
TEL.0272-61-8440

アンプルセンター トライアルパーク

〒319-02 藤原郡吉野町長門179-84
TEL.0273-93-3302

ホンダWING ミツマタ

〒271 群馬県太田市1-27-6
TEL.0272-31-8311

埼玉

株ホンダショップ和光

〒301-01 朝霞市南町29-17
TEL.0484-61-3478

株エンテュラス

〒302 川越市山崎467-1
TEL.0492-22-7770

株オートショップ ミスィマ

〒134 川口市南町11-5
TEL.0482-96-4537

株インターテック

〒100 東京都千代田1-1-1
TEL.048-648-0264

モトウイング ガル

〒300-13 茨城県下妻市東12-1
TEL.0429-54-7487

株サイクルロードトー

〒320 大宮市日進町3-948-2
TEL.0486-51-7877

バイクショップ タマキ

〒302 川口市伊賀2-18-23
TEL.0482-94-2515

株佐藤本店

〒369 所沢市幸町1-114
TEL.0485-21-6313

オートショップ赤石

〒362 上尾市南1-17
TEL.0487-75-8756

株無限

〒301 群馬県藤岡市1-15-11
TEL.0484-61-4121

AZTEC 鴻巣

〒365 鴻巣市東国103-1
TEL.0485-96-5421

バイクショップ ハラグチ

〒363 鴻巣市東1-1-1
TEL.0485-42-2353

株アルティエス

〒301 東京都府中市4-4-7-5
TEL.0484-61-1618

株ホンダ東松山 四輪部

〒365 東松山市西郷2-764
TEL.0493-24-2211

ホンダウイング メカハウス

〒306 川崎市麻生区南3-2
TEL.0492-42-9832

ホンダモトスポーツ ワカバ

〒300-02 入間郡熊谷町南東1-5
TEL.0492-86-3763

株エヌエー大宮店

〒328 大宮市東区南3-52-11
TEL.0486-51-1811

オートランドTOM

〒346 北葛城郡草加町南町280-1
TEL.0485-35-0819

株ロッカース

〒300-1 埼玉県下川原町420-2
TEL.0429-54-6489

AZTEC所沢

〒326 所沢市12-2-8 13-12
TEL.0429-24-5211

ホワイトハウス

〒301 埼玉県下川原町南東100-2
TEL.0484-65-2369

モトショップ ノースアイランド

〒300-02 埼玉県川島市1-2
TEL.0482-84-5180

杉平モーターズ

〒328 所沢市下川原町1-23
TEL.0488-31-4278

モトショップRS

〒328 大宮市大宮4-284
TEL.0486-66-9108

株ライオン

〒302 群馬県北町1-2-4
TEL.0484-75-1721

株インターテック 浦和店

〒130 浦和町大宮東町1479-1
TEL.048-674-7051

株モトマン

〒300-01 埼玉県川島町南東410-5
TEL.0482-57-1558

株ヒトミ オートサロン

〒300-04 入間郡毛呂山町大字西大井1882-1
TEL.0492-94-9965

株金城サイクル

〒340 志保町アツチ101
TEL.0489-50-2780

株荘レーシングチーム

〒302 川口市南5-18-38
TEL.0482-57-2543

千葉

モトライフポイント ユー・ギア

〒271 船橋市北千代1-4
TEL.0473-61-1651

岩内モーターズ

〒270-01 船橋市青草4888
TEL.0471-64-7950

スポーツショップ フクシマ

〒273 船橋市東町1-14-28
TEL.0474-24-3754

レーシングサプライ フクシマ

〒284 神奈川県川崎市E238-2
TEL.0434-23-1190

ホンダオートセンター千葉

〒292 水戸市南町314-9
TEL.0492-25-8190

ホンダウイング ドリームハウス

〒271 船橋市南町5-42-21 平塚ビル7
TEL.0473-68-3332

越川モーターズ16号店

〒276 八千代市南町25-1
TEL.0474-84-2217

HONDA WING TAKI

〒310-01 旗ヶ谷町東町2-4
TEL.0474-65-7300

東京

株ボールポジション

〒206 多摩市貝島57-3
TEL.0423-75-3093

オートショップ スガハラ

〒114 北区王子30-2
TEL.03-314-7500

株マックススポーツ

〒148 大田区中島町1-1-2
TEL.03-750-2811

HONDA SPORTS MOTO BUM

〒115 台東区今川1-10-13
TEL.03-831-4265

ホンダドリーム NODA

〒121 足立区東大塚12-12-105
TEL.03-689-8413

株バルク・プロ

〒149 東京都葛飾区南2-8
TEL.0425-68-3851

株馬事公苑 モーターハウス

〒184 春日部区桜丘3-1-1
TEL.03-425-8331

オートショップ風

〒176 練馬区豊島町9-17
TEL.03-358-8589

株多摩川輪業

〒201 昭島市幸町22-11
TEL.03-488-2387

株バシフィックル

〒186 杉並区高円寺南1-19-8
TEL.03-317-6582

オートボーイS.P.

〒132 江戸川区東葛22-31
TEL.03-678-8738

テクニカルショップ ファントム

〒100-11 西多摩郡羽村町東宝生2-18-2
TEL.0425-54-2206

B. B.レーシング

〒116 稲城市東武2-11-14 バイテック・ツタヤビル
TEL.03-963-5090

株エヌエー

〒111 台東区北尾根1-6-18
TEL.03-463-0681

株エヌジーシー

〒112 台東区南町3-10-2
TEL.03-631-1421

株ル・マン

〒100 東京都港区2-2-15
TEL.03-409-5086

東京国武興村

〒100 港区東赤坂町1-11-1 赤坂ビル3号
TEL.03-471-8264

ホンダ東京自販売

〒104 豊島区西池袋3-10-13
TEL.03-429-1221

株レーシングチーム カタヤマ夢釘工業(アリエ)

〒107 豊島区南池袋1-1-18 池袋プラザ 205
TEL.03-563-4427

株ガズウエイ

〒101 葛飾区東船場4-13-4
TEL.03-616-9382

株平野モーターズ

〒103 江戸区東中野409-34-10
TEL.03-467-3306

デルタオートモティブ

〒115 北區東船場4-13-11
TEL.03-998-8453

イオギオート ショールーム

〒187 杉並区今川1-10-13
TEL.03-384-7700

折懸スピードショップ

〒130 江戸区東大塚41-41-308
TEL.03-446-6878

株スタッフハウス

〒112 文京区千駄木22-6 東ビルA205号
TEL.03-944-2709

河井製作所

〒184 春日部区桜丘25-20-15
TEL.03-761-7033

上野パーツセンター

〒116 台東区上野4-8-7
TEL.03-671-2471

石塚輪業

〒180-01 西多摩郡五日市町伊勢町81-4
TEL.0425-96-2828

ホンダ販売寿命無限

〒186 練馬区東池袋4-12-18
TEL.0429-24-9032

株エーシー

〒152 世田谷区東横町1-10-18
TEL.03-710-1378

株ワンツー

〒187 渋谷区東池袋2-1-2
TEL.03-299-5481

久保モーターサイクル

〒175 稲城市東武2-12-12
TEL.03-939-5332

ジャイロ

〒186 杉並区南町12-1-1
TEL.03-314-0317

株井ホンダ

〒187 杉並区江古田3-4-3
TEL.03-327-3888

小平ホンダ

〒187 小平市江古田1-17-2
TEL.0423-44-6715

ライティングハウス

〒186 世田谷区東船場21-8
TEL.0425-28-0405

青城北ホンダオート 本社

〒181 杉並区東池袋50-30-6
TEL.03-952-6084

バイクランド ケイショー

〒102 中央区東船場2302
TEL.0425-53-2111

株ロードショップヒロセ

〒124 葛飾区小宮2-1-17
TEL.03-602-4535

世田谷ホンダ

〒152 世田谷区上野4-11-4 新築ビル
TEL.03-461-1150

株SRTアパッチ

〒134 板橋区桜丘102-18-28
TEL.03-831-7222

株若林製作所

〒109 東京都千代田2-1-14
TEL.03-685-7281

山田オート販売株

〒115 練馬区北町4-1-1
TEL.03-659-3381

株興村輪業

〒116 練馬区北町1-14-22
TEL.03-632-8384



'91 RS250R



※ 記載内容は1990年12月1日現在のものです。



フルバンクした相手が視界にある。
リアが滑っている。カウルが当たっている。
しかし右手はフルオープンを考えてた。

モーターサイクル パークビ

〒204 東京都中野区3-104
TEL.0424-93-2111

機工エエー多摩堂

〒203 東京都多摩区井ノ上2
TEL.0424-75-8111

モトショップユニコ

〒180 東京都府中市南町2-7-4
TEL.0422-32-5900

機サイクルスポーツ

〒180 東京都府中市南町2-7-4
TEL.0422-55-6248

ブルーポイント

〒176 東京都国分寺市1-14-15
TEL.03-931-1781

機モトライフ

〒177 東京都国分寺市1-12-15
TEL.03-935-7038

桜井ホンダII

〒180 東京都府中市南町2-7-4
TEL.0422-21-7371

小松原藤藤輪店

〒184 東京都上野区西日野1-12
TEL.03-386-1628

機在籍クレジットサービス

〒113 東京都文京区3-1-1
TEL.03-827-5432

機オートショップ江東

〒136 東京都江東区新木2-1-1
TEL.03-646-2501

サンベストホンダ

〒170 東京都足立区南千住2-9-4
TEL.03-953-4141

機オフ・サイド

〒136 東京都東区西日野1-12
TEL.0427-29-8971

関東本田商事株

〒140 東京都中野区中野2-14-14
TEL.03-953-6209

新編製伊

〒206 東京都文京区本郷4-10-14
TEL.03-489-4527

機バイクアイランドボパイ

〒487 千葉県野田市長通
TEL.0423-41-7665

20GARAGE

〒102 東京都文京区湯島1-17-13
TEL.0426-27-5479

神奈川

ホンダショップ成田

〒211 千葉県成田市中央3-8-29
TEL.044-41-1-471

機スーパーウイング まるやま

〒210 千葉県成田市東町2-2-29
TEL.0463-34-3661

機ライダーズサロン横浜

〒226 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.045-783-3638

ホンダウイング鎌倉

〒223 神奈川県鎌倉市大船1-2-15
TEL.0467-46-2702

機ビッグフォー

〒222 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.045-544-4455

モトファット

〒223 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.047-43-0022

機モトガレージ・トモ

〒216 神奈川県横浜市中区南幸1-12
TEL.044-233-2467

保田オートサービス

〒212 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.046-48-2322

機ワークス

〒225 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.047-56-9180

福島オート

〒974 福島県伊達市旭町452
TEL.024-523-1708

モーターサイクル ドクター須田

〒914 新潟県小川1-127-2
TEL.0427-96-4121

モトファクトリー エア

〒951 新潟県上野区13-5 東栄ビル
TEL.0466-33-4720

モトフレイク内 レーシングチーム フシミ

〒913 新潟県南蒲区平島117-5
TEL.044-777-1180

青木輪業

〒214 千葉県市川市1-4
TEL.0463-21-2523

荒木ホンダ販売

〒252 静岡県清水区南1-4-5
TEL.0466-44-6888

ガレージ茶畑

〒259 静岡県清水区南1-4-5
TEL.0466-43-4702

機北島商会

〒229 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0477-47-6811

タクミモーターズ相模原店

〒228 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0477-72-6006

ウイング マサル

〒227 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0468-61-4818

杉山ホンダ販売 FIII店

〒259 静岡県清水区南1-4-5
TEL.0463-43-5055

エムシーライン

〒222 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0465-25-0434

モーターサイクル レミング

〒222 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0477-43-0882

機モトスポーツ イシバシ

〒900-12 自治体大学学園206-1
TEL.025-737-1123

中央部品

〒940-11 新潟県長岡市1-4-5
TEL.0254-32-3358

ロックサイド

〒942 新潟県長岡市2-14-4
TEL.0255-28-1422

大和ホンダ

〒949-12 新潟県長岡市東区西2-4
TEL.0257-79-3021

富山

ホンダレッドシティ

〒931 富山県富山2-2-21
TEL.0764-24-3121

機オートパーツ北陸

〒926 富山県富山1-14
TEL.0764-25-5365

堀田オートパーク

〒939-02 上野市大字野上大字9942
TEL.0764-68-2424

モトプラザ杉本

〒939-03 富山県富山1-1-1
TEL.0764-55-3401

オートショップ堀

〒939 富山県富山1-1-1
TEL.0764-51-8180

機たかはしサイクルセンター

〒939 富山県富山2-2-21
TEL.0764-32-6253

石川

ホンダスポーツ バレンツ

〒910 石川県野野市2-1-10
TEL.0762-91-5880

ホンダグイン・金沢

〒921 石川県金沢市2-2-2
TEL.0762-91-6717

バイクショップオオヤ

〒920 石川県野野市2-1-10
TEL.0762-91-6886

福井

ホンダ販売・教育

〒914 福井県福井市23-10
TEL.0776-22-4883

岐阜

バイクショップTRY

〒504 岐阜県羽島市加茂町1-283
TEL.0563-63-7122

機スウイングJIC

〒502 岐阜県羽島市加茂町1-9-1
TEL.0562-34-4421

ホンダウイング多治見

〒507 多治見市南町1-24-1
TEL.0572-23-8887

ホンダバイクショップ可児

〒509-02 可児市東区東町1-1
TEL.0575-25-1180



機小川プロモーション内 モトプラザ セラビイ

〒127 東京都板橋区板橋4-2-24
TEL.045-342-6770

山上輪業

〒211 千葉県市川市本町1-12-118
TEL.044-702-5282

機モトワールド

〒227 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.045-472-6741

機エス・エム・エス北ウイング

〒170 東京都足立区北千住1-9-31
TEL.045-376-3369

ホンダ東京自販 横浜

〒223 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.045-592-7146

ファクトリーホンダ

〒229 神奈川県横浜市中区南幸1-6-10
TEL.0477-56-0082

石川モーターサイクル

〒212 千葉県市川市本町1-12
TEL.044-704-0177

山梨

オートショップシムラ

〒400 静岡県浜松市東区1-104
TEL.0532-33-1754

モーターサイクル ショップ井上

〒400 静岡県浜松市東区1-11-4
TEL.0532-28-3377

ナッツカンパニー

〒400 静岡県浜松市東区1-11-4
TEL.0532-3-1632

ホンダ OFF・ON

〒401-01 静岡県浜松市東区下中野214-1
TEL.0551-28-4512

モトファミリー

〒400-01 静岡県浜松市東区下中野2
TEL.0552-76-3403

長野

機モト・ショップ・ハマ

〒200 長野県長野市南1-1-12
TEL.0263-32-5231

バイクボックス

〒280 長野県上田市南町1-1-1
TEL.0262-43-7707

青原ホンダ

〒280 長野県上田市南町1-1-1
TEL.0265-22-2096

ホンダショップ浅間

〒384 長野県伊豆市浅間1-10-21
TEL.0267-23-9222

モトスポットヒラサワ

〒209-41 長野県長野市南1-1-12
TEL.0265-85-2709

バイクショップ サイトウ

〒386 上野原市上野原1-1-1
TEL.0268-25-2110

南スノー二輪販売

〒262 長野県松本市南1-1
TEL.0266-56-2325

機ライディングモード

〒263 長野県松本市南1-1
TEL.0269-22-3113

機ホンダショップ ナガノ 上松店

〒261-01 長野県上松市南1-1-10
TEL.0262-26-8044

新潟

ホンダウイング 高橋

〒950 新潟県新潟市東区11-3
TEL.0257-2-2778

南三愛バイクセンター

〒950 新潟県新潟市東区11-3
TEL.0254-36-8225

モーターショップ ヤマシゲ

〒950 新潟県新潟市東区11-3
TEL.0257-9-3115

アカミチバイクセンター

〒950 新潟県新潟市東区11-3
TEL.0252-75-5082

機エヌエー長岡店

〒950-02 新潟県長岡市2-1
TEL.0258-26-2737

レーシングショップ T・D

〒943 上越市本町11-8
TEL.0256-24-1702

MOTO BOX

〒950-02 新潟県長岡市2-1
TEL.025-273-6178

モトスポーツ金沢

〒954-04 新潟県金沢市東区大町1-2-1
TEL.0257-83-3164

長野同テニカルレーシングクラブ

〒940 新潟県長岡市2-1-14
TEL.0258-32-3455

バイクランドボックス

〒301-01 東京都足立区南1-1
TEL.0257-373-1180

機スウイングJIC 南店

〒300 東京都足立区南1-1-14
TEL.0562-72-8963

機ホンダウイング VIFO

〒300 東京都足立区南1-1-14
TEL.0564-69-5741

静岡

機WORLD KAWAGUCHI

〒411 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0544-87-0480

機エイチ・エスシー

〒410 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0544-24-0630

ホンダモーター 吉田販売株

〒420 静岡県浜松市東区南1-4
TEL.0534-45-5538

プロジェクト サイエンス

〒427 静岡県浜松市東区南1-4
TEL.0534-43-0115

ホンダウイング エフロード

〒428 浜松市東区南1-4
TEL.0538-6-0080

機小泉商会

〒424 静岡県浜松市東区南1-4
TEL.0543-45-9148

アパバイクショップ

〒422 浜松市東区南1-4
TEL.0534-48-2727

機静岡ホンダ

〒418 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0544-26-3872

モトランド小松

〒420 静岡県浜松市東区南1-4
TEL.0544-2-3567

機青山商会

〒410 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0559-22-9311

モトハウス・スギヤマ

〒410 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0559-79-1426

ミスアサイクル

〒417 静岡県静岡市東区南1-4
TEL.0545-71-38

スピードアン リミテッド

〒425 浜松市西野町2109
TEL.0534-64-5048

株式会社 インターナショナル

〒412 裾野町南郷1176-1
TEL.0550-99-9171

愛知

ラ・モト・KOHSAKA

〒487 海部郡工業団地第1-6
TEL.05679-5-9981

オートショップ フリーランド

〒446 岡崎市安城町東4丁目305-4
TEL.0565-71-3373

スポーツプラザイトウ

〒426 浜松市西区八幡東通14
TEL.052-795-2262

ホンダウイング モトライヴ

〒404 名古屋市中区江口1-12
TEL.052-362-1827

新栄田モーターズ

〒464 名古屋市中区錦3-11-13
TEL.052-774-2634

株式会社 エー一名古屋

〒466 名古屋市中区西区西大寺町東御幸下187-10
TEL.052-855-0405

K スポーツ用品倶楽部

〒460-11 愛知県大田区大田町大字東大田町東町1-1
TEL.05850-0-2780

J・レーシング プロジェクト

〒466 名古屋市中区錦3-11-13
TEL.052-802-0117

ホンダテクニカル名古屋

〒466 名古屋市中区江口東2-475
TEL.052-855-5460

豊南ホンダ

〒467 豊南町西沢2-28
TEL.0566-41-1189

ホンダバイクハウス オクムラ

〒402 商業区南大寺町東大寺町東町123
TEL.052-490-9880

株式会社 アイランド

〒463 名古屋市中区錦3-9
TEL.052-754-3330

バイク&バイク

〒466 名古屋市中区江口東2-329
TEL.052-795-3795

パンバイク トレーディング

〒465 名古屋市中区東区東区1-181
TEL.052-754-0615

モロ商会

〒463 名古屋市中区東区東2-208
TEL.052-413-0027

伊東モーターズ

〒466 豊田市民団地東2-38
TEL.0567-28-5125

オートプラザヒロノ

〒466 豊田市民団地東1-19
TEL.0568-32-5431

南プロト

〒462 岡崎市西区日野町313番地
TEL.0566-30-0456

株式会社 ランタ

〒466 名古屋東区江口西側1-28-1
TEL.052-381-8515

中部ミスターバイク

〒466 豊田市民団地東1-19-1
TEL.0568-44-6254

バイクショップウカワ

〒404 名古屋市中区中區南町2-102
TEL.052-253-6664

オートショップまき

〒411-81 宝塚町中區南町大寺中區南町大寺2-8
TEL.05337-8-2766

株式会社 ウイング

〒444-21 岡崎市南岡町山ノ内4-1
TEL.0564-24-3830

ホンダ販売はぎの

〒467 豊田市民団地東1-17
TEL.0566-51-0339

南フタバ

〒444-11 岡崎市南岡町山ノ内4-1
TEL.0564-25-2827

株式会社 イントール PORT 9

〒462 名古屋市中区大宮町1-7
TEL.052-802-6123

日&日新栄舎

〒467 豊田市民団地東1-1
TEL.0566-41-2184

東海オートレーティング株式会社

〒470-12 豊田市東町2丁目
TEL.0545-21-0511

株式会社 プロショップ ツーアンドフォー

〒442-01 豊田市南岡町南岡町2-5
TEL.0533-57-1414

ナゴヤ建設センター管内 ハートビート

〒414 名古屋市中区中區南町2-2
TEL.052-651-0877

三重

ホンダワールド株式会社

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-78-1455

バイク・イザカ

〒510-02 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-83-3830

ミタニモーターズ株式会社

〒519-12 津市東区東3丁目
TEL.0593-8-2222

モトショップ ヨシハラ

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-25-7770

株式会社 有森脇エシニアリング

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-79-0895

ボータークラブ 2&4

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-79-9270

マルチレーシング

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-79-0380

加藤レーシング

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-62-5274

モトハウスイトウ

〒514 津市東区東3丁目350-1
TEL.0592-34-6064

パトルファクトリー

〒513 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-79-0851

株式会社 オートセンターミエ

〒515 松阪市小倉町南2-2
TEL.0598-23-1361

ササキスポーツクラブ

〒510-02 鈴鹿市北区北1-15
TEL.0593-66-5600

福井

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

有限オートレック

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

有森脇エシニアリング 玉垣工場

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

高橋硝子工業株式会社 FASTレーシング

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

レーシングガレージニフ

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

レーシングチーム カタヤマ鈴鹿ガレージ

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

株式会社 FASTレーシングクラブ

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

株式会社 ブルーフォックス

〒913 敦賀市佐野1-1-2
TEL.0753-78-5101

山本エシニアリング

〒914 上野市小倉町南2-1
TEL.0758-24-5544

滋賀

株式会社 リンテック タカダ

〒524 守山市南郷町南1-1
TEL.0775-82-3227

フジヤ自転車店

〒520-02 大津市東町東1-280-6
TEL.0775-73-1881

富江ホンダ

〒521-12 神楽坂町富江町南2丁目
TEL.0748-43-0025

ホンダランド小林

〒522 彦根市東町東2丁目
TEL.0749-26-0129

京都

スーパーネッシー コタニ

〒621 亀岡市藤原町南1-1-4
TEL.07712-4-6308

株式会社 TOM'S

〒605 京都府京都市南区東山町1-1
TEL.075-491-5552

モトマツク

〒611 宇治市南郷町南2丁目
TEL.0774-33-5454

株式会社 ホンダ京南

〒611 宇治市南郷町南1-1
TEL.0774-33-1888

久保村モーターズ

〒616 京都市東山区南橋本町南1丁目
TEL.075-314-1561

カンズ・バイク

〒611 宇治市南郷町南1-1
TEL.0774-43-0056

RS ひいたあばん

〒616 京都市東山区南橋本町南1丁目
TEL.075-314-1112

カスノモーターサイクル

〒612 京都市東山区南橋本町南1丁目
TEL.075-622-0025

※記載内容は1990年12月1日現在のものです。



シグナル・ランプに赤が点灯する。
わずかに数秒後のために、誰もが意識を集中している。
前へ。誰よりも速く、前へ。

カメオカトライヤランド

〒821 豊前市本海町御笠宮大田14
TEL.0752-4-3377

オートショップ阪口

〒843 京都府長岡京市山崎西町51-11
TEL.075-483-4880

バイク工房岩城

〒600 京都市下京区中堂寺東福地19-11
TEL.075-822-0840

徳山モーターズ

〒612 京都府伏見区中島西大野3
TEL.075-601-9954

ピバオートナカマ

〒604 京都市左京区京田辺東福地131
TEL.075-722-5670

株豊夢

〒606 京都市左京区大宮花見町188-1
TEL.075-746-3121

大西輪業

〒616 京都府西京区下津原前庭西40-1
TEL.075-352-5717

石原自動車商会

〒604 京都市東区東本町3-10
TEL.0773-76-7379

大坂

株大専 トクノモトランド

〒906 徳島市大島2-1-27
TEL.086-319-1969

株スーパーモンキー

〒816 大分県佐賀区北町2-8-27
TEL.079-44-3177

株アルエス タイチ

〒824 大分県中津内5-1-25
TEL.079-74-6316

ニューホンダ高橋

〒840 高槻市野田2-4-6
TEL.0726-77-1303

ライダーズ・スクエア・ゲンズ

〒827 東大阪市小島1-14-13
TEL.06-763-7356

長尾モーターズ

〒806 京都府京都市東区東2-11-14
TEL.06-653-5278

梅田部品

〒150 東京都東区東横3-3-26
TEL.06-458-6441

株ルーニー

〒800 京都市北区東山町134
TEL.075-77-1950

ホンダ販売・八尾

〒841 八尾市経ヶ丘5-55
TEL.0729-96-0822

アイラブホンダ ハマヒラ

〒659 高槻市桜町19-2
TEL.0726-75-1864

オートプラザ寺川

〒829 和歌山県和歌山市1-4-6
TEL.079-71-8818

日本ビート工業㈱

〒800 京都市下京区中堂寺東福地2-1-6
TEL.0752-57-7600

キタコ

〒827 大分県高橋町東津賀2-2-6
TEL.06-783-6311

三光ホンダ販売

〒916 彦根市朝見町1-1-1
TEL.0729-52-1111

左古自動車

〒832 大分県津久井市津久井南2-21-6
TEL.06-308-5255

月木オートセンター

〒860-14 長門県津和野1403-1
TEL.0729-47-1190



オートマック

〒137 東京都板橋区西3-30-1 オートリジョン大原内
TEL.06-781-0984

オーバーレーシングサービス

〒369 高槻市西園北1-1-1
TEL.0726-78-6750

株ウイング32

〒696 大分県新田上野町114-1
TEL.0721-43-3832

三興部品商会

〒660 高石市西園北1-1-24
TEL.0722-62-5671

バイクランド

〒706 徳島市中島町1-1-13
TEL.0724-43-3686

TECHNICAL SHOP GOLD WING

〒363 高槻市東2-4-8
TEL.0721-5

モトスポーツ GLAD

〒717 京都府宇治市東1-19-15
TEL.06-911-4381

レーシングワールド

〒366 高槻市高松町2-4-5
TEL.0726-53-0288

兵庫

スポーツコーナー マツモト

〒658 兵庫県西宮市7-18
TEL.0781-32-4347

株サイクルワールド

〒613 神戸市東灘区東灘3-3-13
TEL.078-629-6647

ミネモーターサイクル

〒614-01 神戸市東灘区東灘5年寄町1538-8
TEL.078-743-5440

福岡オート&ツール

〒812 神戸市中央区東灘町14-4-18
TEL.078-231-0386

加藤ライダーズサロン

〒819 朝倉市北町東本町1-1-6
TEL.078-947-1734

U・A・S

〒643 高槻市東3-3-1-4
TEL.0726-46-1900

Zオート西宮

〒663 西宮市戸崎4-2-26
TEL.0789-64-1114

株工ボム

〒618 神戸市西区庄内町3-9-10
TEL.078-967-3104

パワーサービススマツ

〒476 加賀市佐賀上町東327
TEL.0794-24-2440

オートバイ屋

〒664 神戸市東灘区東灘10-1
TEL.0727-63-6897

神戸オートショップ

〒652 神戸市東灘区東灘5-1-8
TEL.078-579-7433

岡本レーシングコーポレーション

〒607 神戸市東灘区西内町5-1-6
TEL.078-961-2418

SRSカマサキ

〒620 神戸市東灘区東灘町2-2-16
TEL.078-527-6161

B I T O R&D

〒668 豊岡市東長40-3
TEL.0792-7-0429

ホンダオート

〒620-13 神戸市北区津路町東野字アツシ原3436-7
TEL.078-981-6354

モトデポルテシカガ

〒616 神戸市中央区港地16-3-4
TEL.078-221-8880

モト・ピット フジワラ

〒617-01 加古郡藤原町藤原1-114
TEL.079-943-0119

フリーウェイ

〒642 尼崎市長浜町3-37
TEL.06-619-3377

イシモーターサイクル

〒662 高槻市上土庄6番地2-45
TEL.0726-52-0334

株ホンダプラザ鈴鹿台

〒601-11 神戸市東灘区鈴鹿台南町2-12-34
TEL.078-582-5368

株ピーライン

〒660 高槻市大野町1-1-1
TEL.06-481-1011

濱大橋ホンダ

〒576-02 堺市西区富田中央6-1-14
TEL.079-4-2-2541

スーパープライベートR?

〒670 加古川市加古川町西町東町1-26-6
TEL.0794-21-0026

奈良

ヨシカワレーシング

〒639-11 大和郡山形町西町内町18-1
TEL.0743-4-0987

映光自動車㈱

〒630 奈良市大宮町4-229-1
TEL.0742-33-1581

ホンダプラザ奈良

〒620 昭和三十九年4-1
TEL.0743-2-6266

シマエータープライズ

〒630 奈良市東町10-1
TEL.0742-34-9548

和歌山

モーターサイクルショップ矢野

〒649-02 東牟婁郡志保町336
TEL.0796-2-9129

岡山

株梅木商会

〒706 岡山府中東町12-9
TEL.0862-32-0011

NOVA

〒709-09 伊豆郡山崎町河本1076-6
TEL.0865-9-2519

株バドック

〒706 津山市2-2042
TEL.0864-28-3191

株鶴橋モーター

〒704 岡山府津野717
TEL.08654-2-3617

株ホンダウイング カドヤ

〒708 津山市中野町2-4-6
TEL.0864-29-4600

木村商会

〒701-13 岡山府門前200-3
TEL.08628-7-2351

X-LAND オガサワラ

〒708 津山市2944-5
TEL.0868-23-1010

ブルーインパルスレーシング

〒702 岡山府北津町12-20
TEL.0862-62-1640

濱岡崎車庫

〒710 豊後市194-1
TEL.0864-22-5001

広島

株バイクステーション尾道

〒719-03 尾道市東通町128
TEL.0826-43-5819

ホンダウイング ワタリ

〒731-01 広島市中区東区東区1-30-4
TEL.082-237-4511

ホンダウイング ワタリII

〒730 広島市中区大土町12-12-3
TEL.082-281-2811

モトバレンタイン

〒702 広島市中区湯山町1-7-18
TEL.082-232-2632

株タニダ輪業

〒738 広島市中区大土町13-1-18
TEL.082-243-3369

ウイング広島

〒731 広島市西区内町南1-24
TEL.0827-77-2885

オートプラザ・アベ

〒703 広島市東区東区2009-3
TEL.0840-43-6643

車庫屋

〒707 広島市東区東区3-3-7
TEL.0827-72-7088

尾坂ホンダ

〒711 尾山市東町12-1809-3
TEL.0849-41-7297

オートショップ福山

〒711 福山市東町南1-103
TEL.0869-41-7297



赤色で記載されているのがHRCサービスショップです。

ばわあくらふと

〒114 大塚区中野町1-3-1
TEL.0329-72-2141

ホンダショップアルト

〒144 八潮市立野辺3番1-10-9
TEL.04-716-8991

ホンダフライングワールド

〒130 大塚市東国本2番2-1-18
TEL.03-272-5841

ヨシイレーシング

〒125 国分寺市上里3番10-6
TEL.0320-40-1817

ミスターヒロ

〒180 板橋市立野2-418
TEL.0373-36-1533



悩んだ結果、
フロントフォークの油面を上げた。
取り合えずマシンに、もう問題はない。
明日は決勝。
残るはライダーの問題だけだ。



バイクシティ広島

〒730 広島市中区河原町1-14
TEL.082-259-3388

相模輪業

〒731-01 広島市安芸区安芸町西山100-18
TEL.082-674-7568

ホンダキャット広島

〒730 広島区2番1-7
TEL.082-24-4411

ホンダオート山田

〒730 広島市東区本庄4-2-4
TEL.0829-22-0829

ホンダスポーツ ステーション

〒730 広島市中区河原町10-2
TEL.082-242-8191

狭バイクワールド エルフ

〒736 安芸郡高田町高田701-16
TEL.082-238-8852

山口

シゲムラサイクル

〒747 萩市大字山崎319-2
TEL.0835-24-2888

山口ポインター商会

〒753 山口市西野町1-4
TEL.0833-22-0719

ホンダウイングR-2

〒740 尾道市川原4-2937-2
TEL.0827-43-5265

ケイケイ輪業

〒719-02 宇野市大字東通町200-4
TEL.0836-41-8149

徳島

新ホンダアロー

〒771-01 徳島市川内町平野通町100-1
TEL.0886-43-5330

備前ホンダ二輪

〒711 備前市美津町美津252
TEL.0866-46-2598

オートランド YOKOTA

〒711 新見市上中町中野330
TEL.0864-23-2344

愛媛

愛媛オートセンター

〒794 今治市柳町2
TEL.0898-27-5294

バイクショップ井原

〒791-01 松山市下伊予町132-48
TEL.0899-22-4333

有阿部ホンダ

〒798 松山市片町9-59-1
TEL.0899-25-3825

福岡

新ホンダショップ真武

〒814-01 福岡市城南区神崎町2-2-2
TEL.092-871-8198

ホンダショップライフ

〒820 北九州市中津区片野原町1-1-1
TEL.093-922-8966

ホンダショップタジマ

〒818 福岡市東区大濠1-1-4
TEL.092-511-3931

グランドオート ヨシムラ

〒814 春日市上谷町150-1
TEL.092-591-2155

オートサロン永松

〒813 福岡市東区松島町1-10-1
TEL.092-661-1638

若宮オートプラザ

〒813 福岡市東区若宮1-19-44
TEL.092-671-2737

熊本

モトワールド中島

〒860 五木市中西
TEL.0967-4-2888

ウイングシマダ

〒866 八代市橋本町2-1-1
TEL.0965-33-5561

大分

ホンダショップ大分

〒870 大分市下野中本町104-1
TEL.0975-69-5555

モトハウスむぎわら帽子

〒871 中津市幸町1-1
TEL.0979-25-5226

オートスポーツJIN

〒876 佐伯市藤原区ハイパス通り
TEL.09722-2-7763

新西日本オート

〒874 佐伯市東区南129-2
TEL.0977-22-4398

宮崎

モトショップワイリー

〒880 宮崎市東区平島町34
TEL.0985-27-7761

鹿児島

三共部品

〒890 鹿児島市上里通町41-18
TEL.0992-55-8100

オートショップ西田

〒890 鹿児島市西町1-13-15
TEL.0992-57-3136

沖縄

2輪ショップ仲村

〒904-01 沖縄市宇敷花128
TEL.09853-8-8025

金城モーターズ

〒902 那覇市三好2-7-14
TEL.0986-13-5218



'91 TLM260R



SIGNAL FLAGS

信号旗

(合図旗および合図)
競技中、競技役員が次の信号旗(フラッグ)を示した場合、各ライダーはこの旗の指示に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常線シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシン) で行なう場合もある。
 黄旗	静止 危険予告・追い越し禁止	危険予告・減速
	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止	危険予告・徐行・停止準備 安全確認・追い越し禁止
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	
	振動 直前に徐行中の介入車両あり	
 赤ストライプ付黄旗	コース表面が滑りやすい状態	
 緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリアー)	先に出した合図の解除
 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黒旗	白ナンバーを付けた黒ボードを併用する。 示されたナンバーを付けているライダーは次のラップでピット停止。	ナンバーを示したボードと併用。指示されたライダーは走行停止。
 青旗	静止 追越しシグナル、1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	
	振動 追い越される寸前	警告、ラップされようとしている。
 チェッカー旗	レース終了	レース終了

レースナンバープレート ライセンス識別カラー

ロードレース 国際A級(125cc)以上は、国際A級(250cc)以上は、国際A級(500cc)以上は、
国際A級(125cc) (前面) 国際A級(250cc) (側面) 国際A級(500cc) (側面)
125cc, 250cc, 500cc, F3, F1, SB, 耐久 前面: タテ235×ヨコ285mm 側面: タテ250×ヨコ300mm

 国際A級(125cc) (前面) (1ゼッケン番号に同色) 国内A級→Aマーク 国内B級→Bマーク	 国際A級(250cc) (側面) (1ゼッケン番号に同色) 国内A級→Aマーク 国内B級→Bマーク	 国際A級(500cc) (側面)
 国内A級F3(前面) (1ゼッケン番号に同色) 国内A級→Aマーク 国内B級→Bマーク	 F1/SB(側面)	 耐久(側面)
 国内A級SP750(前面)	 国内B・C級SP(側面)	注: タテ×ヨコの数字は、ナンバープレートの寸法。数字の書体は、F1Mの指定に基づくMFJの正規のものである。

モトクロス 前面: タテ235×ヨコ285mm

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 国際A級(125cc)	 国際A級(250cc)	 国際B級

トライアル 前面: タテ150以上×ヨコ175mm以上

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 国際B級	 国際A級	

ヘルメットのMFJ公認マーク



ロードレース特選 ロードレース用、モトクロス用 トライアル用、ツーリング用
*MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

レーシングスーツのMFJ公認マーク

*92年度より使用されるレーシングスーツにはMFJ公認マークを付けてなければならない。(91年は暫定期間)



MFJ 国内競技 規則書 [1991年版]

目次

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	18
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会の組織	20
MFJ国内競技規則	23

ROAD RACE

細則1:ロードレース競技細則	47
細則2:ロードレース車両細則	52
細則3:'91全日本選手権大会特別規則	67
付録:'91全日本ロードレース選手権サーキット図	76

MOTO CROSS

細則4:モトクロス競技細則	83
細則5:'91全日本選手権大会特別規則	90

TRIAL

細則6:トライアル競技細則	106
細則7:'91全日本選手権特別規則	113

SUPPLEMENT (付録)

細則8:MFJライセンス昇格・降格に関する規則	124
MFJ公認車両・ヘルメット・レーシングスーツ・部品・タイヤ	138
MFJ共済会制度	138
歴代チャンピオンリスト	139

*91ミニバイク規則は、本誌ではなく『ライディング』に掲載します。

1991年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻255号

財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

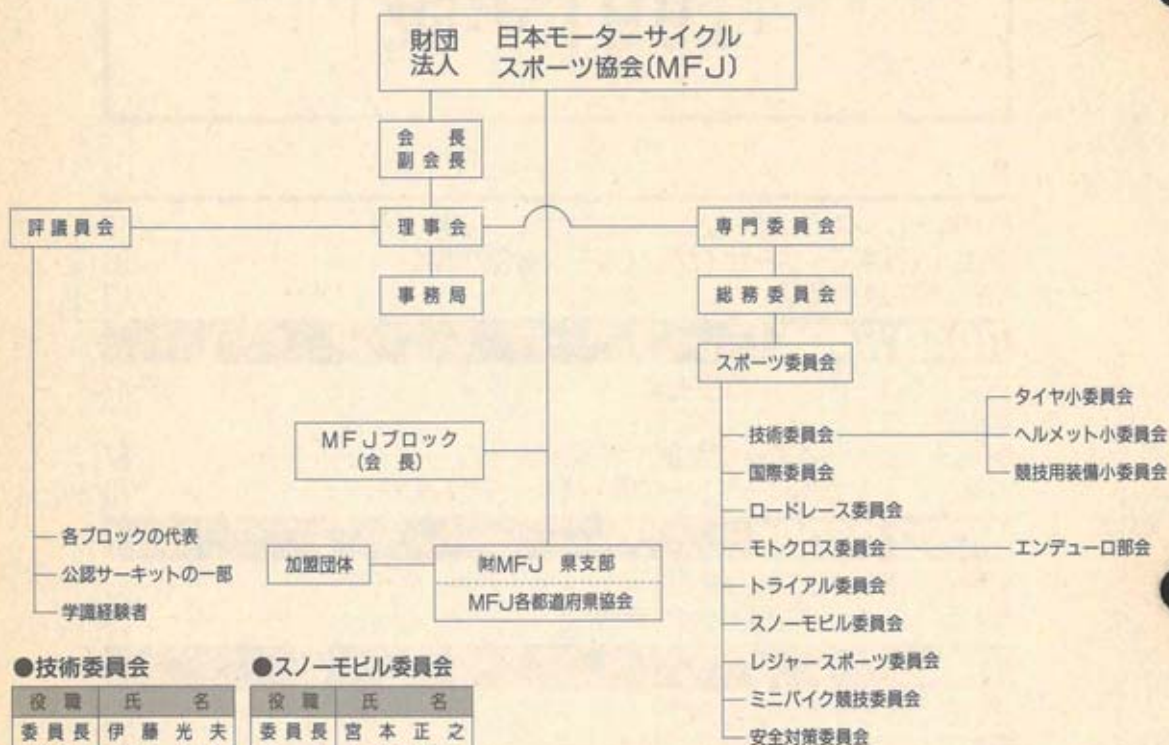
Motorcycle Federation of Japan (M.F.J)

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 の組織

Motorcycl Federation of Japan

(財)日本モーターサイクルスポーツ協会組織図



●技術委員会

役職	氏名
委員長	伊藤 光夫
副委員長	秋鹿 方彦
技術委員	伊藤 藤太
技術委員	堤 利雄
技術委員	川合 豊彦
常任委員	杉 沼浩
常任委員	鈴 木四郎

●スノーモビル委員会

役職	氏名
委員長	宮本 正之
委員	井上 栄一
(MX)	
委員	高橋 和雄
委員	藤本 雄勝

MFJ主要役員

(平成3年1月1日現在)

●ロードレース委員会

役職	氏名
委員長 (スポ常)	藤井 瑋美
副委員長	神谷 忠洋
委員	佐藤 初学
委員 (MX)	田 初美
委員	内藤 正典
委員	亀井 夫明
委員	山内 健二
委員	山竹 信吾
委員	草 信

●モトクロス委員会

役職	氏名
委員長 (スポ常)	村上 正司
副委員長	斉藤 昇敏
委員 (RD)	市太 重初
委員 (SM)	井上 栄一
委員	高田 道雄
委員	加藤 隆信
委員	加宮 雅夫
委員	萩 尾 喜男

●トライアル委員会

役職	氏名
委員長 (スポ常)	山本 隆
副委員長	鈴木 唯一
副委員長 (技術)	成田 造孟
委員 (スポーツ)	成田 谷 孟
委員	大友 克人
委員	大野 弘拓
委員	富田 波
委員	鳥飼 恒彬

●スポーツ委員会

役職	氏名	役職	氏名
委員長	外川 一雄	常任委員 (MX)	村上 正司
副委員長 (総務)	伊藤 光夫	常任委員 (TR)	山本 隆
副委員長 (技術)	藤井 瑋美	常任委員	杉沼 浩
副委員長 (RD)	前川 和範	常任委員	鈴木 四郎
常任委員	川倉 樹直	委員	猪股 謙一
常任委員	名取 茂武	委員	若富 波
常任委員	吉田 英生	委員	高武 久美
常任委員 (技術)	中田 中鹿		
常任委員	秋 啓道		

都 府 道 県

支部

区分 都道府県	会 長	事務理事又は 事務局 長	郵便 番号	所 在 地	電話番号	
北海道ブロック	和 田 庄太郎	高 橋 昭 重	065	札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内	011(782)1482	
北海道	札幌	和 田 庄太郎	065	札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内	011(782)1482	
	旭川	細 川 悦 郎	070	旭川市1条通5丁目右7号 株細川商會	0166(22)7301	
	釧路	笹 山 紀 彦	084	釧路市鳥取大通6-1-1 釧路地区軽自動車協会内	0154(51)0745	
	帯広	石 原 正 光	083	帯広市西19条北1-8-3 帯広地区軽自動車協会内	0155(35)8025	
	北見	磯 角 幸 雄	090	北見市三輪25 北見地区軽自動車協会内	0157(24)6130	
	函館	藤 尾 尚 司	藤 尾 尚 司	041	函館市亀田本町87-32 藤尾輪業株内	0138(43)1801
東北ブロック	関 登	安 藤 八 郎	983	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県二輪車安全普及協会内	022(284)9484	
東北	青森	上 杉 利 男	030	青森市大字浜田字豊田128-13 株青森県軽自動車会館内	0177(39)0441	
	岩手	加 藤 英 治	及 川 雪 男	020-01	盛岡市みたけ5-16-27 岩手県軽自動車会館内	0196(43)8895
	宮城	高 橋 英 夫	安 藤 八 郎	983	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県二輪車安全普及協会内	022(284)9484
	秋田	石 黒 寿 佐 夫	佐 藤 勇 嘉	010	秋田市八橋大畑2-12-55 秋田県二輪車安全普及協会内	0188(62)6219
	山形	佐 藤 与 市	羽 角 宏	990-22	山形市立谷川2-449-7 山形県軽自動車会館内	0236(86)3600
	福島	関 登	佐 藤 三 男	960	福島市吉倉字名倉1-1 株福自販会館内	0245(46)2577
関東ブロック	岩 田 定 雄	宮 城 久 夫	108	港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03(3472)6241	
関東	東京	岩 田 定 雄	宮 城 久 夫	108	港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03(3472)6241
	茨城	石 川 和 夫	大 内 勝 也	310	水戸市住吉町292-8 茨城県軽自動車協会内	0292(47)5832
	栃木	横 田 彰 義	伊 藤 喜 代 美	321-01	宇都宮市西川田本町1丁目2番37号 栃木県軽自動車協会	0286(45)0958
	群馬	河原井 源 次	滝 沢 又	379-21	前橋市野中町322-1 群馬県軽自動車協会内	0272(61)0505
	埼玉	山 崎 謙 吉	熊 井 戸 紀 一	330	大宮市大字中釘2082 埼玉県軽自動車協会内	048(624)1221
	千葉	秋 篠 敬 作	金 子 竹 治	260	千葉市新港223 千葉県軽自動車協会内	0472(42)1564
東 京	神奈川	藤 崎 毅	鈴 木 克 典	226	横浜市緑区池辺町3575 神奈川県軽自動車協会内	045(931)4290
	新潟	中 村 義 郎	加 藤 俊 明	950	新潟市大形本町117-3	025(275)5704
	山梨	荻 原 茂 賢	仲 田 幸 弥	406	山梨県東八代郡石和町唐柏791-1 山梨県軽自動車センター	0552(62)7548
	長野	山 田 幸 人	小 泉 清 人	380	長野市大字西和田字東和田境438-3 長野県軽自動車協会内	0262(43)1987

区分 都道府県	会長	事務理事又は 事務局長	郵便 番号	所在地	電話番号
中部ブロック	田邊 節	中村 茂男	466	名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052(833)8676
中 部	静岡 戸田 芳司	長田 幹雄	422	静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内	0542(61)4455
	富山 斎藤 正義	堀 三郎	930	富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内	0764(24)6420
	石川 坂井 豊治	西出 永央	921	金沢市入江3-134 石川県自動車販売店会館内	0762(91)7111
	福井 佐藤 憲二	早川 武	910-37	福井市浅水町138字上植木11-2 福井県軽自動車協会内	0776(38)0558
	岐阜 仲神 桂二	早川 幸男	501-61	岐阜県羽島郡柳津町大字高桑字立野3276-1 岐阜県軽自動車協会内	0582(79)1561
	愛知 田邊 節	中村 茂男	466	名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052(833)8676
三重 藤井 璋美	佐野 純二	514-03	津市雲出長常町六の割1190-1 三重県軽自動車協会内	0592(34)8611	
近畿ブロック	鈴木 義夫	山田 和夫	550	大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会	06(541)5254
近 畿	滋賀 中田 眞悟	寺田 三喜男	520-01	大津市唐崎3-17-1 滋賀県自動車会館内	0775(82)3858 ホンダ二輪車部内(各別)
	京都 櫻井 伊蔵	兵藤 泰弘	612	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館内	075(671)5887
	大阪 鈴木 義夫	山田 和夫	550	大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内	06(541)5254
	兵庫 西海 義治	中林 稔弘	651-21	神戸市西区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内	078(927)7701
	奈良 小島 未太郎	畑 中 武	630	奈良市南京終町2-321-1 奈良県二輪車安全普及協会内	0742(61)5593
	和歌山 林 伸良	中川 完治	641	和歌山市西浜中川向坪1660-389 和歌山県二輪車安全普及協会内	0734(32)5378
中国ブロック	椋代 修	藤原 宣彦	700	岡山市柳町2丁目10-17 椋代ビル2F	0862(22)8625
中 国	鳥取 野村 侑	中村 周造	680	鳥取市秋里246-5 鳥取県二輪車安全普及協会内	0857(28)8850
	島根 堀尾 俊之	清水 昭二	690	松江市八幡町725番地 島根県二輪車安全普及協会内	0852(37)1685
	岡山 椋代 修	藤原 宣彦	700	岡山市柳町2丁目10-17 椋代ビル2F	0862(22)8625
	広島 吉兼 宅弥	土居 綾夫	730	広島市中区光南1-14-17 広島県二輪自動車協同組合内	082(241)6999
	山口 佐々木 吉雄	尾谷 紀男	753	山口市美1丁目5-58 山口県軽自動車協会内	0839(22)8877
西国ブロック	高木 宏	森鳥 進	761	高松市香西東町536 株ホンダ二輪香川内	0878(82)1182
西 国	徳島 岩尾 英二	富浪 拓	770	徳島市新西町4-7 株富浪商店内	0886(22)5545
	香川 高木 宏	森鳥 進	761	高松市香西東町536 株ホンダ二輪香川内	0878(82)1182
	愛媛 岡本 豊樹	土居 靖雄	791-11	松山市南高井町1812-3 愛媛県二輪車安全普及協会内	0899(76)4505
	高知 泉谷 親男	奥村 巖	781-02	高知市横浜1657 高知県二輪車安全普及協会内	0888(42)4311
九州ブロック	玉城 昌一	村上 武次	861-41	熊本市近見町2273-1 株ホンダ熊本二輪	096(355)5075
九 州	福岡 西 俊明	川原 明人	816	福岡市博多区半道橋2-7-70 西京ホンダ販売株内	092(474)6196
	佐賀 上田 勝	洲野 雅美	840-01	佐賀市若槻2-10-7 佐賀県二輪車安全普及協会内	0952(30)8442
	長崎 村上 幸三	石司 正之	851-01	長崎市田中町581-3 村上ホンダ販売株	0958(37)8421
	熊本 玉城 昌一	松田 忠也	862	熊本市東町4-71 熊本県二輪車安全普及協会内	096(367)5488
	大分 倉石 満	田原 丈平	870-01	大分市三川上1丁目4-35 大分県軽自動車協会内	0975(53)1910
	宮崎 原川 安雄	落合 正昭	880	宮崎県宮崎市花ヶ島町屋形町1204 スズキ二輪株宮崎営業所	0985(25)8400
	鹿児島 東 昭美	鶴 蘭 福 蔵	891-01	鹿児島市谷山港2-4-3 鹿児島県二輪車安全普及協会内	0992(61)8966
	沖縄 徳野 睦夫	山入端 彰	901-21	浦添市字仲西146 沖縄ホンダモーター株内	0988(77)2558

'91 MFJ 国内競技規則

■第1章 総則

- 1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括……………24
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目……………24
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知……………25

■第2章 ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目……………26
- 5. 競技ライセンスの申請資格……………27
- 6. 競技ライセンスの有効期間……………28
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等……………28
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格……………28

■第3章 競技会

- 9. 競技参加者……………29
- 10. 競技参加者の遵守事項……………29
- 11. ライダーの装備……………30
- 12. 競技出場の申し込み……………31
- 13. 出場料およびMFJ共済会掛金……………31
- 14. 競 技……………31
- 15. 入 賞……………32
- 16. 公式得点……………32
- 17. 出場車両……………33
- 18. MFJ公認車両および公認部品・用品……………33
- 19. 燃料およびオイル……………33
- 20. 車両検査……………34
- 21. ライダーおよび車両の変更……………36
- 22. 優勝者の決定……………36
- 23. 入賞者の車両検査……………36
- 24. 競技結果および記録の公表……………36
- 25. 競技会の延期および中止等……………36
- 26. 暫定結果に対する抗議……………37
- 27. 損害に対する責任……………37
- 28. 大会審査委員会の権限……………38
- 29. 違反行為に対する罰則……………38

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟 (Fédération Internationale Motocycliste; 略称 FIM) の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章 総則

1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(以下「MFJ」という)は、国際モーターサイクリスト連盟(Federation Internationale Motocycliste 以下「FIM」という)の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会(以下「承認競技会」という)についても適用される。
- 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該競技審査委員会が行い、これを最終的なものとする。
また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

- 公認競技会の格式
 - 国内格式競技会
国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。
 - 国際格式競技会
国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会(FMN)が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会にはFIM競技規則が適用される。
- 格式の内わけおよびその優先順位は、下記のとおりとする。

優先順位	公 認 競 技 会		優先順位	技 会	
	国 際 格 式	国 内 格 式		国 際 格 式	国 内 格 式
1	世界選手権競技会(FIMカップ含む)		6	全日本選手権(スーパーカップ含む)	
2	国際選手権競技会		7	特別競技会	
3	日本(MFJ)グランプリ		8	地方選手権競技会	
4	全日本選手権		9	県選手権競技会	
5	国際競技会(スーパーカップ含む)		10	その他、競技会	

3. 公認競技会の種目

公認競技会の種目は、次のとおりとする。

- 1) ロードレース
- 2) モトクロス
- 3) トライアル
- 4) スノーモビル
- 5) その他MFJスポーツ委員会が認める競技

4. 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- 1) ロードレース
- 2) モトクロス
- 3) トライアル
- 4) スノーモビル
- 5) エンデューロ
- 6) ミニバイクレース
- 7) その他MFJスポーツ委員会が認める競技

3 大会特別規則ならびに公式通知

1. 競技会は、この規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2. 大会特別規則および公式通知は、競技主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

1) 大会特別規則には次の各項が示される。

- (1) 競技会の名称・格式
- (2) 競技会組織
- (3) 主催者の名称、所在地および連絡先
- (4) 開催日時・場所
- (5) 競技の種目および内容
- (6) 参加資格
- (7) 出場申し込み受け場所
- (8) 出場申し込み期間
- (9) 出場料とMFJ共済会掛金
- (10) 出走者の定員
- (11) 賞およびその詳細
- (12) その他

3. 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章 ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

1. ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびピットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。

※ また、ライセンスを受けた者は、自動的にその住所を管轄する財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会都・道・府・県支部(以下「県支部」という)に所属する。

2. 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりである。

●競技ライセンスの種目

種目 クラス	ロードレース	モトクロス	トライアル
国際A級	○	○	○
国際B級	—	○	○
国内A級	○	○	○
国内B級	○	○	○
国内C級	○	—	—
ジュニア	—	○	○

●スノーモビルの 競技ライセンス

スノーモビル	
ク	A 級
ラ	B 級
ス	ジュニア

●競技ライセンスの種目

取得している ライセンス	競 技 ラ イ セ ン ス					Lライセンス
	ロードレース ライセンス	モトクロス ライセンス	トライアル ライセンス	スノーモビル ライセンス	—	
公認 競技会	ロードレース	○	—	—	—	—
	モトクロス	—	○	—	—	—
	トライアル	—	—	○	—	—
	スノーモビル	—	—	—	○	—
承認 競技会	ロードレース	○	—	—	—	—
	モトクロス	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○
	エンデュロ	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○
その他M.F.J. スポーツ委員 会の認める競 技会	○	○	○	○	○	

※運転免許を受けているもの限り、ピットクルーライセンスでライダーとして承認競技会に参加できる(Lライセンスと同じ)

3. FIMライセンス (MFJ経由)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技ライセンス区分	取得資格
ロードレース モトクロス	① 大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会 に使用できる	16才以上で 当該種目の国際B級以上のライ センス所有者
トライアル	② 年間ライセンス 国内・国外で行われる世界選手 権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンス を取得後1年以上経過した者

5 競技ライセンスの有効期間

1. 競技ライセンスの取得申請を行う者は、次の要件をみたしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国の代表機関の承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国の代表機関 (FMN) からFIM国際ライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。
- 3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。
- 4) 種目による条件

(1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、Lライセンス

- ① 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。
- ② 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証 (発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ) を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。

(2) ロードレース

- ① 運転免許を受けており、下記の要件を満たしていること。

ア. 国内B級ライセンス

MFJの公認するロードレース・国内B級ライセンス講習会の修了証を受けていること。またはMFJの公認するサーキットにおける3時間走行証明書を受けていること (走行券やカードは不可)。または国内C級ライセンスにて、公・承認ロードレース大会に2回以上の出走実績があること。または、公認・承認ロードレース競技会において、予選出走台数20台以上のレースで10位以内10台以上のレースで6位以内に入賞実績のあること (どちらか1回で可)。なお、有効実績は前年度 ('89.11.1 ~ '90.10.31)の大会からとする (MFJ指定の用紙で申請すること)。

イ. 国内C級ライセンス

MFJの公認するサーキットのライセンス講習会の修了証を受けていること。サーキットライセンスを取得していること。

- (3) ピットクルー
16歳以上であること。



6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。

7 競技ライセンスの効力の失効等

1. 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - 1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - 2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - 3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - 4) MFJの認めないモーターサイクル競技会に出場した者。
 - 5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
 - 6) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

1. 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による（124頁参照）。

第3章 競技会

9 競技参加者

1. MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。
 - 1) エントラント
エントラントとは、MFJの特別会員である二輪車メーカー及び公認サーキット並びに賛助会員で「競技参加の申請」を行った団体または個人をいう。
 - 2) ライダー
ライダーとは、次の者をいう。
 - (1) MFJ競技ライセンスを受けていること（効力の停止中の者を除く）。
ただし、満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したものであること。
 - (2) 競技中またはその他の転倒事故等により負傷したライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ていること。
 - 3) ピットクルー
ピットクルーとは、MFJピットクルーライセンスを所有している者で次の者をいう。
 - (1) メカニック
 - (2) ピットサインマン
 - (3) ヘルパー
2. 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

1. 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
 - 1) 競技会中は、MFJ国内規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
 - 2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通法規を守らなければならない。
 - 3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動は厳に慎まなければならない。
 - 4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - 5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。

い。

- 6) 競技会に参加することが認められた者が出場できない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることとする。
2. 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
 - 1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - 2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - 3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - 4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - 5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目細則による。
 - 6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
 - 7) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。

11

ライダーの装備

1. ライダーの装備は、次のとおりとする。
 - 1) ヘルメット
 - (1) ライダーは、コース（グリーンベルトを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - (2) MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていないといけない。
 - (3) MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
 - (4) 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上からその使用を禁止する。
 - (5) MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。この場合は、別に定める特別検査料を支払わなければならない。
 - 2) 服装
 - (1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。

(2) その他細部については、各競技種目別細則により定める。

※ 予告事項

ロードレースのレーシングスーツについては、'92年以降、MFJ公認のものでなければならない。'91年度は車検で安全が確認されれば使用できる。

12 競技出場申し込み

1. 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - 1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない(エントリーの時点で、当該ライセンスを取得していること)。
 - 2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - 3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
2. 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

13 出場料およびMFJ共済会掛金

1. エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
2. ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金を主催者に支払わなければならない。MFJ共済会については、別に定める規則による。
3. いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、払い戻しされない。

14 競技

1. 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
2. スタートの方法はそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
3. 競技中競技役員が合図旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
4. 合図旗とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
5. 停止
 - 1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分に注意しなければならない。
 - 2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - 3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ(中途退場)する場合は、

その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイア届けを提出しなければならない。

- 4) ライダーは、リタイア届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
- 5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。

ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。

5. ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
6. 競技の終了

競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

15 入賞

1. 入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

16 公式得点

1. 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点は、下記のとおりとし、この詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

(1) 全日本選手権および地方選手権競技会

台数 順位	25 以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11					
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

(2) その他の公認競技会(トライアルは除く)

台数 順位	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6		
4位	5	5	5			
5位	4	4				
6位	3					

17 出場車両

1. 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
2. 総排気量は、シリンダー容積を測定するのに用いられる幾何公式によって計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

公 式

$$\text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数} \quad \begin{array}{l} D = \text{ボア} \\ C = \text{ストローク} \end{array}$$

(小数点以下4ケタで切り捨てる) 単位=cm

測定の際には、ボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても、排気量が当刻クラスのリミットを超える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

3. 車両は細則に示す「車両改造限度」と「総合仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
4. 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

18 MFJ公認車両および公認部品・用品

1. MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行するライディング誌、その他により公示される。
2. 公認の発効は車両タイヤ、部品についてはMFJ技術委員会において審査し、公認された日の翌月の対応日(対応日がない場合は前日)または、発売日の翌月の対応日としヘルメット、レーシングスーツは、公認された日からとする。
3. 車両は、当該競技会出場申し込みの時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。ただし、大会当日に公認が発効される車両にあたっては、大会事務局長に車両変更申請を行って競技に使用することができる。

19 燃料およびオイル

1. 競技に使用する燃料は、一般市販ガソリン(民間航空機用の市販ガソリンでも可)でなければならない。供給ガソリンの製造メーカーおよびその他の詳細は公式通知に示される。なお、ロードレースに使用するガソリンについては、ロードレース競技細則の定めるところによる。
2. オイルの製造メーカーは指定しない。
3. その他燃料については、次のとおりとする。
 - 1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。

20 車両検査

- 2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示に従わなければならない。
- 3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。

1. 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
2. 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない（スタート前チェック）。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
3. 音量測定法は、FIM方式により次の条件によるものとする。

- 1) 排気管から50cmのところに、端部のセンターラインから測って45°の角度で、排気管の高さと同じ高さ、すなわち地上から最低20cm以上の高さにマイククロフオンをすえ付けて測った場合、次頁表のリミット内でなければならない。

これが不可能である場合は、45°上方において測定することができる。音量測定の際は、変速ギアをニュートラルにして、車両のスタンドを立てておくものとする。検査に合格したマフラーには、印をつけなければならない。認証の後にマフラーを変更することは許されない。ただし、同様に検査され、印をつけられたスペアのマフラーについては、この限りでない。

ライダーは、変速ギアをニュートラルでエンジンを所定の回転数に達するまで回転させねばならない。所定の回転数に達したときに、測定を行うものとする。

●音量許容範囲

種目	区分	許容範囲	レース後の許容誤差	気温による許容誤差
ロードレース	F1とGPクラス	105db/A以内	3db/A	20℃を正として 10°で1db/A 0°で2db/A
	F3とSPクラス	102db/A以内		
モトクロス	全クラス	99db/A	1db/A	
トライアル	2サイクル 4サイクル	94db/A以内		

※'91年から4サイクルマシンの5db/Aの許容誤差は認められない。

※予告事項：

1993年1月1日より	ロードレースSPとF-3	99db/A
-------------	--------------	--------

2. 回転数は、エンジンのストロークに相応するピストンの速度に基づくものとする。

$$A = \frac{30 \times B}{C}$$

A=所定のエンジン回転数

B=ピストンスピード 2サイクル 毎秒13,000mm
4サイクル 毎秒11,000mm

C=ピストンストローク(mm)

●音量規則：エンジン回転数rpm(小数点以下は四捨五入)

ピストン ストローク (mm)	(2サイクル) ロードレース モトクロス	○トライアル エンデューロ ○(4サイクル) ロードレース モトクロス	ピストン ストローク (mm)	(2サイクル) ロードレース モトクロス	○トライアル エンデューロ ○(4サイクル) ロードレース モトクロス
30	13,000	11,000	66	5,909	5,000
31	12,580	10,645	67	5,820	4,925
32	12,187	10,313	68	5,735	4,853
33	11,818	10,000	69	5,652	4,783
34	11,470	9,706	70	5,571	4,714
35	11,142	9,429	71	5,492	4,648
36	10,833	9,167	72	5,416	4,583
37	10,540	8,919	73	5,342	4,521
38	10,263	8,684	74	5,270	4,459
39	10,000	8,462	75	5,200	4,400
40	9,750	8,250	76	5,132	4,342
41	9,512	8,049	77	5,065	4,286
42	9,285	7,857	78	5,000	4,231
43	9,069	7,674	79	4,937	4,177
44	8,863	7,500	80	4,875	4,125
45	8,666	7,333	81	4,815	4,074
46	8,478	7,174	82	4,756	4,024
47	8,297	7,021	83	4,699	3,976
48	8,125	6,875	84	4,643	3,929
49	7,959	6,735	85	4,588	3,882
50	7,800	6,600	86	4,535	3,837
51	7,647	6,471	87	4,483	3,793
52	7,500	6,346	88	4,432	3,750
53	7,358	6,226	89	4,382	3,708
54	7,222	6,111	90	4,333	3,667
55	7,090	6,000	91	4,286	3,626
56	6,964	5,893	92	4,239	3,587
57	6,842	5,789	93	4,194	3,548
58	6,724	5,690	94	4,149	3,510
59	6,610	5,593	95	4,105	3,474
60	6,500	5,500	96	4,063	3,438
61	6,393	5,410	97	4,021	3,402
62	6,290	5,323	98	3,980	3,367
63	6,190	5,238	99	3,939	3,333
64	6,093	5,156	100	3,900	3,300
65	6,000	5,077			



4. ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配付された車両仕様書をもって申請することができる。

21 ライダーおよび車両の変更

1. エントリーされたライダーの変更は認められない。
2. 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要が生じた場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。
車両変更料は5,000円とする。
 - 1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要が生じた場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - 2) 紛争に際して、製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

22 優勝者等の決定

1. 優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めるところによる。

23 入賞者の車両検査

1. 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
2. 保管車両は、必要に応じて検査される。
3. その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

24 競技結果および記録の公表

1. 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
2. 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
3. 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

25 競技会の延期および中止等

1. 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれ等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
2. 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
3. すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
4. 特にやむを得ない理由によって、トップ走者が、その競技に決められた周回数（または時間）の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効とする。
※ ロードレース全日本選手権は、細則3の〔㉗〕レースの停止と再スタート（72頁）の定めるところによる。

5. トップ走者が決められた周回数（または時間）の3分の2以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。

※ ロードレース全日本選手権は、細則3の〔27〕レースの停止と再スタートの定めるところによる。

6. 競技の中止と出場料等の返却は、下記表のとおりとする。参加者は、その他いっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。

区分 競技会の 不成立	出場料 MFJ共済会掛金	返却・不返却	備 考
完全 不成立	出場料	○	出走不可能
	掛金	○	
条件付 成立	出場料	×	決勝において、所定の号以上経過して中止
	掛金	×	
決 勝 不 成 立	出場料	決勝進出者のみ○	決勝時に出走不可能
	掛金	×	

注1. ○は返却する。×は返却しない。
2. 競技の成立・不成立は、クラス単位に判断する。

7. 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

26 暫定結果に対する抗議

1. 抗議は、暫定結果に対してのみ、発表後30分以内に参加者だけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。

- 1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
- 2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- 3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
- 4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- 5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

27 損害に対する責任

1. 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。

車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。

2. 競技会開催期間中、またはその前後に起された傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
3. 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮りに競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

28 大会審査委員会の権限

1. 大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

29 違反行為に対する罰則

1. 大会中（競技中も含む）における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科すことができる。
 - 1) 注意処分（口頭による注意または文書による注意）
 - 2) 嚴重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
 - 3) 罰金（10,000円以上50,000円以下）
 - 4) 競技結果に対する1分以内の加算
 - 5) 競技結果に対する1分以上の加算、または1周以上の減算
 - 6) 退場
 - 7) 失格

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。
2. ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止にまでおよぶかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

附 則

1. 本規則は、1991年1月1日から施行する。



最新の技術と伝統、信頼のエンジンオイル。



Castrol A747

世界中のレースシーンで絶大な信頼を得ている2サイクル混合専用レーシングオイル。高い油性と清浄性を両立しています。

- 2サイクル混合用レース専用オイル
- SAE : 50
- 基油 : 化学合成油・植物油の混合油
- 混合比の目安 20 : 1~30 : 1
- 流動点(°C) : -30 ●引火点(°C) : 117
- 色相 : L6(暗褐色)



Castrol R30

- 2サイクル混合用・4サイクルレース専用オイル
- SAE : 30
- 基油 : 植物油



Castrol B353

- 4サイクル用レーシング専用オイル
- SAE : 40
- 基油 : 化学合成油・植物油の混合油



Castrol New Formula TTS

- 2サイクル分離・混合両用オイル
- SAE : 30
- 基油 : 化学合成油



Castrol 2TS

- 2サイクル分離・混合両用オイル
- SAE : 30
- 基油 : 化学合成油



Castrol SUPER SPORTS

- 2サイクル分離・混合両用オイル
- SAE : 20
- 基油 : 部分合成油



Castrol Mini Bike

- 2サイクル分離・混合両用オイル
- SAE : 20
- 基油 : 部分合成油



Castrol SYNTRON EXTRA

- API : SG/CD
- SAE : 5W-50
- 基油 : 化学合成油



Castrol Neues Formular RS

- API : SF/CC
- SAE : 15W-50
- 基油 : 化学合成油



Castrol GPS

- 4サイクル専用
- API : SF
- SAE : 20W-50
- 基油 : 部分合成油



Castrol GP

- 4サイクル専用
- API : SF
- SAE : 10W-40
- 基油 : 鉱物油



Castrol Racing Brake Fluid

- レース専用ブレーキフルード
- 平衡流動点 : 297°C



Castrol for MOTOR SPORTS uses DOT5

- レース用ブレーキフルード
- ウェット沸点 : 185°C
- FMVSS No.118 DOT5



Castrol SUPER DOT4

- 高性能ブレーキフルード
- ウェット沸点 : 175°C
- FMVSS No.118 DOT4
- JIS K2233 BF-4



Castrol Fork Oil

- フロントフォークあるいはダンパー用オイル
- Fork Oil Extra Light SAE : 5W
- Fork Oil Medium SAE : 30
- 2つのタイプを混合してお使いいただけます。

●粘度の目安

バイクのタイプ	粘度
モトクロス、オフロード	10W-15W
モトクロス、オフロード	
側立サスの場合	5W
ロードレーサー	10W-20W
市販オンロード	50W-10W

●フォークオイル混合の目安

粘度目安	カストロールフォークオイル		混合比
	10W-15W	5W-10W	
SAE 5W	1	0	
SAE 10W	3	1	
SAE 15W	1	1	
SAE 20	1	3	
SAE 30	0	1	



Castrol

■使用車の取扱説明書及び缶の裏側の説明に従ってお使いください。■お求めは全国の2輪販売店及びカーショップでどうぞ。
■本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
■カストロール株式会社 〒102 東京都千代田区麹町3-1 泉屋ビル TEL.03-3265-8101代

オンロードからオフロードまで幅広いジャンルで走りをするSHOEIのMFJ公認ヘルメット。

X-8シリーズ 「ビルトイン・メカシールド」の採用により、高速走行時に生じる風切音や風の巻き込みを減少



ホワイト

X-8

¥35,000 ホワイト、ライトシルバー、スターメタリック、ブラックメタリック
¥36,000 キャンディレッド、キャンディブルー

●カラー：ホワイト、ライトシルバー、スターメタリック、ブラックメタリック、キャンディレッド、キャンディブルー



キャンディレッド



X-8-RAINEY

¥44,000
●カラー：ホワイトベース

GRVシリーズ 3素材複合積層構造から生れた、「軽さと強さ」。



GRV

¥34,000

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、スターメタリック



GRV-REGALO

¥39,000

●カラー：ブラックベース×ブルーメタリック&シルバー、ブラックベース×レッド&シルバー、ホワイトベース×グリーンメタリック&ダークシルバー



GRV-NEXUS

¥39,000

●カラー：ホワイトベース×ブルー&ダイープブルー、ブラックベース×プラウメタリック&シルバー、ホワイトベース×ブラック&レッド、ブラックベース×ホワイト&レッド

[GRVシリーズ共通スペック]

●規格：スネル規格M65、JIS規格C種(MFJ公認) ●サイズ：XS(53-54cm)、S(55-56cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●XSサイズはGRVのプレイングカラーのみです。 ●構造：カーボン&ケブラー&ファイバーガラス複合積層構造*シールド(C-10A)は、標準装備のクリアーと別売のメロースモークの2種類、各¥3,500です。また、別売のC-10A・ANTI-FOGシールド(クリアーのみ)、¥4,500とティアオフ・フィルム(クリアー5枚入セット)付のC-20Aシールド(クリアーのみ)、¥4,500も適用可能。

RSVシリーズ 「軽さ」で選ぶか、「メカニズム」で選ぶか、充実のパリエーション。



●SHIMECS:SHield MEchanical System
シームックスは、シールドカバーにネジもなく、道具を使わずに手軽にシールドの交換ができるSHOEI独自のシステムです。
*シームックス・オプション・パーツセット(RSVシリーズが適用対象機種)：¥1,200

RSV-S ¥32,800

●カラー：ホワイト、ブラック、コスミックブルー

[RSV-Sシリーズの特長]

■フラッシュサーフィス化を究めたシームックスを採用。 ■道具や手間をかけずに容易なシールド交換が可能。 ■シェル内の熱気の解消を促すハイタッチフィッティング新内装。 ■シールドの曇りを除去・防止するロアエアインテーク。 ■シールドとの密着性や雨対策を駆使した雨漏れ防止パチゴム。 ■シェル内に走行風を導入するアッパーエアインテーク。 ■シェル内の熱気を排出するネック&リア・アウトレット。 ■前方・側方・振り向きざまの後方視界まで高めているワイドなアイポート部。



RSV-S-TROY LEE

¥39,800

●カラー：フローストピンクベース
トイリー



RSV-S-PLISIO・II

¥38,000

●カラー：シルバーベース×ブラックメタリック&フローストグリーン、シルバーベース×ブラックメタリック&フローストピンク



■新素材の採用で軽量化をはかったスペシャル・バージョン。

RSV-SP ¥36,000

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、コスミックブルー*シールドは、C-10A・ANTI-FOGシールド(クリアー)、¥4,500を標準装備。別売のC-10Aシールドはクリアー・メロースモークの2種類、各¥3,500です。



RSV ¥32,000

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、コスミックブルー*シールド(C-10A)は、標準装備のクリアーと別売のメロースモークの2種類、各¥3,500です。また、別売のC-10A・ANTI-FOGシールド(クリアーのみ)¥4,500と、C-20Aシールド(クリアーのみ)¥4,500とティアオフ・フィルム(5枚入セット)付¥4,500も適用可能。

[RSV-Sシリーズ共通スペック]

●規格：スネル規格M65、JIS規格C種(MFJ公認) ●サイズ：XS(53-54cm)、S(55-56cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造：ケブラー&ファイバーガラス複合積層構造*シールド(C-10A)は、標準装備のクリアーと別売のメロースモークの2種類、各¥3,500です。また、別売のC-10A・ANTI-FOGシールド(クリアーのみ)¥4,500も適用可能。

[RSV-SP、RSVの共通スペック]

●規格：スネル規格M65、JIS規格C種(MFJ公認) ●サイズ：XS(53-54cm)、S(55-56cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造：ダイニマ&ファイバーガラス複合積層構造(RSV-SP)、ケブラー&ファイバーガラス複合積層構造(RSV)

リードする、

For better concentration

SHOEI

TOYO
LOS ANGELES
ANTWERP
PARIS

●ヘルメットのあごひきはレックと呼ばれる。安全確保のため、公道はしないでください。
●カクテルグラスは、軽便型(7万円)もあって、本社までお取り寄せください。
●部品、修理、その他修理、ご質問等は最寄りの営業所サービス課までお問合せください。
●商品は改良のため、予告なく仕様変更することがあります。●標準小売価格には、消費税は含まれていません。●ケーブルはデュボネ社の登録商標です。
●販売元株式会社 本社/東京都文京区 東京都港区新橋2-9-13 品川ビル 〒105 電話(03)3502-0301
大阪支店 電話(06)451-6060 九州営業所 電話(092)411-7048 仙台営業所 電話(022)246-0155 名古屋営業所 電話(052)703-3171



ガードナー
X-8-GARDNER
¥44,000
●カラー:ホワイトベース



ローソン
X-8-LAWSON
¥44,000
●カラー:ホワイトベース



コンシスキー
X-8-KOCINSKI
近日発売予定
●カラー:ホワイトベース

[X-8シリーズの特長]

■シールドのカーベスによるフラッシュサーフェイス化の実現。■アッパー&ロアエアインテーク+新サイトレーションシステムがベンチレーション効果とシールドの曇りどめに威力を発揮。■ホール性能を高めながら、通気性、吸汗性を向上した新装着布地を採用。■さらに前後姿勢時の側方視界を拡大したワイドなアイポート。■シールドとシェルの一休性を高める新モールドラバー。■早もく、道具の必要もなしシステムが素早いシールド交換を実現。■橋脚スリムカット&首回りハイカット構造により、驚くほど風切音を低減。■装着後のあごヒモを固定する、新採用チンストラップ・エンドフック。

[X-8シリーズの共通スペック]

●規格: スネル規格M5.5、JIS規格C種(MFJ公認) ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: 新素材EFRファイバーグラス複合構造 ●シールド(CX-1)は標準装備のソフトスモークと、別売のクリアー、スモークの3種類、各¥3,800です。●実用新案出願中、意匠登録出願中

オンロード



RHV ¥25,000

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、スターメタリック ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造

オン/オフロード



VZ-II ¥28,000

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、ティープブルー ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造



J-MAX
¥28,000 (キャンディレッドのみ¥29,000)

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、ティープブルー、ティープブルーメタリック、スターメタリック、キャンディレッド ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ケブラー&ファイバーグラス複合構造

トライアル



TR-2P ¥21,000

●規格: JIS規格B種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ファイアーレッド ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造 ●バイザーはV-150(標準装備)とV-140(別売)の2種類、各¥1,500です。

モトクロス VXシリーズ 激しい走りにも動かないジャストフィットのがぶり心地。



VX-4R ¥32,000

●カラー: ホワイト、ブラック、ファイアーレッド、イエロー、ブルー ●別売バイザー(V-110)は、各¥2,500です(バイザーのカラー名は、ヘルメットのカラー名とそれぞれ同色です)。●取りはずして洗えるフレッシュ内装



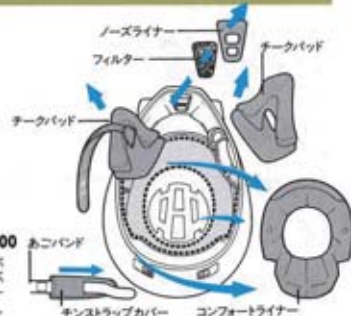
クーガー
VX-COUGAR ¥39,800

●カラー: ホワイトベース×キャンディレッド、ホワイトベース×キャンディブルー、ホワイトベース×イエロー、ホワイトベース×グリーン、ブルーメタリックベース×ピンク ●別売バイザー(V-110)は、各¥4,000です(バイザーのカラー名は、ヘルメットのカラー名とそれぞれ同色です)。●取りはずして洗えるフレッシュ内装



トロイリー
VX-TROY LEE ¥39,800

●カラー: ホワイトベース×ブルー&レッド、ホワイトベース×ブルー&イエロー、ホワイトベース×ブルー&グリーン ●別売バイザー(V-110)は、各¥6,500です(バイザーのカラー名は、ヘルメットのカラー名とそれぞれ同色です)。●取りはずして洗えるフレッシュ内装



VZ-II、VXシリーズ、VJ-Xは、コンフォートライナーや左右チークパッドなどが手軽にはずして洗える快適なヘルメットです。

[VXシリーズ共通スペック]

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造



FX-1 ¥22,000

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、ファイアーレッド、イエロー、ティープブルー ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造 ●別売のV-240バイザー(カラー名はヘルメットのカラー名とそれぞれ同色)は各¥2,500です。



ツーリング ¥26,000
FX-TOURING

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、ファイアーレッド、イエロー、ティープブルー ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造 ●別売のV-250バイザー(カラー名はヘルメットのカラー名とそれぞれ同色)は各¥2,800、C-19シールド(クリアー、イエロー)は各¥4,000です。



VJ-X ¥26,000

●規格: スネル規格M5.5、JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ケブラー&ファイバーグラス複合構造 ●取りはずして洗えるフレッシュ内装 ●別売バイザー(V-240)は、各¥2,500です(バイザーのカラー名は、ヘルメットのカラー名とそれぞれ同色です)。



VJ-1 ¥19,000

●規格: JIS規格C種(MFJ公認) ●カラー: ホワイト、ブラック、ファイアーレッド ●サイズ: S(55-58cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造: ファイバーグラス複合構造 ●別売バイザー(V-110)は、各¥2,500です(バイザーのカラー名は、ヘルメットのカラー名とそれぞれ同色です)。

'91年

ショウエイ賞

時代のヒーローは、ここから生れる。

幾多のライダー達から信頼され、愛され続けてきたSHOEI。
 〈日本のモータースポーツ発展のために少しでもお役に立ちたい〉と設けたこの賞も今年で12年目。モータースポーツの成長とともにますます充実してきました。国際A級ライダーならどなたでも参加可能な「ショウエイ賞」が、栄光ある未来への登竜門になる。



昭栄化工株式会社

本社/東京支店
 〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎03(3502)0301
 大阪支店 ☎06(451)6060 九州営業所 ☎092(411)7048
 仙台営業所 ☎022(246)0155 名古屋営業所 ☎052(703)3171
 ①東京工場NO.364106 ②茨城工場NO.371101 岩手工場

ショウエイかホンダオリジナルヘルメット(ショウエイ製)を着用し、MFJ公認全日本選手権シリーズの下記イベントに出走し、入賞されたライダーに規定の賞金を贈り、その栄誉をたたえます。

○対象レース区分(全日本選手権シリーズ)

ロードレース	500cc/250cc/125cc/F-1	国際A級決勝
モトクロス	250cc/125cc	
トライアル	オープン	

○適用期日

- '91年度ロードレース全日本第一戦より最終戦まで。
および鈴鹿8時間耐久レース。
- '91年度モトクロス全日本第一戦より最終戦まで。
- '91年度トライアル全日本第一戦より最終戦まで。

○参加資格および条件

ショウエイ賞の趣旨に賛同し、賞金制度の適用を望まれる国際A級ライダーで、原則として全日本選手権を全戦出場予定している方。ショウエイステッカーおよびワッペン等を、ヘルメット・マシン・レーシングスーツに貼付けることが条件となります。特典として、ショウエイヘルメットを提供します。

○賞金額(単位:万円)

ロードレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
500ccクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
250ccクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
125ccクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
世界耐久鈴鹿8時間レース		20	10	8	6	4	2
T.T.F-1クラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
モトクロスレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
250ccクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
125ccクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
トライアルレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
オープンクラス決勝レース	全日本第1戦~全日本最終戦	6	5	4	3	2	1

○グランドチャンピオン賞

ショウエイ賞申し込み者で、賞金対象レース部門の全日本MFJランキングチャンピオンを獲得された方に対し、別項の通り賞金を贈呈します。

グランドチャンピオン賞対象		MFJ全日本ランキングチャンピオン獲得者
ロードレース	500ccクラス	100万円
	250ccクラス	100万円
	125ccクラス	50万円
	F-1クラス	100万円
モトクロス	250ccクラス	100万円
	125ccクラス	100万円
トライアル	オープンクラス	100万円

●ショウエイ賞に参加ご希望の方は

①氏名②住所(〒番号)③年令④電話番号⑤所属クラブ⑥MFJ会員番号⑦参加クラス⑧ゼッケンナンバー⑨希望ヘルメットのサイズ⑩賞金振込先(銀行・支店・口座番号)を明記の上、下記まで、八ガキでお申し込みください。
 参加申し込み期間: 1991年1月1日より1991年3月末日まで。

申し込み先: 〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル
昭栄化工株式会社
 モータースポーツ・ショウエイ賞係

バイク大好き ラジアル組。

レースの時のキンチョー感もいけど
仲間と走る峠もサイコー。

北海道のツーリングもよかつたナ。

いつも楽しく走っていたい。

いろんな場所いろんなシーン

楽しいラジアルゲッター006。



HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTORSPORT

 **GETTAIR**



CAGIVA

FULL PERFORMANCE

劇的ライトウェイト

SEVEN-SPEED TRANSMISSION

CAGIVA MITO(ミト)、新登場。走ることを、操ることをより
楽しみ、独自のテクノロジーと磨きあげたシルエットが
美しいライトウェイト・スーパースポーツです。並み外れた
動力性能もさることながら、2ホットキャリパーを採用した
ブレンボ製フローティングディスクブレーキをはじめと
する全身クオリティがこのクラスの常識を打ち破ります。
フルパフォーマンス——CAGIVA MITO、華やかなデビュー。



●空冷2気筒4バルブ・水冷1100cc(25.7kW/6000rpm)

●アルミ合金フレーム ●バルブ・クランク・ピストン・クランクシャフト

●2ストローク・水冷・最高出力1500rpm ●7速ミッション

●リアブレーキ・ブレンボ製キャリパー・220mmディスク

●フロントブレーキ・ブレンボ製キャリパー・220mmフローティングディスク

●タイヤ：フロント17インチ 70-117(17インチ) (フロント)、180 60Z(17インチ) (リア)



MADE IN ITALY

CAGIVA MITO 125 FP

東京店頭渡し標準現金価格

¥790,000

(7%消費税別)



カジバ日本総代理店 **村山モーターズ**

本社/東京都渋谷区笹塚2丁目6番3号〒151-0033-3378-0181(代) 八王子営業所/八王子市宇津木町728-1〒192-00426-91-6511(代) 横浜営業所(新住所)/横浜市港南区日野8-1-2サンフィールド横浜〒233-0045-841-0181(代) 定休日:毎週金曜日・第2土曜・祝祭日 ※年末年始は12月29日より1月5日まで休業させていただきます。

MITO 125

東京店頭渡し標準現金価格

¥720,000

(7%消費税別)



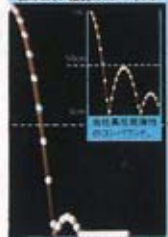
**SUPER PERFORMANCE
PRO-TECH**

NS-10

速さだけを見つめた究極の設計。

およそバイクに乗る人にとって、速さは永遠の魅力だと思っています。だからIRCは速さだけを見つめて、タイヤを作りまし。プロテックNS-10。はっきり言って激的なタイヤです。耐摩耗性やウェット性能など、速さを追求するうえで障害となる要素には、あえて目をつぶり必要最小限に留めました。その

速さだけを見つめた究極の設計。



このグラフは反発率が高いことに加え、厚みが増しても弾力の低下が少なく、コンパウンドの厚みが増しても弾力はほとんど変わらないことを示しています。

かわり、そこで犠牲にした分はすべてグリップの追求に注ぎ込みました。これは私達作る側にとっても、ライダー諸兄にとっても夢だったタイヤです。いま目の前にそれが「あります。速さの追求。その顕著な例がコンパウンドです。プロテックNS-10は一般市販ロードタイヤでは最も柔かなコンパウンドを採用し、また「タイプAスケール」で60-64」という極端なもの(一般タイヤが65)前

後)。またグリップ力を決定する反発弾性も徹底して低くしました。路面にがっちり密着して絶大なグリップ力を発揮します。例えば、右の図版のように極めて弾みにくい材質なのです。ですからアスファルトの細かな凸凹まで包み込み、ガッチリと握って離さないのです。パターンデザインもグリップ追求の顕著な例です。私達の理想はスリックでした。しかし最低限の耐ウェット性能のために、やむを得ずグループを設けたのです。フロントにはストレートとウイングを、

リアにはブーメラン&アーチェリーカットを…。イメージはロードゴーイングスリックです。しかもこの溝、4mmから6.5mmへと次第に巾広くなる形状です。次なる速さの追求はケーシング構造です。強力な構造体でトレッドをガッチリと支えます。強靱なケーシングに柔かくグリップの良

いトレッドを、これはまさにレーシングタイヤのコンセプトと同じなのです。加えて、操縦性を決定する断面形状もプロテックの名にふさわしいものです。フロントには運動性、リアには安定性を追求する断面形状を採用しました。徹底してスピードのみを追い続けたプロテックNS-10。峠ではもちろんサーキットでも大活躍が期待されます。

しかし、特に公道では、その性能をフルに引き出すテクニックと、速さをコントロールする理性が求められます。それがこのタイヤの味なのです。



トレッド
コンパウンドは反発弾性の写真を見ていただければ一目瞭然。路面に直接当たる部分だけに、デザインの細部まで研究しつくされているのです。

ブーメラン
これもカーカス同様、NS-10には2枚使用されています。路面からの衝撃を吸い、トレッドに受けた外傷を深部まで及ぼさない役目をしながら、トレッドとカーカスの剝離を防ぎ、全体の強度を上げるという重要な部分です。

カーカス
NS-10の内部構造はカーカス部に最も特徴があります。極太ナイロンをゴムで被覆した層としたため、強靱な骨格を形成しているのです。配列はもちろんバイアス(斜め)構造。

ファイラー
NS-10はこの部分から上のサイドウォール部で乗り心地、クッション性を確保しています。

インナーライナー
チューブと同じ素材を使ったチューブレスタイヤの内層ゴム。空気透過性が少なく、空気漏れを防ぐ役目をしています。

ビードワイヤー
鋼線を束ねてゴム被覆した輪形をした補強部品。高圧空気を充満したタイヤをリムに固定する、タイヤの基本となる部分です。



FRONT	
90/90-18 51H	
100/90-16 54H	

REAR	
110/80-18 58H	
120/80-17 61H	
120/80-18 62H	
130/70-18 63H	

私達と私達のタイヤに対する御意見をドンドンお寄せ下さい。私達はそれを大歓迎します。①現在お乗りになっているバイク②使用中のタイヤ(他メーカーでもけっこうです)③タイヤに対する御意見④住所⑤電話番号⑥氏名⑦年令⑧職業を書いて、〒107東京都港区赤坂6-5-36-B1株真康事務所内IRC情報センターRS係まで。

The Motorsport Spirit
IRC TIRE
アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社
〒454 名古屋市中川区八家町3-26 TEL.(052)361-8661(代)
A DIVISION OF INOAC



アライが完成させたひとつの理想形。

Super cLc RX-7Rは、驚くほど軽いヘルメットです。

しかも、ただ単に軽いだけではありません。並のスネル規格品にはない強さを兼ね備えています。

そもそもヘルメットとは、万一の際に衝撃を和らげ、ライダーの危険を減らす働きをする装備です。その中でもオートバイ用のヘルメットは、飛来する危険物より、もっと大きな衝撃に対処しなければなりません。というのは、転倒の際には、ライダーが身ひとつで空に飛ばされ、その時に受ける衝撃は非常に大きく、どこからくるかわからないのです。ヘルメットの、前後左右、あるいはヘリに近い所、頭頂部、時には顔面かもしれません。どこがぶつかるかわからないからこそ、保護範囲の広いフルフェイスの方が安心できるといえないでしょうか。

また、ヘルメットは、頭に加わる衝撃を減らすと同時に、首への負担も減らします。ヘルメットは、軽い方が良いことはもちろんですが、技術革新の伴わない軽量化は、頭に対する衝撃度を増やすだけであり、その衝撃は当然、首にとって危険となるのです。アライは、安全で快適なヘルメットを追い求めています。スネル品だからといって、スレスレにパスするだけの設計ならば、軽くすることも、ある意味では簡単です。しかし、実際の転倒例を検証し、ぶつかる箇所、頭に対する衝撃の強さ、首に対する負担を考えれば、話題だけを集めるような製品は造れません。そのために、アライでは独自のアライ規格を設け、スネル品として発売するモデルは、すべてそれに余裕を持ってパスすることを義務づけています。

このアライ規格の凄さは、衝撃吸収性試験の中でも厳しいとされる半球型に対する落下テストにおいて、その加える衝撃を、スネルでは一回目150J(ジュール)(高さ3m6cm)加えるところ、



アライ規格では155J(高さ3m20cm)、二回目はスネルが100J(高さ2m)加えるところを110J(高さ2m20cm)を加え、さらにスネルにはない三回目の衝撃テスト100J(高さ2m6cm)を行います。しかも加速度計に伝わるG、つまり脳に伝わる数値も、スネルの「314Gを越えてはならない」に対し、アライ規格では280G以下としました。チンパーテストにおいても、スネルではアゴ部に60cmの高さから障害物を落とすのに対して、アライ規格では150cmという、スネルを遙かに越えた厳しさを、Super cLc RX-7Rは、この厳しいアライ規格までをも余裕を持ってパスし、しかも驚くほどの軽さを実現しています。そして軽さについては、それだけではありません。アライのフルフェイスは、重心を低くし首への負担を軽くしていますが、Super cLc RX-7Rは例外ではありません。もし、手に持っただけなら逃ってしまうような軽さのモデルがあった時には、かぶり比べてください。かぶった時の軽さの違いに、再度、驚かれることでしょう。

このように強さと軽さを両立させ、理想に限りなく近づいたSuper cLc RX-7R。この魔術のような帽体Super cLcの主な素材は、実はスーパーファイバーなのです。スーパーファイバーは、現在考えられる限りにおいてヘルメットの素材としてもっとも優れたものです。このスーパーファイバーと種々の強化繊維を、まるで工芸品を仕上げるように、重さに対するムダを省きながら、丁寧に組み上げ、成型された帽体がSuper cLcなのです。まさにアライの先端をつかみ取るうとする食欲さと、職人の気質を持った魂が造り上げたヘルメットです。



Super cLc
Super Complex Laminated Construction
RX-7R

●帽体：ScLc(スーパー・コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格：スネル1985 JS C種 ●内装：ニューベンチレーション内装、システムパッド(頬パッド調整可能・特許出願中) ●色：白、黒 ●シールド：アドバンスタイプ標準装備(特許出願中) ●サイズ：(53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62) ●価格：¥43,000(消費税は含まれていません) ●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。 ●Araiヘルメット

直通TEL(048)645-3661 株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12 TEL(048)641-3825-7



R

OAD RACE

■細則1 ロードレース細則

1. 適用の範囲	48
2. ロードレース	48
3. レース出場車両	48
4. 合図旗および合図	48
5. 公式予選(オフィシャルプラクティス)	49
6. レース	49
7. 優勝者、入賞者の順位、完走者および得点	51
8. ライダーの装備	51

■細則2 ロードレース車両細則

1. レース出場車両	52
2. MFJ公認車両・公認部品	52
3. ガソリン・冷却剤	52
4. 総合仕様	53
5. GPフォーミュラ部門の車両改造限度	58
6. スポーツプロダクションの車両改造限度	59

■細則3 '91全国日本選手権大会特別規則

1. 競技会開催日程等	67
2. 運営実行組織	67
3. 公式通知	67
タイムスケジュール	
4. 開催種目	67
5. 競技内容	67
6. 参加定員	67
7. 参加資格	67
8. 出場申し込み	67
9. 出場料および MFJ共済会掛金	67
10. 参加受理	68
11. 賞および得点	68
12. レース出場車両	68
13. ゼッケンナンバー	68
14. ライダーの装備	68
15. ガソリン	68
16. ビット	69
17. 出場受け	69
18. 車両および装備の検査	69
19. 出場車両の変更	69
20. 公式予選	69
21. 決勝レース出場台数	69
22. スタートの手順	69
23. スタートにおける反則	71
24. レース	71
25. レース中の合図	71
26. 停車指示	71
27. レースの停止と再スタート	71
28. リタイヤ(棄権)と停止	72
29. レース終了	72
30. レース終了後の 車両の保管と再検査	73
31. レースおよび大会の 延期・中止等	73
32. 抗議	73
33. 違反に対する罰則	73
34. 本規則の解釈	73
35. 本規則の施行	73

ロードレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則にもとづき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。

耐久レースは特別規則による。

3 レース出場車両

1. 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
2. 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。
3. Tカーは国際A級のみ認められる。

4 合図旗および合図

1. 公式練習、予選および決勝レース中は、右記の合図旗が使用される。

1) 寸法

- ・シグナル用旗 60×80cm(最小限)
- ・赤旗 60×100cm

2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルまたは国旗……………レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……………レース終了
- ・赤旗……………レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意をもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する

場合にも用いられる。

- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……………示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
- 3) 各コーナーポストで使用される旗
 - ・黄旗……………危険！
 - ・静止……………追い越し禁止。
 - ・振る……………減速、停止準備、追い越し禁止。
 - ・赤色ストライプ付きの黄旗……………コース表面滑りやすい。
 - ・赤旗……………レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐにかけろ。
 - ・緑旗……………コースクリアー。
 - ・白旗……………コース上に徐行している介入車両あり。
 - ・静止：1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。
 - ・振る：直前に徐行中の介入車両あり。
 - ・青旗……………追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。
 - ・静止……………間もなく追い越される。
 - ・振る……………追い越される寸前。
 - 4) ライトによるシグナル
 - スタートの際、国旗の代わりに、赤、黄、緑のライト・シグナルを用いることができる。旗によるサインの代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。
 - ・黄色燈の点滅1、2個——黄旗と同意味。
 - ・緑色燈——緑旗と同意味。

・赤色燈——赤旗と同意味、競技監督が使用。

ライトによるシグナルは、特に夜に行われるレースに使用しなければならない。

5 公式予選(オフィシャルプラクティス)

1. 公式予選

- 1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- 2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
- 3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。

2. 公式予選の内容

- 1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- 2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全上のチェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。
- 3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムがはなはだしく劣るものは、たとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、その次のラップタイムの順位による。
- 5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- 7) 予選が複数の組に公かれて行われる場合、総合タイム順によって決定する場合と組ごとの順位により決定する場合がある。総合タイム順であっても天候の変化等により、組ごとに路面状態に大幅な差異が生じた場合は、総合タイム順ではなく、各組ごとのタイム順により決定する。

※ 組み分け数による端数が出る場合とウェイトインの優先順序

例えば、グリッド数が30台で予選が4組に分かれて行われた場合は、7台ずつ28台となる。この場合のあと2名を選出する基準としては、それぞれの予選組の8位の者の中からその組のトップタイムからの差が少ない順で優先とする。また、ウェイトインの場合の優先順序も同様

とする。

- 8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
3. 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出さなければならない。
 4. レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
※ ウェイトイン(繰り上げ出場)の方法
 - ① 予選結果発表後、特別出走願書を提出する。
 - ② 特別出走願書を提出した後、全装備にてスタート前チェックを済ませ、コースインゲートに待機する。ただし、原則として特別出走願書提出者のうち上位タイム順3位までとする。
 - ③ 願書の提出期限は各大会の公式通知に示す。



6 レース

1. スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 4) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプ

によって行われる。ただし特別の理由により旗によって行われることがある。

2. ビット

ビットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。



3. ビットイン

1) ビットインする車両のライダーは、ビットロード入口手前よりビット側に車両を寄せ、手または足でビットインの合図を行ったのち、安全を確認してビットロードを徐行しなければならない。

ビットエリア（停車区域）を走行してビットインしたりビットアウトすることは禁止される。

2) ビットインする車両のライダーは、自己のビットに出来るだけ近いビットロードからビットエリアに入り、出来るだけ自己のビットに近づけて車両を停止させなければならない。

3) ビットインしてビットエリアに入った車両および当該車両のライダーやビットクルーは、ビットロードおよびビットエリアにおいて、他の車両の通過を妨げてはならない。

4) ビットインの際、自己のビット前を通り越して停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびビットクルーによって押し戻し、自己のビットにつけることが出来る。

4. ビットアウト

1) ビットロードにおいてはビットインしてくる車両に優先権がある。

2) ビットロードに出てコースに復帰するライダーは、ビットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースビット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。

5. ビット作業

1) レース中における車両の修理、調整、部品交換は、ビットに準備してある部品と工具によって行

わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。

2) ビット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。

6. ビット作業人員

1) ライダーは、その車両のメカニックを2名持つことができる。



耐久レースはライダー自身もヘルパーとなる

2) レース中にビットインし、エンジンを停止した車両に対する作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。

3) ライダーに対するビットクルー（メカニック、ビットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたビット区域またはビットサインエリアのみで合図を送ることができる。

4) ビット作業を行う者は、すべてビットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加はいっさい認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる（変更料1,000円）

5) ビットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員からの指示に従わなければならない。

6) ビットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのビットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

7. レースの終了

各レースの終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。

注：原則的にコースの1周の距離を1kmにつき1

分として定められる。

7 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

1. スプリントレースの場合

1) 優勝者

優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。

2) 入賞者および順位の優先順序

入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決完される。なお、周回数が同じ場合はゴールライン通過の順位による。

3) その他の優先順位

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。

2. 耐久レースの場合

耐久レースの場合は、各特別規則に示す。

3. 完走者

1) 優勝者の周回数の75%以上を走行したライダー完走者とする。

2) ピットロードでのゴールは、周回数には積算されるがチェッカーを受けたとは認められない。

4. 得点

得点は、国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(32頁)によって与えられる。



8 ライダーの装備

1. ヘルメット

1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。

2) MFJの公認したヘルメットには、右記の認証マークが貼付される。

3) 競技会の車両検査受け時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、

検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。

4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受けなければならない。

2. ライダーの服装

1) レーシングスーツ

① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものが望ましい。

② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付される。

③ 競技会の車両検査受け時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合はライダー本人の安全上使用を禁止する。公認マークの付いていないスーツについては安全確認の後、'91年度のみ有効な出場許可マークを貼付する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない。

予告事項：

1992年1月1日から、レーシングスーツはMFJに公認されたものに限られる。

2) ブーツ・グローブ

革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。

3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。



ヘルメットには特別推薦を示すホワイト地、またはゴールド地の公認マークが付いていなければならない。

ロードレース 車両細則

1 レース出場車両

出場車両（以下車両という）は、下記の仕様に適合し、かつ改造の要件に合致し、安全上完全に整備されているものでなければならない。

1. 車両の排気量区分

車両の排気量区分は、各部門別に次のように分けられ、開催種目および運用は、特別規則に示される。

●GPフォーミュラ部門

区分 クラス	通常吸気型	4サイクル過給型
	排気量	排気量
80cc	50ccをこえ 80cc以下	25ccをこえ 40cc以下
125cc	80ccをこえ 125cc以下	40ccをこえ 62.5cc以下
250cc	125ccをこえ 250cc以下	62.5ccをこえ 125cc以下
※ 500cc	250ccをこえ 500cc以下	125ccをこえ 250cc以下

注：500ccクラスはFIM規則と異なる（FIM規則は350ccをこえ500cc以下）。

※ 予告事項
'92年より50ccが追加される

●スポーツプロダクション部門

◎TTF-1クラス（国際規則）

区分 クラス	4サイクル			2サイクル
	2気筒以下	3-4気筒	4気筒過給型	4気筒まで
TTF-1	500ccをこえ 1000cc以下	400ccをこえ 750cc以下	200ccをこえ 375cc以下	250ccをこえ 500cc以下

◎TTF-3クラス（国内規則）

区分	4サイクル			2サイクル
	最大気筒数	単気筒	2気筒	3-4気筒
排気量	650cc以下	550cc以下	250ccを越え 400cc以下	125ccを越え 250cc以下

◎スーパーバイククラス（国際規則）

区分 クラス	4サイクル		2サイクル
	2気筒	3-4気筒	2気筒
スーパーバイク	550ccをこえ 1000cc以下	400ccをこえ 750cc以下	

◎SPクラス（国内規則）

区分 クラス	排気量	2サイクル	4サイクル
SP50	50cc以下	○	○
SP60	50ccをこえ 80cc以下	○	○
SP125	81ccをこえ 125cc以下	○	○
SP250	125ccをこえ 250cc以下	○	○
SP400	250ccをこえ 400cc以下	×	○
SP750	400ccをこえ 750cc以下	×	○

注：但し各サーキットごとにそれぞれ2サイクル、4サイクルの排気量別に開催クラスの組み合わせが認められる。

2 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は、巻末付録に記載されている。また、新たに公認される車両については、毎月のライディング誌にて公示する。

3 燃料・オイル・冷却剤

1. ガソリン・オイル

- 1) 競技会参加者の使用する車両のガソリン（以下「競技用ガソリン」という）は、一般に市販されているものでなければならない。
- 2) 競技用ガソリンとは、一般公道用の市販車に供するため、通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、各公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンとする（国際A級についてはFIM規則に準じる）。
- 3) 競技用ガソリンには、販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし、一般に販売されるスタンドの潤滑油および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されるものに限る）については認められる。

2. 冷却剤

水冷エンジンの冷却剤は、水あるいは水とエチルア

ルコールの混合物に限られる。

4 総合仕様

車両は、安全のために次の各項のすべてを充たしていなければならない。

1. ブレーキ

車両は、前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

2. リムとタイヤ

排気量50cc以下の車両を除き最少限リム直径は16インチとする。

3. ハンドルバー

1) 最低幅

80cc以下 400mm
その他 450mm以上

※グリップ装着時も最低幅をたもつこと。

2) 露出したハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、ゴムで覆われるようにしなければならない。

3) 中心線または中央位置の両側に対する最低回転角度は、20度以上でなければならない。

4) 前輪は、ハンドルバーがどの位置にあってもカウリングに接触しないようにしなければならない。

4. ハンドルバーのクリアランス

1) グリップ部およびレバーとカウリングとのクリアランスは20mm以上でなければならない。

2) ハンドルの回転角度を左右いっばいに切ったとき、ライダーの指を挟まないようにハンドルバーと燃料タンクの間で最低30mm以上の間隔を確保するようストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取り付けなければならない。

5. スロットルコントロール

スロットルコントロールは、手をはなすと戻す方式でなければならない。

6. クラッチレバーおよびブレーキレバー

クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端は、直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。この球を平たくすることは認められるが、平たくした部分の厚味は、14mm以上とし、いかなる場合においてもその端部に丸味を持たせなければならない（このレバーピボット点からボールの端まで測った場合のレバーの長さは、200mm以下とする）。

7. フットレストおよびペダル

1) フットレストは、前後車軸の中心を通過する線の100mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロール・ペダルも容易に操作できる位置になければならない。

2) フットレストの先端は、安全上半径8mm以上に丸められていなければならない。

3) ペダル類の先端は、安全上丸められていなければならない。

8. シートエンドの高さ

シートエンドの後方の部分は、シート面よりも150mm以上の高さがあるてはならない。(50～51頁図参照)

9. シートまたはその後方にある、いかなる部分の幅も450mm以下でなければならない。

10. 排気系

排気系はすべて側方に開口のない管により、車両の後方に排出されねばならず、排気管の端部は少なくとも30mmの長さでマシンのセンター軸と水平かつ平行でなければならない(許容誤差±10°)。

また排気管は、後輪最端垂線より突出してはならず、その排気によりほこりを立て、タイヤやブレーキを汚したり、後続のライダーに迷惑を与えるようなオイルの飛散を防ぐに有効な処置をしなければならない。

ただし、公認時の排気系を使用する場合は、この限りではない。

11. 音量規定

1) 排気管およびサイレンサーは、音量規定についてのすべての要求事項を充たしていなければならない。

2) 音量はFIM方式による測定方式で、下記の通りとする。FIM方式による音量測定方法は、国内競技規則・第3章〔20車両検査〕(34頁)を参照。

部 門	クラス	4サイクル	2サイクル
GPフォーミュラ部門	全クラス	105db/A	105db/A
TTフォーミュラ部門	F - 1	105db/A	105db/A
	F - 3	102db/A	102db/A
SPフォーミュラ部門	全クラス	102db/A	102db/A

※4サイクルの5db/Aの許容誤差値は無くなった。

※予告事項

'93年以降ロードレースSP部門とTTF-3部門の音量規制値は、99db/Aとなる。

12. 車両の傾斜角

車両の傾斜角度は、無負荷でタイヤを除き、どの部分も接地することなく垂線に対して50°傾斜させることが可能でなければならない。(54～55頁図参照)。

13. カウリング

カウリングを使用する場合は、次の条件をそなえたものでなければならない(54～55頁図参照)。

1) タイヤを除く前輪は、両側に明瞭に見えなければならない。

2) 前輪の車軸を通る垂線の50mm前方から後輪の車軸の垂線の間にななければならない。

総合仕様(53~58頁より)参考図

30度以内

前面のナンバープレートは、垂直に対して30度以内の角度とする。

50mm以下

カウリング前端部の形状は、図の範囲とする。

100度以上

45度~60度の間

50mm前方

カウリングの前端は前車軸の垂線から50mm前方まで

19mm以上

クラッチレバー、ブレーキレバーの先端は、直径19mm以上の球状とする。

20mm以上

グリップ部、レバーとカウリング間には20mm以上のクリアランスをとる。

100mm以下

フットレストは、前後車輪の中心を結ぶ線の100mm上方より下側に、また後輪の中心を通過する垂直線の前側に取り付けられなければならない。

450mm以上

ハンドル幅は450mm以上とする

20度以上

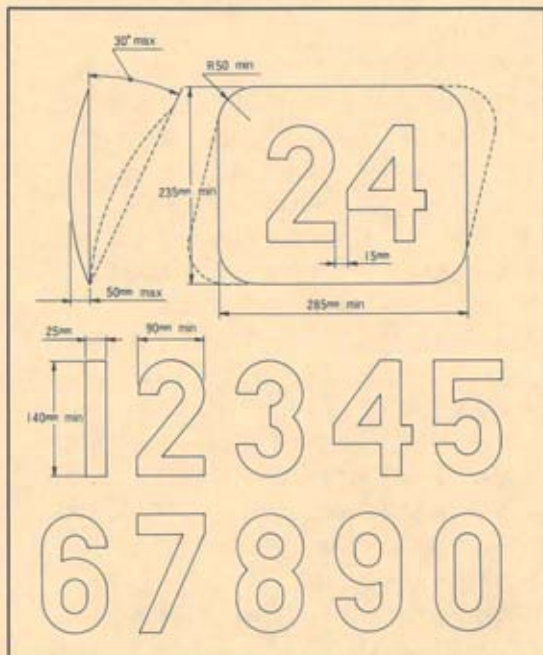
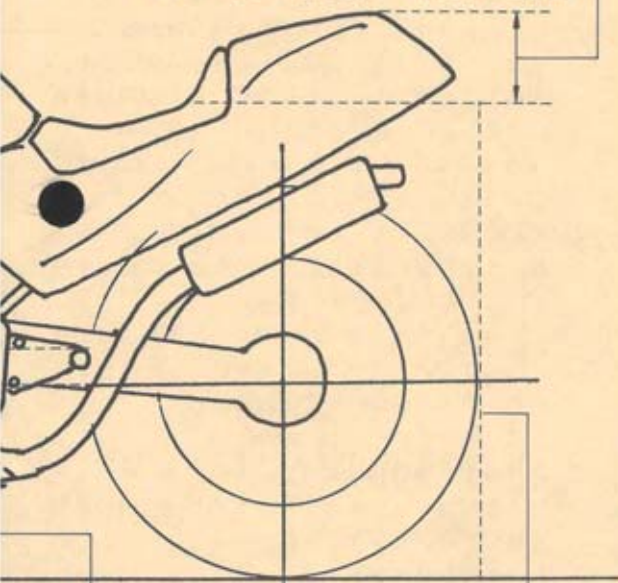
ハンドルの回転角度は20度以上とする。

30mm以上

ハンドルをいっばいに切ったとき、ハンドルバーと燃料タンクの間隔は30mm以上にする。

150mm以下

シート後方部分の高さは150mm以下にする。
サイドゼッケン位置は、シートカウルに限る。



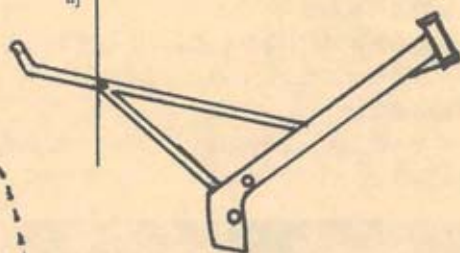
100mm以上

カウリング下端と地面には
100mm以上の間隔をとる。

はみ出し禁止

いかなる部品もこの垂直線
より後方に出てはならない。

カット可



丸める(R8mm以上)

フットレスト、ペダル類
の先端は丸められたもの
とする。

10mm以上

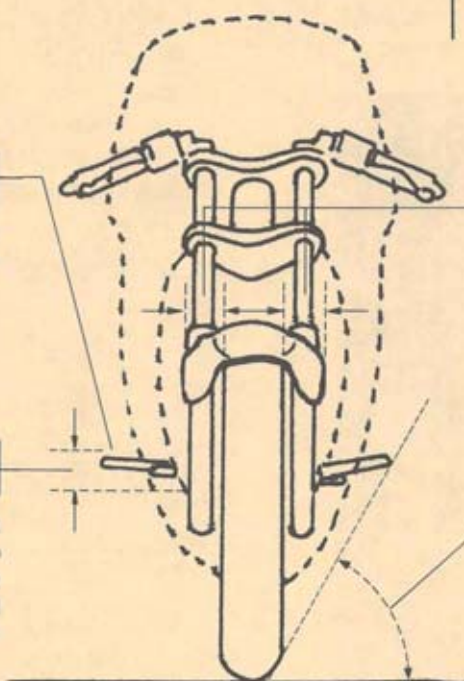
フェンダーを取りつける
場合は、フェンダー幅を
タイヤ幅より左右それぞれ
10mm以上とる。

100mm以下

フットレストは、前後車
輪の中心を結ぶ線の100mm
上方より下側に、また後
輪の中心を通過する垂線
の前側に取り付けられる
ことが必要。

50度以上

無負荷の状態、タ
イヤを除きどの部分
も接地することなく
50度の傾斜角をもつ
こと。



- 3) カウリングの下端と地面との間隔は、100mm以上でなければならない。
- 4) ライダーが普通に乗車した状態で、ライダーの両前腕部以外は、上方、後方、両側面から見えなければならない。ライダーの顔面またそのヘルメットとカウリング(ウインド・スクリーンを含む)との間の最小限のスペースは、100mmとする。
- 5) 後方に面しているカウリングのいかなる部分も、その端部を少なくとも半径3.5mm以上の丸状にしなければならない。後方に面しているウインド・スクリーンの端部には、ガードを施して切り傷を負う恐れのないようにしなければならない。
- 6) エアフォイル(空力パーツ)またはスポイラーは、それらがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取り付けることができる。これらの装置の幅は、フェアリングの幅をオーバーしてはならず、また、その高さはハンドルの高さをオーバーしてはならない。ふちのとがった部分は、少なくとも半径8mm以上の丸味をもたせなければならない。
- 7) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- 8) カウリングの前端部の形状は、54～55頁の図に示す範囲でなければならない。
- 9) 後輪の可視範囲
後輪のリムは、後輪の垂直線の後部円周180度にわたって明瞭に見えなければならない。

14. 部品の最後端

いかなる部品も後輪最後端垂線より後方に突出してはならない。



リヤカウルは後輪よりも突出してはならない

15. フェンダー

- 1) フェンダーは、タイヤの両側に張り出していないなければならない。
- 2) フロントフェンダーは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしてはならない。ただし、カウリングがついている場合は100°以下でもよい。フェンダーの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を水平に通る線の作る角度は45°～60°とする。
- 3) リヤフェンダーは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしてはならない。フェンダーの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は20°以上あってはならない。
- 4) フロントフェンダーは、カウリングがある場合には必要ない。リヤフェンダーは、シートカウルがリヤタイヤ外側の垂直接線にまで達している場合は必要ない。

16. 取りはずさなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台は取りはずさなければならない。

17. レースナンバープレート

- 1) ナンバープレートの大きさ
ナンバープレートは、車両の前面に取り付けるものは左右285mm以上、上下235mm以上の大きさのもので、54～55頁図に示されているものでなければならない。車両の左右に取り付けているのは50頁図に示されているように左右300mm以上、上下250mmの長方形のものでなければならない。
- 2) 取り付け方法
ナンバープレートの1枚は車両の前面に、前向きに、垂直から上向き30°以下の角度をつけて取り付け(54～55頁図参照)、車両の両側面にも各1枚垂直方向に取り付けなければならない。
- 3) ナンバープレートの色分け

	国際A級	国内A級	国内B級	国内C級
125	黒地に白文字	A マーク	B マーク	
250	緑地に白文字	A マーク	B マーク	
500	黄地に黒文字			
F-3*	青地に白文字	A マーク	B マーク	
F-1	白地に黒文字			
S-B	白地に黒文字			
耐久	黒地に白文字			
SP750		紺地に白文字		
SP			黒地に黄文字	C マーク

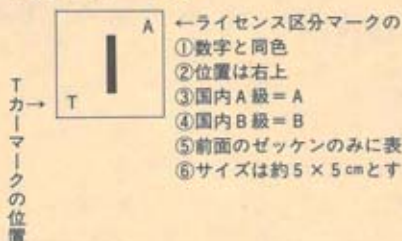
* 蛍光色は禁止する。

4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体は、上図に示すようなブロック体で、ナンバープレートの枠内に明確に記入しな

なければならない。ナンバーの寸法文字は、高さ140mm、幅は25mmとする。ナンバープレートには、所定のナンバー以外いかなる標示もしてはならない(18頁図参照)。

ゼッケンのマーキング



18. オイル・ドレイン・プラグと供給パイプ

すべてのオイル・ドレインプラグは確実に締め、ゆるみ止めに有効なロックワッシャーで固定するか、またはドリルで穴をあけてワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。オイル供給パイプは、確実に固定する。

オイルキャビテーターに進入する外部のオイルフィルター、スクリーン、またはボルトは、安全のために確定しなければならない。

19. 燃料、オイル・フィルター・キャップ

燃料、オイル・フィルター・キャップは、閉じた状態でもれるおそれがあることはない。さらに、いかなる場合においても、誤って開くことのないよう、完全にロックさせていなければならない。

● 燃料タンク・ブリーザーパイプ

燃料タンク・ブリーザーパイプを取り付ける場合は、ノン・リターン・パイプを燃料タンク・ブリー

ザー・パイプに取り付けなければならない。これらは、適切な材質の最小限容量 250cc のキャッチタンクへの排出式とする。

21. 4サイクル車のエンジンブリーザーシステム

すべてのブリーザーパイプは、透明または半透明の材質で、ライディングポジションから目視できる位置に配管し、後端はオイルキャッチタンクへ接続しなければならない。

ただし、エア・クリーナーボックスを装着している車両については、オイルキャッチ、タンクからのブリーザーパイプをエア・クリーナーボックスに収めることができる。

※ TTF1、スーパーバイククラスは義務付けられる。それ以外のクラスについては装置することが望ましい。

22. オイルキャッチタンク

1) 4サイクル車

全ての車両はその排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けなければならない(ただし最低容量は500cc以上とする)。

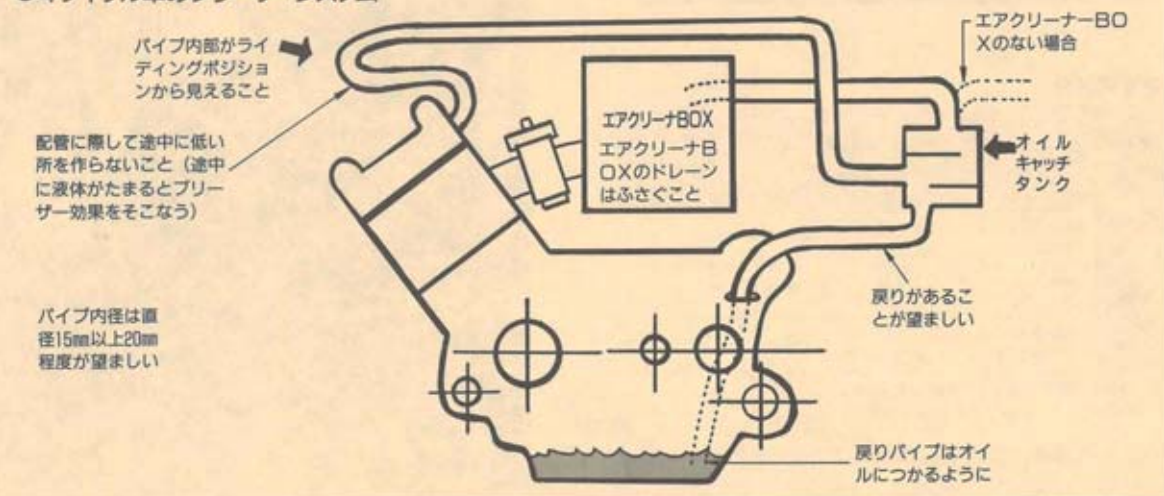
2) 2サイクル車

ギャボックスブリーザーパイプの取り付けられている車両のみ有効な250cc以上の容量のオイルキャッチタンクを取り付けなければならない。

※ 注意事項

オイルキャッチタンクは、転倒時に容易に脱落、または破損せず高温にも耐えられる材質のもので、オイルがこぼれないように確実に取り付けられなくてはならない。また、スタート時には必ずオイルキャッチタンクを空にしておかなければならない。

● 4サイクル車のブリーザーシステム



エアクリナーBOXをオイルキャッチタンクとしてはならない。また、オイルキャッチタンクとラジエーターリザーバタンク、燃料キャッチタンクは、それぞれ独立していなければならない。

23. ラジエーター・リザーバタンク

すべての車両は、100cc以上の容量のラジエーター・リザーバタンクを取り付けなければならない。

24. 燃料タンク

燃料タンクは、車両にしっかりと固定された唯一のものとする。

シート・タンクおよび補給タンクの使用は禁止される。軽便着脱式の取り替えタンクは、すべての種類の競技について、燃料補給の手段としては使用を禁止される。

さらに、タンクの容量を減少させる一時的充てん物の使用は禁止される。防火物質の全面的充てんは認められる。

25. ホース

すべての熱あるいは圧力のかかるホースに関しては、耐熱・耐圧ホースを使用しなければならない。

26. 電動式フェールポンプを装備している場合は、転倒の際には、ただちにフェールポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。

27. 危険防止

危険および他人に迷惑をおよぼすような改造をしてはならない。

適合していなければならない。

- 3) 半乾燥重量は、下記の最低重量を充たしていなければならない。半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

クラス	気筒数	最低重量
125cc	単気筒	65kg以上
250cc	2気筒以下	90kg以上
500cc	2気筒以下	95kg以上
	3-4気筒	115kg以上

なお、上記の最低重量をみとすために、ダミーシートを装備してはならない。

- 4) 車両が発生する音量限度等については、細則2の〔③総合仕様〕(52頁)を参照。
- 5) 車両は、フレーム、フロント・フォーク、スイング・アーム、ハンドルバー、ホイール・スピンドル構造に、チタニウムを使用してはならない。また、ホイール・スピンドルに軽合金を使用してはならない。

※ 予告事項：1992年1月1日より最低重量が下記のように変更される。(90FIM総会決定による)

クラス	気筒数	最低重量
125cc	単気筒	70kg
250cc	2気筒	95kg
500cc	2気筒以内	100kg
	3気筒	115kg
	4気筒	130kg

5 GPフォーミュラ部門の車両改造限度

競技の公平および安全を確保するため、次のように限定する。

国際A級部門

- 1) 車両およびその改造は自由とする。

●車両区分

クラス	区分	通常吸気型 排気量	4サイクル過給型 排気量	最大 気筒 数	最大 変速 段数	タンク 容量
125cc		80ccを越え 125cc以下	40ccを越え 62.5cc以下	単気筒	6段	6-32ℓ
250cc		125ccを越え 250cc以下	62.5ccを越え 125cc以下	2気筒	6段	6-32ℓ
500cc		250ccを越え 500cc以下	125ccを越え 250cc以下	4気筒	6段	6-32ℓ

注：500ccクラスは、FIM規則と異なる
(FIM規則は、350ccを越え500cc以下)

- 2) 車両は、国内競技規則および総合仕様に示されているロードレースについてのすべての条件に、



国内A級・国内B級部門

- 1) 車両は、市販レーサーまたは一般生産型で、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同じ車両同士のアッセンブリーまたは部品で、相互の交換性（いっさいの追加加工なしに交換できる）のあるものの交換は認められる。
- 3) 車両は、国内競技規則および総合仕様を示されているロードレースについてのすべての条件に、適合していなければならない。
- 4) 車両区分

区分 クラス	排気量	最大限 気筒数	最大限 変速段数	タンク容量
125cc	80ccをこえ125cc以下	単気筒	6段	6-32ℓ
250cc	125ccをこえ250cc以下	2気筒	6段	6-32ℓ

- 5) 半乾燥重量は、下記の最低重量を充たしていなければならない。
半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

クラス	最低重量
125cc	65kg以上
250cc	90kg以上

なお、上記の最低重量をみとすためにダミーウエイトを装備してはならない。

- 6) 車両が発生する音量限度等については、細則2の〔③総合仕様〕を参照。
- 7) 一般生産型車両の改造限度
一般生産型車両をベースに改造を行う場合は、下記の各項に規定されている要件に適合していなければならない。
(1) フレームの基本骨格（シートレールを含む）およびクランクケース本体は、車両公認時のものであること（54～55頁図参照）。
ただし、不要なステー類のカットおよびフレームの補強は認められる。
(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用していないこと。
(3) 過給は認められない。
(4) 上記項目以外の部品の改造・変更は自由とする。
- 8) 市販レーサーの車両改造限度

- 市販レーサーをベースとして改造を行う場合は、下記の各項に規定されている条件に適合していなければならない。
- (1) フレームの基本骨格およびクランクケース本体は、車両公認時のものであること。
 - (2) 下記の部品の改造変更することは認められない。ただし、MFJ公認部品および同一メーカー

のMFJの公認車両の部品のみ交換することが出来る。

- ①ミッション
 - ②フロントフォーク
 - ③リヤ・サスペンションユニットおよびリンク
 - ④スイングアーム（ただし、補強は認められる）
 - ⑤キャブレター
- (3) 下記部品はMFJ公認部品および同一メーカーのMFJ公認車両の部品と交換でき、また、下記のように改造することができる。
- ①シリンダー：切削によるポートタイミングおよびポート形状の変更（ポート数の変更は不可）。
 - ②シリンダーヘッド：切削による燃焼室形状の変更。
- (4) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
(5) 過給は認めない。
(6) 上記項目以外の部品の改造・変更は認められない。

※ 予告事項

1992年1月1日より最低重量が下記のように変更される。

クラス	気筒数	最低重量
125cc	単気筒	70kg
250cc	2気筒	95kg

6 スポーツプロダクション部門の車両改造限度

TTフォーミュラ部門

国際A級部門TT-F-1

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は、原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

区分 クラス	4 サ イ ク ル			2サイクル
	2気筒以下	3-4気筒	4気筒過給型	4気筒まで
TT-F-1	550ccをこえ 1000cc以下	400ccをこえ 750cc以下	200ccをこえ 375cc以下	250ccをこえ 500cc以下

注：エンジンは、各クラスの上限を15%越える排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない（ストロークダウンはできない）。

2. 国際A級TTF-1部門の車両

1) TTフォーミュラ1に出場する車両は、現在生産されているもので一般ユーザーが容易に入手し得るものであり、下記の要件をみたしていなければならない。

(1) 車両は、市販レーサーを除く一般生産型車両で、MFJまたはFIMが公認したものでなければならない。

※ 世界選手権およびインターナショナル格式においてはFIM公認車両に限られる。

3. 国際A級TTF-1部門の車両改造限度

1) 車両は、総合仕様に表示されているロードレースについてのすべての要件に適合していなければならない。

2) 下記のものについて、公認型式に変更を加えることはできない。

- (1) エンジンの型式
- (2) シリンダー、吸・排気バルブの数
- (3) ピストンストローク
- (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、およびギヤボックスシユェルの材質および構造

(5) バルブ数を含む吸・排気装置および2サイクル型エンジンのポート数、キャブレターの数

3) 下記のもの、次の制限内で改造・変更を行うことができる。

なお、これ以外の部品の改造・変更については制限がない。

(1) ギヤミッションは、6速の範囲内でギヤボックスシユェルに変更を加えない限り、ギヤ段数および変速比を変更できる。

(2) 燃料タンク最大容量は次のように制限される。

フォーミュラ1 = 24リッター

※ 注意事項

FIMの決定により、'91年より再ボーリングの際の排気量リミット1%オーバーは廃止された。

(3) シリンダーのキャストイング（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大は当刻車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度をこえてはならない。

(4) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことができる。

(5) 安全と音量のコントロールのための、排気管とマフラーの改造ができる。音量規定については細則2の〔③総合仕様〕を参照。

(6) すべての車両は、フレーム、フロント・フォ

ーク、スイング・アーム、ハンドルバーおよびホイール・スピンドル構造に、チタニウムを使用することはできない。

なお、ホイール・スピンドルに軽合金を使用することも、できない。

4) 上記項目以外の部品の改造・変更は認められる。



国際A級TTF-3

国際A級TTF-3クラスは2サイクル（スーパーカップ選手権）と4サイクル（全日本選手権）を分離して開催する。

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

最大排気量	4 サ イ ク ル			2サイクル
	単気筒	2気筒	3-4気筒	2気筒
排気量	650cc以下	550cc以下	250ccをこえて 400cc以下	125ccをこえて 250cc以下

注：エンジンは、各クラスの上限を15%越える排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない（ストロークダウンはできない）。

2. 国際A級TTF-3の車両

1) 車両は市販レーサーを除く一般生産型（専用コンプリート車両含む）のもので、MFJが公認したものでなければならない。

2) フレーム打刻型式とエルジン打刻型式が同じ車両同士の部品またはアッセンブリーで、相互の互換性（いっさいの追加加工なしに交換できる）のあるものの交換は認められる。

3. 国際A級TTF-3の車両改造限度

1) すべての車両は、細則2の〔③総合仕様〕に示されているロードレースについてのすべての条件に、全面的に適合していなければならない。

2) 下記については、公認型式を変更することはできない。

- (1) エンジンの型式
- (2) シリンダー、吸気・排気バルブの数
- (3) ピストンストローク

- (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスシエルの材質および鋳造
 - (5) バルブ数を含む吸・排気装置および2サイクル型エンジンのポート数
 - (6) キャブレターの数と型式
 - (7) フレームの基本骨格（シートレール含む）
 - (8) 燃料タンク
- 3) 下記のものは、次の制限内で改造・変更を行うことができる。

- (1) ギヤミッションは、6速の範囲内でギヤボックスシエルに変更を加えない限り、ギヤ段数および変速比を変更できる（MFJ公認部品）。
 - (2) シリンダーのキャスト（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度をこえてはならない。
 - (3) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことができる。
 - (4) フレームの補強および必要でないステー類カットすることができる。
 - (5) 燃料タンクの給油口およびコック。
 - (6) 安全と音量コントロールのための、排気管とマフラーの改造ができる。音量規定については細則2の〔③総合仕様〕を参照。
 - (7) キャブレター
- ① 4サイクル車：MFJ公認部品（マグネシウム製を除く）または一般生産型車両として公認されている車両のキャブレターを使用し、これを改造・変更ができる。
- ② 2サイクル車：車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアファンネルの取り付けはできる。
- (8) フロントおよびリヤ・サスペンションは、MFJ公認部品および同一銘柄の車両の部品のみ交換ができる（ただし、同サイズ以上）。

4) 構成部品の制限

- (1) 変速機は、MFJが公認したものでなければならない（MFJ公認部品）。
- (2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。フレーム交換の場合は車検で刻印を打刻する。
- 5) 上記項目以外の構成部品の改造・変更は認められる。

国内A級・国内B級部門

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は、原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

最大排気筒数	4 サ イ ク ル			2 サ イ ク ル
	単気筒	2気筒	3-4気筒	2気筒
排気量	650cc以下	550cc以下	250ccをこえて 400cc以下	125ccをこえて 250cc以下

注：エンジンは、各クラスの上限を15%こえる排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない（ただし、ストロークダウンはできない）。

2. 国内A級・国内B級部門の車両

車両は、市販レーサーを除く一般生産型車両（専用コンプリート車両含む）で、MFJが公認したものでなければならない。

- 2) フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同じ車両同士の部品またはアッセンブリーで、相互の互換性（いっさいの追加加工なしに交換できる）のあるものの交換は認められる。

3. 国内A級・国内B級部門の車両改造限度

- 1) 車両は、細則2の〔③総合仕様〕に示されているロードレースについてのすべての条件に、適合していなければならない。
- 2) 下記のものについては、公認型式を変更することはできない。
 - (1) エンジンの型式
 - (2) シリンダー、吸入・排バルブの数
 - (3) ピストンストローク
 - (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスシエルの材質および鋳造。
 - (5) バルブ数を含む吸・排気装置、および2サイクル型エンジンのポート数
 - (6) キャブレターの数と型式
 - (7) フレームの基本骨格（シートレール含む）
 - (8) 燃料タンク
 - (9) リヤフォークの改造・変更は認められない。
- 3) 下記のものは、次の制限内で改造・変更を行うことができる。
 - (1) ギヤミッションは、2速の範囲内でギヤボッ



クスシエルに変更を加えない限り、ギヤ段数および変速比を変更できる (MFJ公認部品)。

- (2) シリンダーのキャスティング (鋳造) を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度をこえてはならない。
 - (3) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバー、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことができる。
 - (4) フレーム及びリヤフォークの補強および必要でないステー類は、カットすることができる。
 - (5) 燃料タンクの給油口およびコック
 - (6) 安全と音量コントロールのための、排気管とマフラーの改造ができる。音量規定については細則2の〔③総合仕様〕を参照。
 - (7) キャブレターは、車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアファンネルの取り付けはできる。
 - (8) フロントおよびリヤサスペンションは、MFJ公認部品および同一銘柄の車両の部品のみ交換が認められる (ただし、同サイズ以上)。
- 4) 構成部品
- (1) 変速機はMFJが公認したものでなければならない (MFJ公認部品)。
 - (2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
 - (3) フレームの製造ナンバーは、出場申し込み書に記入しなければならない。フレーム交換の場合は車検で刻印を打刻する。
- 5) 上記以外の部品の改造・変更は自由とする。



スーパーバイク部門

1. スーパーバイク部門の車両改造規則の目的
 - 1) 外観上できる限りプロダクションマシンに近づける。
 - 2) チューナーに自由を与えると同時に、コスト的

に制限する要素を設ける。

- 3) 通常の市販ルートを通じて、充分な量の装備が入手できるクラスを設ける。
 - 4) アフターマーケットサプライヤー (供給者) に興味を抱かせる。
 - 5) スピードと馬力を安全なレベルに保てるようにする。
2. 車両の排気量区分と最低重量
- 車両の排気量区分は下記のように分けられ、開催種目および運用は、特別規制に示される。

クラス	区分	4サイクル		2サイクル	最大燃費 タンク容量
		2気筒	3-4気筒	2気筒	
スーパーバイク	排気量区分	550をこえ 1000以下	400をこえ 750以下		24ℓ
	最低重量	140kg	165kg		

注: 水冷モーターサイクルの場合、乾燥重量 (燃料なし) 車両測定の前に、水がラジエーターに追加されても良い。ラジエーターに水を追加する以外、モーターサイクルはレースを終えた状態で、レース後指定の最低重量に合致しなければならない。

2. スーパーバイク部門の車両
 - 1) スーパーバイクのベース車両は、現在生産されているモーターサイクルで、一般ユーザーが購入できるスタンダードの量産モデルであり、過去5年以内に生産されたものとする。
 - 2) MFJまたはFIM公認車両でなければならない。
※世界選手権においてはFIM公認車両に限られる。
4. スーパーバイク部門の車両改造限度
 - 1) すべての車両は、総合仕様で示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。ただし本規則にて改造を禁じられている部分で、公認時の仕様が総合仕様と合致しない場合は、本規則が優先されることとする。
 - 2) 下記の部分は、公認型式に変更を加えることはできない。
 - (1) エンジンの型式
 - (2) シリンダー数
 - (3) ピストンストローク
 - (4) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シエルの材質および鋳造 (シリンダーを再ライニングする事は許可される)。
 - (5) クランクケースと関連したシリンダーおよびヘッドの位置。
 - (6) パルプ数、ポート (インテークおよびエキゾースト)、キャブレター、または他のエア・インプット・コントロール・システムを含む吸気システム。

- (7) 燃料が直接燃焼室にインジェクトされる真のフューエル・インジェクションは許可されない。マニホールド・タイプのフューエル・インジェクションは、それが許可されたモデルに採用されているプロダクション（量産）ユニットであることを条件に認可される。
- (8) キャブレター、または他のエアインプット・コントロール・インストルメント（すなわちインジェクター）は、シリンダー・ヘッド・フランジからキャブレター（あるいはインジェクター）の反対側までのサイズ、タイプ、取り外し可能なジェットの数、およびエンジン・マニフアクチュラー・パーツ・ナンバーが、寸法を記入したインダクション・トラックの図とともに認可書類にリストアップされていなくてはならない。
- インダクショントラック、またはパタフライ・バルブの改造または研磨は許可されない。
- (9) フレーム（ステアリング・ヘッドからリヤのシート・サポートまで）とその構造材質、ガゼット（補強板）またはチューブを追加することはできるが、本来存在するガピットまたはチューブが取り外されてはならない。
- オリジナルのリヤ・スイングアーム、およびサスベンション・リンケージ・システムが維持されなければならない。
- (10) ストリームライニング、フェアリング、およびシートに隣接するリヤ・パーツは、認可されたデザインに適合しなくてはならない。
- 3) 下記の部分は認可されたモーターサイクルのそれと変更されても良い。
- （これは明確化の目的のためだけである。このリストに載っていない他の部分も変更あるいは交換されても良い）
- (1) ボアは、シリンダーのパターンを変更しなければ増大されても良いが、この増大によってそのクラスのリミットを超えてはならない。
- (2) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シェルにおいては、溶接または機械作業によってのみ追加されたり削除されたりすることができる。ストックパーツの研磨および軽量化は許可される。
- (3) 動くエンジン内部の部分、ギヤ・ボックス、およびクラッチ・パーツを改造したり交換してもよい。
- (4) ギヤ・レシオ
- ① ギヤの仕様
- ② ギヤ数は6速に制限される
- ③ スプロケット
- (5) エキゾースト及びサイレンサー
- (6) フットレストの位置を変えても良いが、これはリヤ・ホイールの手前に設けられなくてはならない。
- (7) モーターサイクルには、どのようなタイプのハンドルバーを装備しても良い。
- (8) フロント・フォークは、全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそれと同じタイプ（リーディング・リング、テレスコピック等）で、
- (9) リヤ・ショックアブソーバーは変更されても位置を変えてもよいが、同等のシステムが採用されなければならない。（すなわちデュアル・ショックまたはモノショックアブソーバー）。オリジナルのスイングアームをベースにこのための改造を行ってもよい。
- (10) 燃料タンクは、外から見えるならば外観上は認可されたモデルのそれと同じでなくてはならない。オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは許可される。燃料タンクのベンチレーション・パイプには、燃料漏れを防ぐためのデバイスが設けられていなくてはならない。タンク両側の間にあるクロス・オーバー・ラインは許可される（最大内径10mm）。プラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが、大会中ずっと使われなくてはならない。
- (11) オリジナルのオイルクーラーを交換、またはマシンプロフィールの外観に変化がなければ追加のオイルクーラーを装着してもよい。
- (12) 直径16インチ以下のホイール・リムの使用は許可されない。キャスト、モールド、またはリベットタイプのホイールあるいは軽合金リムは使用できる。
- (13) マッドガード（フェンダー）は、外観上オリジナルと同じでなくてはならないが、ホイールとタイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。スイングアームに追加のリヤ・マッドガードを装着できる。
- (14) ストリームライニング、燃料タンク、フェアリングおよびリヤ・シートに隣接したリヤ・パーツの材質は変更されても良い。
- (15) フェアリングの付いたマシンに関しては、ヘッドライトを取り外しても良い。リヤ・ライト／ブレーキ・ライトのレンズは、そのまま残され安全にテープで止められマシンの外観を維持しなくてはならない。
- (16) シートは、オリジナルのシート・ベースを用いて改造することができるが、テール・セクションを追加することはできない。

注：これによってオリジナルのシート・ベースリミット内であれば、パンプ・パッドを設けることができる。

- (17) キック・レバー、ペダル、スターター、クランク・ギヤ、およびスターター・シャフトを含む電動、あるいはマニュアルのスタート・システムは取り外し可能。但し耐久の場合は除く
- (18) エアー・クリーナー、ツール・ボックス、ライセンス・プレート（登録標識）用ブラケットは取り外し可能。
- (19) 確動圧を含むオイル・ラインは、もし変更されるならばスチール製の構造で、型鉄で曲げた、またはネジ山式のコネクターを持っていないといけない。
- (20) ステアリング・ダンパーは、追加・変更されても良いが、アタッチメント方式は優れた商業基準に基づくものでなければならない。現存するステアリング、ストップが適切でない場合には、メタル・ステアリングストップをフレームに追加する事もできる。ステアリングダンパーはいかなる場合においてもハンドルストッパーとしては認められない、ステアリングの最低切れ角は15°である。
- (21) キャブレター・ジェット、スロットルバルブおよびニードル（バタフライを除く）のサイズ。
- 4) もし認可されたモーターサイクルが下記に適合しない場合、下記のとおり変更されなくてはならない。
- (1) モーターサイクルには、始動しているエンジンを停止することのできる機能的なイグニッション・キル・スイッチまたはボタンが、ハンドル・バーの右のあるいは左に設けられていないといけない（グリップを握って届く位置になくてはならない）。
- (2) セーフティ・バー、センターおよびサイド・スタンドは、取り外されなくてはならない（固

定されたブラケットはそのままでも良い）。

- (3) すべてのドレーン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイル・フィルター・スクリューおよびボルトでオイルキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされていなくてはならない。
- (4) ブリーザー、またはオーバーフローパイプが装着される場合、現存する排出口から排出されなければならない。オリジナルのクローズドシステムが維持され、直接大気へ放出する事が禁止される。（総合仕様参照）
- (5) オイル・クーラーは、リヤのマッドガード（フェンダー）の上、またはそれよりも上に設けられてはならない。
- 5) 車重
水冷の車両に関しては乾燥重量（燃料なし）、車重測定の前にラジエーターに水を足すことができる。ラジエーターに水を足す以外、レースを終えたままの状態のリミットに適合しなければならない。

SPフォーミュラ部門

1. 出場車両

- 1) 車両は、市販レーサーを除く一般生産型車両（専用コンプリート車両含む）で、MFJが公認したもの。
- 2) SP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。

2. 車両の排気量区分

区分 クラス	排気量	2サイクル	4サイクル
SP50	50ccまで	○	○
SP80	50ccをこえ 80cc	○	○
SP125	81ccをこえ 125cc	○	○
SP250	125ccをこえ 250cc	○	○
SP400	250ccをこえ 400cc	×	○
SP750	400ccをこえ 750cc	×	○

* ただし各サーキットごとにそれぞれ2サイクル、4サイクルの排気量別に開催クラスの組み合わせが認められる。



3. 車両改造限度

- 1) 車両は、総合仕様を示されているロードレースについてのすべての要件に適合していなければならない。ただし公認時の型式に変更を加えない車両については、細則2の〔③総合仕様〕の8.シートエンドの高さ、15.フェンダー、13.カウリング、14. 部品の最後端の項はこれにあたらない。
- 2) フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同じ車両同士の部品またはアッセンブリーで、相互の互換性（いっさいの追加加工なしに交換できる）のあるものの交換は認められる。

3) 改造規定

車両はMFJが公認した時と同じもので、以下に記してある項目に限り改造・変更をすることができる。

(1) エンジンおよび補機

- ① キャブレターは車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアファンネルの取り付けができる。
- ② エアークリーナーのボックス、エレメントの改造・変更および取り外しができる。
- ③ スパークプラグ、プラグキャップの変更ができる。
- ④ イグニッションコイルの取り付け位置の変更ができる。
- ⑤ 始動機構と発電機およびそれらの関連部品の取り外しができる（セル及びキックアームを使用してもかまわない）。
- ⑥ 点火時期の調整ができる。
- ⑦ 2サイクル車の分離給油のオイルポンプ（オイルタンク等の関連部品を含む）の改造・変更および取り外しができる。
- ⑧ アクセルワイヤー、アクセルグリップ部（ラバーRL含む）、オイルポンプ作動用ワイヤーの改造・変更ができる。
- ⑨ クランクケースカバー（RL）の改造・変更ができる。
- ⑩ 4サイクル車のオイルクーラーの取り付けができる。
- ⑪ ラジエーター、ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更ができる。
- (2) マフラーの改造・変更は自由。ただし、細則2の〔③総合仕様〕に従って処置されていなければならない。
- (3) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加および必要でないステー類（シートレールの一部を含む）のカットができる。



- (4) フロントおよび、リヤサスペンションの変更はできない。ただしエア加圧、スプリングの変更はできる。
- (5) フロントおよびリヤ・フォークは、ステアリングシステム・トップブリッジを含み変更はできない。ただし、必要でないステー類のカットおよびダストシールの変更、取り外しはできる。また、スタビライザーでの補強は、フロントのみができる。
- (6) ステアリングダンパーの取り付けができる。ただし、ステアリングストッパーとの兼用は、できない。
- (7) ホイールアッセンブリの変更はできない。ただしスピードメーター・ギヤボックスの改造はできる。
- (8) タイヤは、MFJ公認タイヤのみ交換できる。スリックタイヤ（インターミディエイトを含む）、摩擦限度を越えたものおよびグルーピング（溝切り、カッティング）は使用できない。雨天時にMFJ公認のレーシングレインタイヤを使用することができる。
- (9) スプロケット・チェーンによるファイナルレシオの変更ができる（チェーンサイズを含む）。
- (10) チェーンカバーの取り外しは自由とするが、ライダーの足がチェーンにまき込まれないように、カバーを取り付けることが望ましい。
- (11) ハンドルバーの改造・変更ができる。ただし細則2の〔③総合仕様〕、3. ハンドルバーに従って処置されていなければならない。
- (12) クラッチおよびブレーキのレバー変更ができる。

- (13) カウリングは、材質の変更ができるが、公認時の形状を保持しなければならない。またカットおよびスクリーンの変更、カウリングステーの改造・変更、カウリングの取り外しができる。
- (14) メーター類の改造・変更・取り外しができる。



- (15) シート、シートカウルの改造・変更ができる。(後輪の最後端の垂線より出てはならない)。(シートカウルの形状保持についての予告は検討の結果実施しない事になりました。)
- (16) 燃料タンクは、車両公認時のもので、形状の

改造・変更は認められないが、フューエルコック、給油口の改造はできる。

- (17) サイドカバーの取り外しは自由だが、取り外さない場合は脱落しないような処置を施すこと。
- (18) フェンダーは、フロントおよびリアとも改造・変更ができる。ただし細則2の〔③総合仕様〕に合致していなければならない。
- (19) ステップ・ペダルの改造・変更は良いが、細則2の〔③総合仕様〕に従って処置していなければならない。
- (20) 前後ブレーキは、当該車両公認時のものと変更はできない。ただしパッドまたはシューの材料およびブレーキホースのみの変更ができる。
- (21) ワイヤハーネスの改造・変更ができる。
- (22) バッテリーの変更、取り外しができる。
- (23) キルスイッチの改造・変更は自由であるが、完全に作動しグリップを握って届く位置になくてはならない。
- (24) リミッター装置の変更ができる。
- 3) その他
- (1) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。



ROAD RACE 細則3

'91全日本選手権大会
特別規則

1 競技会開催日程等(73~75頁に掲示)

2 運営実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切り後、申し込み者に発送される。

4 開催種目

1. 競技部門およびクラス区分

- 1) 全日本選手権シリーズの競技部門およびクラス区分は、次のとおりである。

部 門	国内A級	国際A級
クラス		
125cc	○	○
250cc	○	○
500cc	—	○
SP750	—	—
F-3	○	○
F-1	○	○

- 2) スーパーカップ選手権シリーズの競技区分およびクラス区分は、次のとおりである。

部 門	国内A級以上
クラス	
F-3 (2サイクル車のみ)	○

- 3) 全日本選手権シリーズ・スーパーカップ選手権シリーズ・ロードレース大会にノービス地方選手権が併催となる場合がある。

☆全日本選手権ロードレース大会および主要ロードレース大会、世界選手権の開催種目および地方選手権併催レース種目は、73~75頁掲載の表のとおりである。

5 競技内容

レース区分は、73~75頁のとおりである。ただし、参加台数、天候などの都合により変更される場合がある。

6 参加定員

参加定員は定めない。

7 参加資格

1. エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1990年度版MFJ国内競技競技規則・第3章「(9)競技参加者」(29頁)に合致していなければならない。

8 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはまったく受けない。

9 出場料およびMFJ共済会掛金

1. 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) 全日本選手権・スーパーカップ選手権
出場料 1クラス 11,500円

MFJ共済会掛金 1人1口 3,500円

- 2) ビットクルーは、ライダー1名につき4名まで認められ、(メカニック2名、ビットサインマン、ヘルパー各1名) ビットクルーライセンスの所持者でなければならない。

10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額(1クラスの場合は1万5000円)を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取りやめになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

11 賞および得点

1. 賞
 - 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
2. 全日本選手権ランキングの得点
 - 1) 得点は国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(32頁)によって与えられる。
 - 2) MFJグランプリロードレース大会については、上記の得点に、さらに3点が加算される。
 - 3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点の総合計によって決定される。その詳細は全日本選手権ランキング順位決定法、(128頁)に示される。
3. スーパーカップ選手権ランキングの得点
 - 1) 得点は、ライセンス区分にかかわらず国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(32頁)によって与えられ国内A級の昇格ポイントも総合結果による。



ポイントは20、17、15、と順位の順に振分けられる

- 2) スーパーカップグランドチャンピオン大会については、上記の得点にさらに3点が追加される。
- 3) スーパーカップ選手権のランキング順位は、全6戦中4戦の有効ポイント制で行なわれる。

4. 賞および得点制限

- 1) 賞および得点の制限は、国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(32頁)による。

12 レース出場車両

車両は、国内競技規則・第3章〔⑩MFJ公認車両および公認部品・用品〕(33頁)を厳守しなければならない。

13 ゼッケン・ナンバー

- 1) 国際A級部門のライダー(前年度有得点者)には、ライディング3月号No257に示すとおり、年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 4) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

14 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメット類は、細則1の〔⑧ライダーの装備〕(51頁)を参照。



15 ガソリン

- 1) ガソリンの銘柄およびその詳細は、公式通知に示される。
- 2) 車両検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの給油を受けなければならない。

16 ビット

各ビットの使用は、公式通知による。

**17** 出場受付け

- 1) 出場受付けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

18 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済まさなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査時持込み台数は、国内A級部門は出場1レースにつき1台に限られ、国際A級部門は2台までとする（Tカーは同一メーカー車に限る）。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 6) 予選を通過した車両全車に対し、音量測定を行う。
- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

19 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔㉑ライダーおよび車両の変更〕(36頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

20 公式予選

- 1) 公式予選の内容は、細則1の〔⑤公式予選〕(49頁参照)による。
- 2) 公式予選の日程および時間は、公式通知または公式プログラムに示される。

21 決勝レース出場台数

1. 決勝レース出場台数は、各サーキットにより原則として次の台数以下とする。
 - (1) 鈴鹿サーキット=44台
 - (2) 筑波サーキット=32台
 - (3) スポーツランドSUGO=40台
 - (4) 西日本サーキット=30台
 - (5) 仙台ハイランドレースウェイ=35台

22 スタートの方法

スタートの方法はクラッチスタートとし、その手順は、次のとおりとする。

1. スタート約30分前
 - 1) ライダーは、マシンとともにコース外のウェイティングエリアに待機する。
2. スタート約15分前（サイティングラップ）
 - 1) ライダーは、コースに出て1周のサイティングラップを行い、スターティング・グリッドにつきエンジンを停止する。サイティングラップは義務付けられてはいない。



- 2) サイティングラップを行わなかったライダーは……、
- (1) ウォーミングアップラップ開始3分前までに定められたグリッドに着ける。
 - (2) ウォーミングアップラップ3分前以降は、最後尾グリッドに着かなければならない。
 - (3) ウォーミングアップラップ1分前以降は、ピットレーン出口からスタートする。
いずれの場合もウォーミングアップラップを回って正規のグリッドに着けることができる。

3) 注意事項

- (1) コースに入った後の車両交換、追加給油は厳禁される。
- (2) 車両の修理は、ピットレーンのみで許可される。
- (3) タイヤの交換は、ピットレーン、スターティンググリッドの双方で許可される。

3. ウォーミングアップラップ5分前

下記のボードが警告とともに提示される。

- 1) 5分前のボード：カウントダウン(秒読み)開始。
- 2) 3分前のボードと赤色灯：当該ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘を持つ人間以外の全員がグリッドから離れる。
- 3) 1分前のボードと黄色灯：当該ライダー以外の全員がグリッドから離れる。ライダー全員にヘルメットの顎ひもがしっかりと締められているかチェックすることを指示するボードが提示される。

4. ウォーミングアップラップスタート

- 1) 緑旗と緑色灯にて、押し掛けスタートする(外部からの援助なし)。
メカニックがライダーの補助のためコースにとどまることは禁止される。違反した場合は1分間のペナルティが科せられる。
- 2) ウォーミングアップラップの時は、ライダーは自分のスターティングポジションをキープしなくてはならない。
- 3) ライダーが自分でマシンを押し掛け出来ない場合は……、
 - (1) ウォーミングアップラップ5分前の合図の時に担当競技役員にその旨を告げる。
 - (2) このライダーは、ひとりだけメカニックを連れて、自分のスターティング・ロー(列)と平行した位置のグリッドの右端か左端に移動する。
- 4) ウォーミングアップラップを走れなかった場合の処置は、
 - (1) メカニックが補助してもなお始動出来なかった場合には、ライダーはマシンをピットに入れ、ピットからディレイドスタートをする。
 - (2) ウォーミングアップラップを走れなかったラ



イダーは、ピットからスタートしなければならない。

5. スタート

- 1) グリッドに戻ったライダーは、エンジンを掛けたままの状態、自分のグリッドポジションで静止する。
- 2) もし、マシン等に問題があった場合は、このライダーはすみやかにピットに戻らなくてはならない。
- 3) スタートを遅らせることを意図して、ライダーが、グリッドにつくことは禁止される。もし、ライダーが遅れてグリッドに戻ってきて、既にレッドライトが表示されている事に気がついたら、そのライダーはゆっくりとしたスピードでピット向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイド・スタート(遅れてスタートすること)する。
- 4) スタートライン上、コースの中間地点では、赤旗を持った競技役員が、ライダー全員がグリッドに着くのを待つ。さらにこの競技役員は、マーシャルカーが姿を見せるまでそこに残っている。スターターの指示が出たら、この競技役員はコースを離れる。
- 5) 緑旗と赤旗を持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する
 - (1) 緑旗を掲示することによって、この競技役員はグリッドの用意ができたことを示し、コースの中央にいる(スタート・ラインのところ)競技役員がスターターの指示に従ってコースから離れる。
 - (2) 赤旗を掲示することによって、この競技役員は、レース・マネージメント・カーの後ろからやってきたライダーを停止させ、このライダーが緑色灯点灯後にグリッドの最後尾より静止状

態からスタートするか、あるいはピットに戻るかをチェックする。

- 6) 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「赤色燈」を点灯する。赤色燈が点灯されてから2秒以上5秒以内に赤色燈に代わって緑色燈が点灯され、レースがスタートする。

スタートグリッドに戻ってきた時点で、エンジンが止まったり、スタート出来ないライダーがいた場合は……

- (1) ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルがボードを掲げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けることによって、この状況を伝える。

(2) スタートグリッドに戻ってきたマシンに問題があった場合、スターターは、スタートを取り止めるよう判断し下記の手順をとる。

- ① 赤色燈がまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインで掲げられ、赤旗が掲げられる。
② 赤色燈がすでに点灯されていたら、スターターは「点滅する黄色燈」を点灯し（赤色燈はそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。

①②両方の場合：

エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合、レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。このことはラップカウンターに表示される。

- (3) スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛らない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。
8) スタートした集団がピットの出口を通過した後、ピットレーンで待っているライダーがスタートする（競技役員により合図が出される）。

23 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについて車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまで、出発合図の統制下にある。
2) スタート合図が行われる前に自分のスターティ

ングポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記のペナルティが科せられる。

- (1) 競技結果への1分間の加算。
(2) 一旦ピットストップを命じる。その場合は、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と併に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は受けられない。

24 レース

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑩ 競技参加者の遵守事項〕(29頁)のほか次による。
2) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
3) レース中（予選中を含む）直線部分では、前車を追い越すため、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。

25 レース中の合図

- 1) レース中の合図は、国内競技規則・第3章〔⑩ 競技〕(31頁)による。
2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技監督、または競技監督の命を受けた代理役員にのみ限られる。

26 停車指示

- 1) レース統行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。この決定に対する抗議は受けられない。
2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

27 レースの停止と再スタート

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート/ゴールラインに赤旗をかかげ、同時にすべてのコースポストで赤旗をかかげ、レースが停止されたことを告げるものとする。

るものとする。

天候上の理由に関してレースは1度のみ停止される。レース停止の決定は競技監督、あるいは競技監督が不可避の理由において欠席している場合には競技監督代理によってのみ出されるものとする。

これらの合図が出されたら、ライダーは直ちにレースを停止、徐行して各自のピットに戻るが、その際、そのレースの順位は前ラップの順位によって決まる。

1. レースが再スタートされる条件は次の通りである。

- 1) 走行が2周以下の場合
 - (1) 前回のスタートは無効とされ、前回のスタートに参加したすべてのライダーは前回の車両、もしくは同一型の車両を使用して再スタートすることができるが、車両変更の場合は、それがTカーとして登録され車検に合格し、レースに適することを車検長が認めた場合に限られる。再スタートのレースは、全距離にわたって行われ、もとのグリッド・ポジションが適用される。再スタートに出場できない車両のグリッドはそのまま空席とされる。
 - (2) レースの再スタートが不可能である場合、選手権ポイントは与えられない。
 - (3) 再スタートが行われる場合は常に、もとのレース停止から原則として30分後に行わなければならない。
- 2) 3周もしくはそれ以上走行したが、その走行距離が総走行距離の75%未満である場合。
 - (1) そのレースはふたつの部分に分かれるとみなされる。レース前段の順位は、停止に先だつたラップ終了時の順位とする。
 - (2) 再スタートされたレースの距離は、当初のレースの全距離に達するまでの距離とする。
 - (3) 再スタートのスターティンググリッドにおける車両のポジションは、前回のレースの順位に基づいて計時長が決定する。
 - (4) レース前段においてトップライダーの75%以上走行しているライダーだけが再スタートを認められる。

車両の修理、あるいは交換（Tカーとして登録された車両）が認められる。国内競技規則・第3章〔2〕ライダーおよび車両の変更〕を参照。

- (5) レース再スタートが不可能である場合は、正規の選手権ポイントの2分の1が与えられる。
 - (6) レースがふたつの部分から成る場合、各部分のラップ数が集計され、最大数のラップを走行したライダーが優勝者になる。ラップ数で同位になった場合は、それらに要したタイムが優勝者決定のきめ手になる。
- 3) 全距離の75%以上が走行された場合

- (1) レース成立が宣言される。レース停止中に先立つラップ終了時の順位がレースの順位になる。
- (2) 正規の選手権ポイントが与えられる。

28 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔14 競技〕(31頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届けを提出できないときには、競技役員の評定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース（または予選）終了まで競技役員の下におかななければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- 4) 車両を押してピットに帰る場合は、必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。その際は必ずヘルメットを着用すること。
- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。



29 レース終了

各レースの終了は、チェッカー旗によりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したときである。

鈴鹿サーキット	4分間
筑波サーキット	2分間
スポーツランドSUGO	3分間
西日本サーキット	3分間
仙台ハイランドレースウェイ	3分間
間瀬サーキット	2分間
北海道スピードパーク	1分30秒間
富士スピードウェイ	3分間
H S R九州	2分間
中山サーキット	2分間

阿讃サーキット

1分間

30 レース終了後の車両の保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
 - 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
 - 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分以上保管される。
- 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

31 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

32 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔暫定結果に対する抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

33 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉔違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

34 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

35 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1991年1月1日

全日本選手権大会事務局長

ロードレース

'91スーパーカップ選手権シリーズの開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間(消印有効)
5月18日(土) 19日(日)	スーパーカップ選手権シリーズ 第1戦HSR九州ロードレース大会	MFJ九州 〒816 福岡県福岡市博多区半道橋2-7-70 ☎092-474-6196	HSR九州	4月8日(月) 4月18日(木)
6月1日(土) 2日(日)	スーパーカップ選手権シリーズ 第2戦SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	スポーツランド SUGO	4月22日(月) 5月2日(木)
6月23日(日)	スーパーカップ選手権シリーズ 第3戦鈴鹿ロードレース大会	味鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 鈴鹿サーキットSMSC事務局 ☎0593-78-1111	鈴鹿サーキット	5月13日(月) 5月23日(木)
9月14日(土) 15日(日)	スーパーカップ選手権シリーズ 第4戦NSPロードレース大会	HSP北海道スピードパーク 〒044 北海道虻田郡倶知安町宇下155 ☎0136-23-3880	北海道 スピードパーク	8月5日(月) 8月15日(木)
9月28日(土) 29日(日)	スーパーカップ グランドチャンピオン大会	財日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03-3865-8441	筑波 サーキット	8月19日(月) 8月29日(木)
10月19日(土) 20日(日)	スーパーカップ選手権シリーズ 第5戦仙台ロードレース大会	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂山12 ☎022-395-2120/2123	仙台ハイランド レースウェイ	9月9日(月) 9月19日(木)

'91全日本選手権大会(主要ビッグイベント含む)の開催日程

開催日	大会名	国内B級				国内A級			
		SP	125	250	F-3 2/4混	SP750	125	250	F-3 2/4混
3月2日(土) 3日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 ミリオンカップレース・鈴鹿BIG 2&4大会						○		
4月6日(土) 7日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 筑波大会						○	○	
4月20日(土) 21日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 鈴鹿大会	●	●				○		●
4月27日(土) 28日(日)	パン・パシフィック選手権シリーズ第3戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 日本大会								
5月11日(土) 12日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 SUGO大会					○		○	○
5月25日(土) 26日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 筑波大会						○	○	○
6月8日(土) 9日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 鈴鹿200km大会				●			○	○
6月22日(土) 23日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 筑波大会						○	○	
7月6日(土) 7日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 SUGO大会					○	○		
7月20日(土) 21日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 国内A級・鈴鹿6時間耐久ロードレース大会								○
8月3日(土) 4日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 富士スピードウェイ大会	●		●		○	○		●
8月10日(土) 11日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦 西日本大会							○	○
8月24日(土) 25日(日)	スーパーバイク世界選手権シリーズ第9戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第13戦 SUGO大会						○		○
9月7日(土) 8日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第14戦 鈴鹿ロードレースインターナショナル大会								
9月21日(土) 22日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第15戦 仙台ハイランド大会						○	○	○
10月5日(土) 6日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第16戦 TBCビッグロードレース大会					○		○	
10月26日(土) 27日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第17戦 J.S.B. 第28回MFJグランプリロードレース大会								
3月23日(土) 24日(日)	世界選手権シリーズ第1戦 紀文・日本グランプリロードレース大会								
7月27日(土) 28日(日)	世界耐久選手権第3戦 コカ・コーラ鈴鹿8時間耐久ロードレース大会								

◆=世界選手権対象種目 ○=全日本選手権対象種目 ●=地方選手権対象種目

国際 A 級						出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間(消印有効)
125	250	500	F-3 4サイクル	F-1	S8			
					○	株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	1月21日(月) ↓ 1月31日(木)
○	○	○	○			財団法人オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03(3591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	2月25日(月) ↓ 3月7日(木)
		○			○	株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	3月11日(月) ↓ 3月21日(木)
○	◆				◆	西日本サーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	西日本サーキット ☎08375(5)0321	3月18日(月) ↓ 3月28日(木)
	○	○			○	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	4月1日(月) ↓ 4月11日(木)
○	○	○				MFJ関東ブロック協議会 〒108 東京都港区港南3-3-10 ☎03(3472)6241	筑波サーキット ☎0296(44)3146	4月15日(月) ↓ 4月25日(木)
		○			○	株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	4月29日(月) ↓ 5月9日(木)
○	○	○			○	財団法人オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03(3591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	5月13日(月) ↓ 5月23日(木)
○		○	○	○		SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	5月27日(月) ↓ 6月6日(木)
		○				株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	大会特別 規則による
	○	○				富士スピードウェイ株式会社 全日本RR選手権事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03(3216)5611	富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	6月24日(月) ↓ 7月4日(木)
○		○			○	西日本サーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	西日本サーキット ☎08375(5)0321	7月1日(月) ↓ 7月11日(木)
	○				◆	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	7月15日(月) ↓ 7月25日(木)
○	○	○			○	株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	7月29日(月) ↓ 8月8日(木)
○	○		○			仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂山12 ☎022(395)2120/2123	仙台ハイランドレースウェイ ☎022(395)2120	8月12日(月) ↓ 8月22日(木)
○	○	○			○	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	8月26日(月) ↓ 9月5日(木)
○	○	○			○	財団法人オートスポーツセンター 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	筑波サーキット ☎0296(44)3146	9月16日(月) ↓ 9月26日(木)
◆	◆	◆	併催 ○			株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	大会特別 規則による
					◆	株式会社鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	大会特別 規則による

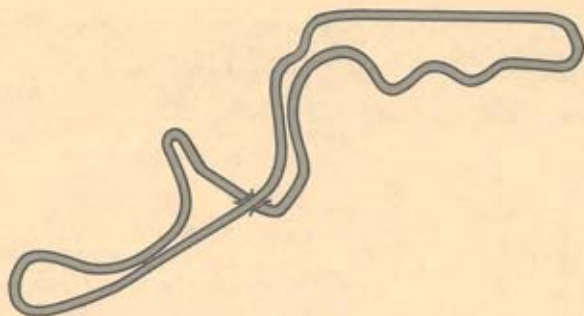
*国際 A 級 F3 クラスには、国内 A 級 4 サイクル F3 が参加できる(但しノーポイント)。*日程・種目については変更される場合がある。
*国内 A 級 F3 クラスには、国際 A 級 2 サイクル F3 が参加できる(但しノーポイント、6時間耐久は除く)

'91全日本選手権シリーズ戦および地方選手権、主要イベント

●鈴鹿サーキット

全長距離/5.912m
最大直線長/900m
ピット数/48個
交通/東名阪自動車道・
鈴鹿I.Cより13km

三重県鈴鹿市稲生町7992
全日本RR,Rd1,3,7,10,13
耐久選手権8H耐久RR
WGP Rd1を開催



●スポーツランドSUGO

全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/30個
交通/東北自動車道・
村田I.Cより約10km

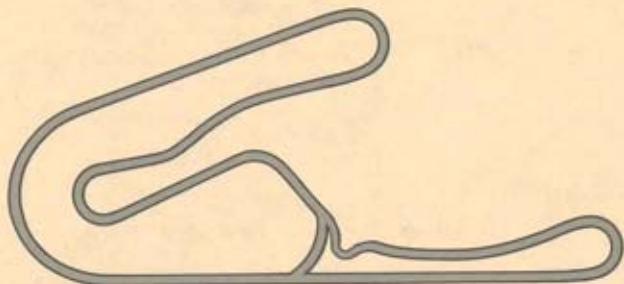
宮城県柴田郡村田町菅生
全日本RR,Rd5,9,15
SB世界選手権を開催



●筑波サーキット

全長距離/2,070m
最大直線長/437.75m
ピット数/20個
交通/常盤自動車道・
谷和原I.Cより約25km

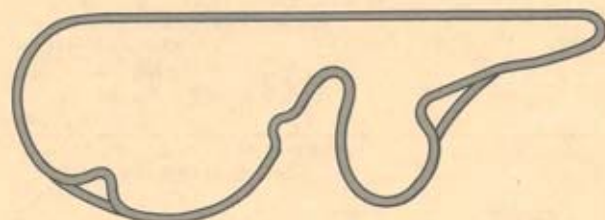
茨城県結城郡千代川村大字村岡
全日本RR,Rd2,6,8,16を開催



●富士スピードウェイ (FISCO)

全長距離/4,470m
最大直線長/1,600m
ピット数/40個
交通/東名高速道路・
御殿場I.Cより約12km

静岡県駿東郡小山町大御神
全日本RR,Rd11を開催



開催サーキット

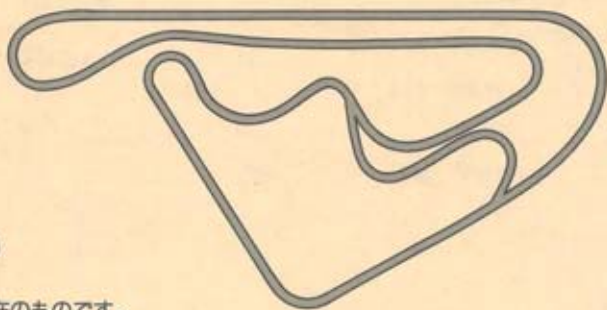
●西日本サーキット

全長距離/2,815.50m(フルコース)
 最大直線長/480m
 ビット数/40個
 交通/中国自動車道・
 小月I.Cより約16km

山口県美祿市西厚保町

パン・パシフィックRd.3(全日本Rd 4併催)
 全日本RR,Rd12を開催

※上記のコーススペックは'90年12月1日現在のものです。
 現在コースは改修中で'91年4月にオープンします。

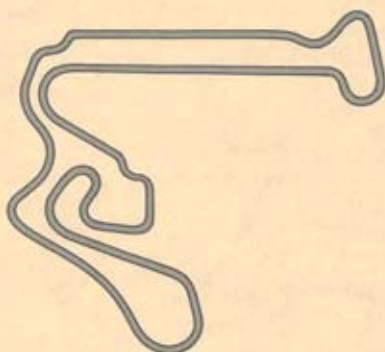


●仙台ハイランドレースウェイ

全長距離/3,757.44m
 最大直線長/548.34m
 ビット数/32個
 交通/東北自動車道・
 仙台宮城I.Cより約20km

宮城県仙台市青葉区新川早坂12

全日本RR,Rd15を開催



●HSP北海道スピードパーク

全長距離/1,389.44m
 最大直線長/365m
 ビット数/15個
 交通/札幌市内より約95km

北海道虻田郡倶知安町
 字峠下155



●サホロスポートランド

全長距離/1,453.5m
 最大直線長/325m
 ビット数/15個
 交通/帯広市内より約50km

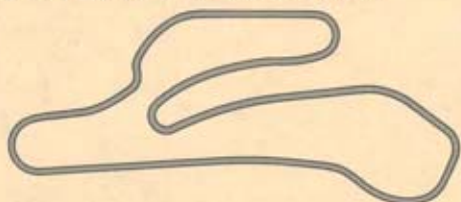
北海道上川郡新得町
 字新内西2線



●エビスサーキット

全長距離/2,061m
 最大直線長/420m
 ビット数/20個
 交通/東北自動車道・二本松I.Cより約20km

福島県二本松市況松倉 1



●那須エクスプローラーサーキット

全長距離/1,156m
 最大直線長/360m
 ビット数/12個 交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

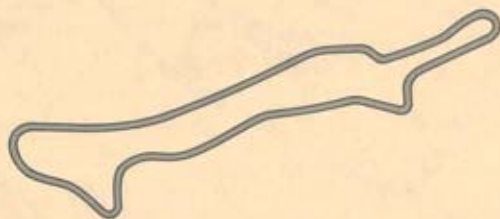
栃木県黒磯市寺子字坂の上677



'91 地方選手権、主要イベント開催サーキット

●日本海間瀬サーキット

全長距離/2,000m
 ビット数/15個
 交通/関越自動車道・巻湯東ICより約30km



●鈴鹿サーキット南コース

全長距離/1,264m
 最大直線長/190m
 ビット数/20個



●中山サーキット

全長距離/1,690m
 最大直線長/250m
 ビット数/56個
 交通/中国自動車道・美作ICより約20km
 岡山県和気郡和気町大中山751



●TIサーキット英田

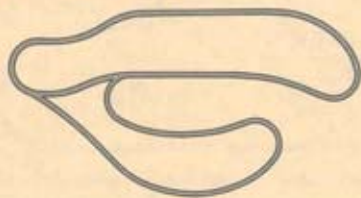
全長距離/3,702m
 ビット数/54個
 交通/岡山駅より約80km
 岡山空港より約50km



●阿讃サーキット

全長距離/905m
 最大直線長/200m
 ビット数/20個
 交通/徳島市内より約70km

徳島県三好郡三好町
 大字東山字滝久保319



●AUTOPOLIS

全長距離/4,674m
 最大直線長/190m
 ビット数/40個

大分県日田郡上津江村
 交通/九州自動車道・菊水ICより約45km



●ホンダ・セーフティ&ライディングプラザ九州

全長距離/2,002m(フルコース)
 最大直線長/350m
 ビット数/30個
 交通/九州縦貫道路・熊本ICより約15km

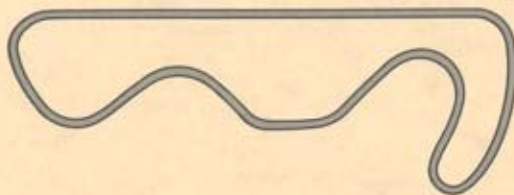


熊本県菊池郡大津町大字平川1500

●スポーツ&セーフティライディングフ

全長距離/1,430m
 最大直線長/420m
 ビット数/24個

大分県直入郡直入町





ますます充実リゾートゾーン。鈴鹿サーキット



テニスコート
営業中

遊んで、食べて、スポーツして。思いっきり休日を

楽しみたいのなら、リゾートゾーン充実の鈴鹿サーキット。

豊かな自然の中に、本格的なリゾートホテルや
テニスコートをはじめとする数々のレジャー施設を満載。
アクティブに過ごすのも、のんびりと寛ぐのもどちらもOK。また、
和・洋・中華と世界のおいしさが勢揃いしたレストランに、
このほど寿司と天ぷらの専門店がオープン。

伊勢志摩の新鮮な魚介類をはじめ、鈴鹿近郊の海の幸・山の幸を存分に堪能してください。



天ぷら「花露」



すし「浜風」

新規OPEN!



ホテルL様



鉄板焼き「もたち」



中国四川料理「樓鳳」



サーキットカートG400



FIAブティック



外輪船



鈴鹿サーキット

お問い合わせ ● 鈴鹿サーキット 三重営業所 ☎093(78)1111 ● 東京営業所 ☎03(582)3271 ● 大阪営業所 ☎06(372)1526 ● 名古屋営業所 ☎052(571)7176





SPORTS RIDER

新生スポーツライダー発進!



チームメンバー募集

数多くのグランプリライダー(金谷秀夫、鈴木忠男、平忠彦、等)を育んだチーム・スポーツライダーは、'91年度活動体制に向けて、共に闘うチームライダーを募集します。実戦を通して蓄積されたノウハウを、少しでも多くのライダーに伝えたい。そして共に勝利を分かちあいたい。そんな熱い想いで君たちの参加を待っています。経験の有無に関らず、ふるってご参加ください。

実施内容

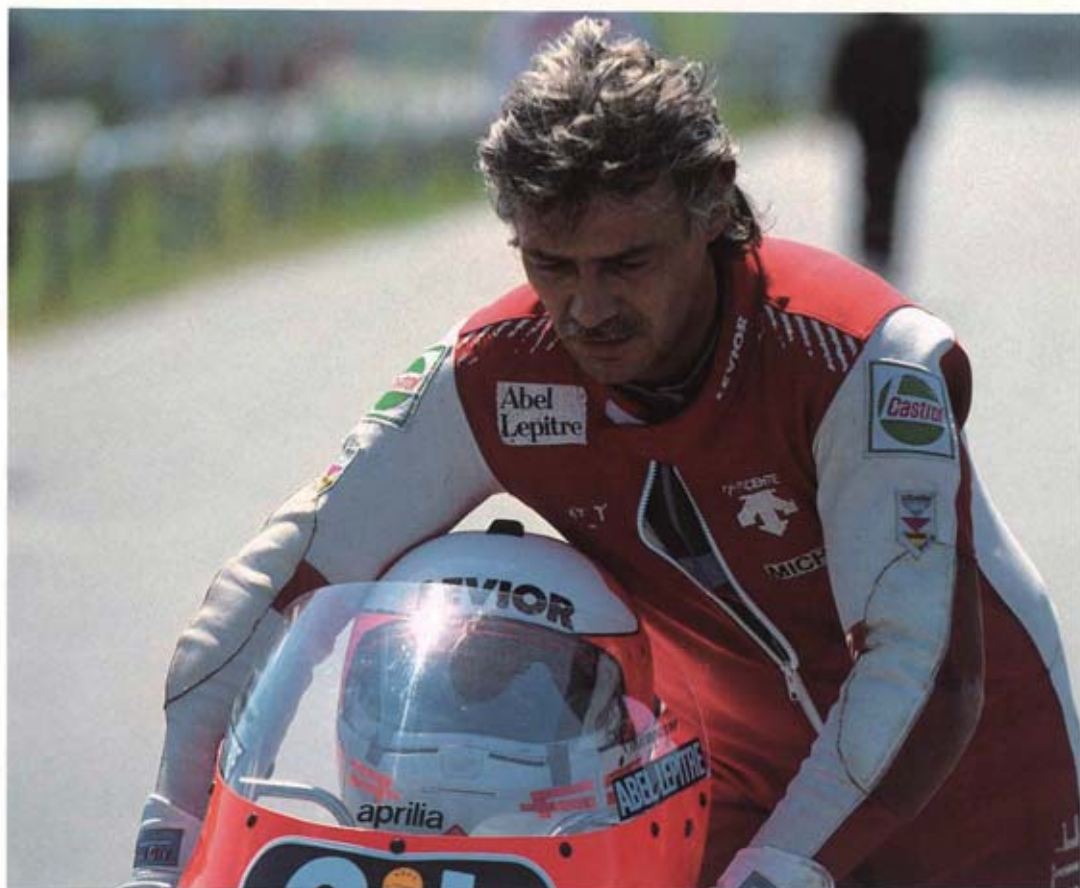
- 特別走行 ● フィジカルトレーニング
- ミニバイクレース ● レーシングパーツ優先供給
- 平忠彦選手特別コーチによる指導 ● 各種イベント etc.

SPORTS RIDER

スポーツライダー

横浜本部 / 〒241 神奈川県横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5112

詳細お問合せ ● 東京事務局 / 〒107 東京都港区赤坂7-5-6 ライオンズマンション赤坂209 (株)ボイス内 ☎03-3589-2305



心のなかを覗いてみたい

私たちはレースがとっても好きです

そして、レースをしている人たちに興味があります

たとえば

スタート前に緊張しているライダーとか

悔しくても、悔しくても、それをジッとガマンしてる姿とか
いっしょに緊張し、悔しがり、よろこべたらと思っています
私たちはサーキットに本当の“人間”をさがしに行きます

毎月24日発売・定価520円

(本体 505円)

安定感

マクダビッド・サポーター&ニーガード

Lateral Knee Guard



M155

ラテラルニーガード
サイズ:フリー(レギュラー・ロング)
¥16,500(税別)

膝の内側で交差する非伸縮性のストラップにより、じん帯の保護性能が飛躍的に向上しました。側方向から強い衝撃を受けたときに、その力を上下に分散させるばかりではなく、このストラップが緊張してプレースをしっかりと保持するので、強力な膝の安定が得られます。

Ankle Guard



A101

アングルガード
サイズ:XS・S・M・L
¥6,500(税別)

三層構造の最高級ビニールとナイロンメッシュ素材が、素早い動きを妨げることなく、安定したサポート力と保護力をさらに高め、足首をしっかりと保護します。

Wrist Support



451

リストサポート
サイズ:フリー
¥2,100(税別)

ラッピングタイプなので、装着が容易にできます。保温効果に優れ、手首のあらゆる障害に効果があります。

McDavid

Supporter & Knee Guard Imported by Sony Enterprise

M155/Lateral Knee Guard

●輸入販売元

ソニー企業株式会社
アスレチック営業部 ☎03-409-8911
〒150 東京都渋谷区渋谷1-17-16 渋谷ニュープラザビル

北日本営業所 (札幌) ☎011-281-5744 大阪営業所 ☎06-245-4071
(仙台) ☎022-257-7881 福岡営業所 ☎092-714-4303
名古屋営業所 ☎052-221-9291

MOTO CROSS

■細則4 モトクロス細則

1. 適用の範囲	84
2. モトクロス	84
3. コースの仕様	84
4. 出場車両	84
5. MFJ公認車両・公認部品	84
6. 総合仕様	84
7. 車両改造限度	86
8. ライダーの装備	87
9. 公式予選	88
10. レース	88
11. 優勝者、入賞者順位、完走者及び得点	89

■細則5 '91全日本選手権大会特別規則

1. 競技会開催日程等	90
2. 運営・実行組織	90
3. 公式通知・タイムスケジュール	90
4. 開催部門・クラス	90
5. 競技内容	90
6. 参加定員	91
7. 参加資格	91
8. 出場申し込み	91
9. 出場料およびMFJ共済会掛金	91
10. 参加受理	91
11. 賞および得点	91
12. 出場車両	92
13. ゼッケンナンバー	92
14. ライダーの装備	92
15. ガソリンおよびオイル	93
16. ピットエリア	93
17. 出場受け	93
18. 車両検査	93
19. ライダーの変更	93
20. 車両の変更	93
21. 部品の変更	94
22. 自由練習および公式練習	94
23. 公式予選	94
24. スタート	95
25. レース	95
26. レース中の合図	95
27. レース終了	95
28. 優勝者、入賞者、および得点	95
29. 入賞車両の検査	95
30. 総合順位の決定方法	95
31. レースおよび大会の延期、中止等	95
32. 抗議	96
33. レース中の違反行為に対する罰則	96
34. モトクロス・デ・ナシオン派遣選手の選択基準	96
35. 本規則の解釈	96
36. 本規則の施行	96

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロスカントリー・レースである。国内競技規則およびこの細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1 km以上、2 km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりをもたせなければならない。

またコース等は、モトクロス会場に関する規則に準換し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなければならない。

4 出場車両

車両は、細則5の〔⑥総合仕様〕と〔⑦車両改造〕(86頁)の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式(モデル)が判明できないような車両は出場することはできない。



5 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は国内競技規則・第3章〔⑱MFJ公認車両および公認部品・用品〕(33頁)を参照。

6 総合仕様

車両は、安全のために次の各項のすべてを充たしていなければならない。

1. クラス区分

- 1) 車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。
- 2) 最大・最小排気量および車両最低重量は下表のとおりとする。最低重量は半乾燥重量とする。半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいい、分離給油式の場合の潤滑オイルも燃料とみなす。なお、最低重量を満たすためのダミーウェイトは装着してはならない。

クラス	最小排気量	最大排気量	最低重量
80cc	51cc	80cc	61kg
125cc	100cc	125cc	88kg
250cc	175cc	250cc	98kg

2. ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

3. タイヤ

タイヤには、チェーン、スパイク等を装備、加工してはならない。

● ハンドルバー

ハンドルの端から端までの幅は600mm850mm以下でなければならない。

5. クラッチレバーおよびブレーキレバー

- (1) クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端は、直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。この球を平たくすることは認められるが、平たくした部分の厚みは14mm以上とし、いかなる場合においてもその端部は丸くなってはならない。これらのレバー端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。

6. フェンダー

- 1) フェンダーは、タイヤの両側方に張り出していなければならない。
- 2) フロントフェンダーは、タイヤの周囲を少なくとも100°にわたってカバーしてはならない。また、フェンダーの前端とタイヤの中心を結ぶ線とタイヤの中心を通る水平線の角度は45°以上、60°以下でなければならない。
- 3) リヤフェンダーは、リヤ・ホイール・スピンドルを通る垂直線と、その垂直線に対し25°角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方におよんでいなければならない。
- 4) マッドガード端部は丸くして、その半径は8mm以上、60mm以下とする(87頁図参照)。



- 5) 必要である場合には、競技監督はフロント・マッドガードの取り外しを許可することができる。

7. フットレストおよびペダル

- 1) フットレストは、前後車軸の中心を通る線の上方50mm以内に、またリヤタイヤの中心を通る垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置にあってはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式の場合、自動的に元の位置に戻る装置が設けられていなければならない。また、その先端は半径8mm以上(87頁図)の一体構造となったプロテクションが設けられていなければならない。
- 3) フットレストが折りたたみ式、またはゴムのカバーを装着していない場合は、その先端は、半径8mm以上の球状になってはならない。

8. 過給

過給は認められない。

9. 音量

- 1) 音量はFIM方式による測定方法・国内競技規則・第3章〔②車両検査〕(34頁)で、99db/A以下でなければならない。

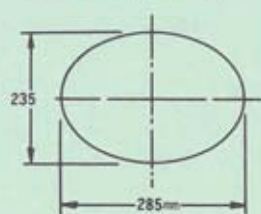
10. マフラーおよびサイレンサー

- 1) マフラーおよびサイレンサーは、規定の音量値を満足できるものでなければならない。
- 2) サイレンサーの端部は、リヤタイヤ後端を通る垂直線より突出してはならない(87頁参照)。

11. レースナンバープレート

- 1) ナンバープレートの大きさ
ナンバープレートは、図(87頁)に示す大きさ以上のものでなければならない。
- 2) 取り付け方法
ナンバープレートは、車両の前面に1枚を前向きに、車両の両側面に各1枚を地面に対し垂直に取り付けなければならない。
- 3) ナンバープレートの色分け
ナンバープレートおよび文字の色分けは、次のとおりである。

(第1図)レースナンバープレートの大きさ



ジュニア部門=白地に赤文字
国内B級部門=白地に黒文字
国内A級部門=黄地に黒文字
国際B級部門=紺地に白文字
国際A級部門125ccクラス
=黒地に白文字
国際A級部門250ccクラス
=緑地に白文字

- 4) ゼッケンナンバーの字体 (87頁参照)
 ゼッケンナンバーの字体は、自動車登録番号用の字体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。なお、蛍光色の文字の使用は禁止する(87頁図)。
- 5) ゼッケンナンバープレートの中には、ゼッケンナンバー以外のもは一切標示してはならない。
12. 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造であってはならない。
13. 一般生産型モーターサイクルについては、下記部品を取り外さなければならない。
- (1) スタンド類
 - (2) キャリア類
 - (3) タンデム・フットレスト
 - (4) 車両番号標板 (ブラケットごと)
 - (5) バックミラー
 - (6) ライト類およびガラス類 (ただし、レンズおよびライト類の飛散防止策を施せばよい)

7 車両改造限度

競技の公平および安全性を確保するため、次の改造の制限を定める。

1) 国際A級部門の車両改造の限度

車両は自由とするが、総合仕様を充たしていなければならない。但し、チタニウムの使用に関しては下記のとおり規定する。

1. 下記部品へのチタニウムの使用は禁止する。
 - ① フレーム
 - ② フロントフォーク
 - ③ スイングアーム
 - ④ スイングアームスピンドル
 - ⑤ ハンドルバー
 - ⑥ ホイールスピンドル (軽合金の使用も不可)
2. その他、ボルト・ナット類へのチタニウムの使用は許可される。

2) 国際B級、国内A級、国内B級部門の車両改造限度

車両は、市販レーサーおよび一般生産型モーターサイクルでMFJが公認したものでなければならない。車両改造限度は下記に示すとおりとする。

1. 市販レーサーの車両改造限度
 市販レーサーをベースとして改造を行う場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。
 - 1) フレームの基本骨格およびクランクケース本体は、車両公認時のものでなければならない。

- 2) 下記の部品はMFJが公認したのもののみ変更することができ。
 - (1) シリンダー
 - (2) シリンダーヘッド
 - (3) ミッション
 - (4) フロントフォーク
 - (5) リヤサスペンションユニット
 - (6) スイングアーム
 - (7) キャブレター

- 3) 最多変速段数は、6段を限度とする。
- 4) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- 5) 上記項目以外の部品の改造変更は自由とする。ただし、細則4の〔⑥総合仕様〕(85頁)を充たしていること。

2. 一般生産型モーターサイクルの車両改造限度 (ジュニア部門を除く)

- 1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強等は行ってもよい。
- 2) 異なった機種エンジンの、フレームの組み合わせは公認車両同士に限り行うことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組み合わせることはできない。
- 3) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは、公認型式のものでなければならない。
- 4) クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。
- 5) 冷却方式を変更してはならない。
- 6) 弁形式を変更してはならない。
- 7) 燃料吸入方式を変更 (フュエルインジェクターの取り付け等) してはならない。
- 8) 下記部品はMFJが公認したMFJ公認部品、または同一銘柄の公認車両の部品のみ交換することができる。
 - (1) シリンダー
 - (2) シリンダーヘッド
 - (3) ミッション
 - (4) フロントフォーク
 - (5) リヤサスペンションユニット
 - (6) スイングアーム
 - (7) キャブレター
- 9) 最多変速段数は、6段を限度とする。
- 10) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- 11) 上記以外の部品の改造変更は自由とする。ただし、細則4の〔⑥総合仕様〕(85頁)をみたしていること。

3) ジュニア、Lライセンス部門の車両改造限度

車両は、市販レーサーおよび一般生産型モーターサイクルであり、MFJが公認したものでなければならない。

1. 市販レーサーの改造限度

車両はMFJ公認車両とし、改造は一切認めない。ただし、ライディングポジションを合わせるための調整は認める。

2. 一般生産型モーターサイクルの改造限度

1) 変更してもよい部品

- (1) ハンドルおよびその附属品
- (2) コントロール・ケーブルワイヤー類
- (3) タイヤ
- (4) フットレスト
- (5) フェンダー
- (6) シート
- (7) 消音器の内部
- (8) エアクリーナー
- (9) 点火プラグ
- (10) メインスイッチ
- (11) ペダル類
- (12) スプロケット
- (13) チェーンケース

2) 前記1)以外は一切変更、改造を認めない。

8 ライダーの装備

1. ヘルメット

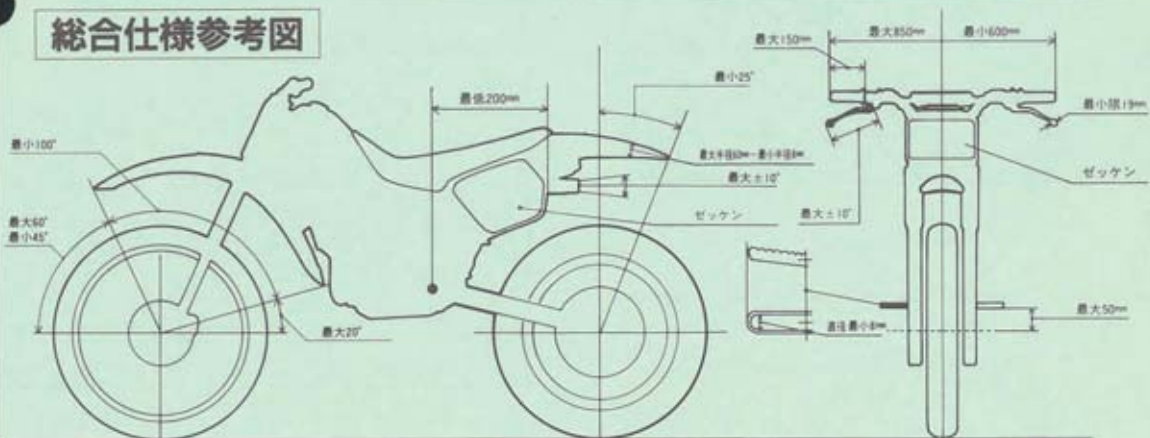
- 1) ヘルメットは、日本工業規格 JIS T 8133-1982-C種および JIS-T8133-2種 (JIS-T8133の1982年8月までの規格)、USA S.I. STANDARD-Z90-1-1970、米国スネル規格1980によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型または、フルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車両検査受け時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでも当該ライダーの安全上その使用を禁止される。
- 4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料金 (1,000円) を支払い、特別検査を受けなければならない。



ヘルメットには、ゴールド地の公認マークが貼付されていなければならない。

モトクロス

総合仕様参考図



ゼッケンナンバーの字体見本



2. ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟なもの、または転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

3. ライダーの服装

- 1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 耐火性で溶けない丈夫な生地で、自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
- 3) 突出部のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋およびブーツを着用しなければならない。
- 4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。



10

レース

1. スタートまでの行動

レースにおけるスタート位置の決定方法は、特別規則に示される。

- 1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車両とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは、特別規則で決められた時間・場所内のみ行うことができる。

2. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
ただし、スターティングマシンを使用する場合は前記の待機姿勢をとらなくてもよい。
- 2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区域内とする。



9

公式予選

1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- 2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。

2. 公式予選の内容

- 1) そのクラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数(30台)を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行われる。
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

- 4) スタートの合図は、スタート係の合図(国旗等)によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。
- 5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合は、そのライダーを失格とする。



4. コースアウト

ライダーは、走行中やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースにもどる場合には、外れ出た地点より走行し直さなければならない。

5. レース終了

レースの終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れる、またはマーシャルカーがコースを一巡することによって示される。

5. 得点

- 1) 得点は国内競技規則・第3章〔⑩入賞〕(32頁)によって得点が与えられる。
- 2) オープンクラスに関しては自動昇格得点対象外とする。

11 優勝者、入賞順位、完走および得点

1. 優勝者

優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーである。

2. 入賞者および順位の優先順序

入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。

3. その他の順位の優先順序

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。

4. 完走者

- 1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- 2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は完走者とみなされる。



'91全日本選手権大会 特別規則

1 競技会開催日程等 (98頁参照)

2 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切り後に発送される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
ク ラ ス	125cc	125cc
	250cc	250cc

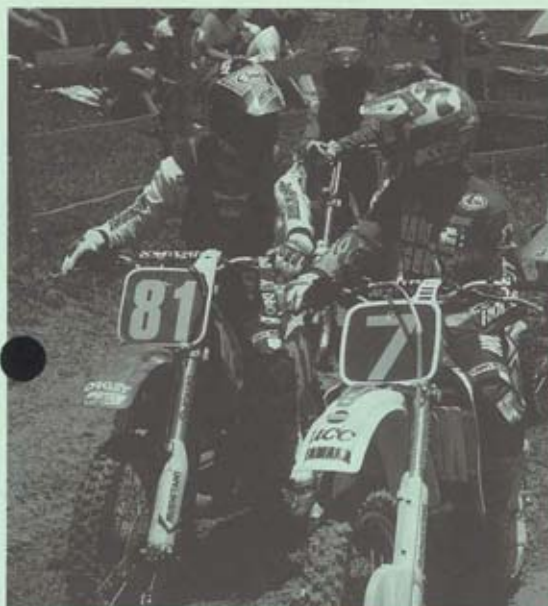
- 2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜された者による2クラスまでのレースを併催することが出来る。但し、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキシビジョンは日曜日に全日本選手権開催クラスに影響のない範囲にて開催することが認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行なう。

1991年度

- (1) 250ccクラス
1990年度全日本選手権ポイント獲得者を指定する。但し、予選通過ポイントのみの者については、125ccクラスへの移籍申請が出来る。
- (2) 125ccクラス
①1990年度全日本選手権国際A級部門において無得点の者。
②250ccクラスからの移籍者。
③国際B級部門からの昇格者。但し、125ccから250ccにおけるシリーズランキング上位6名の者については、250ccクラスへの移籍申請をすることが出来る。
- (3) シード制について
前年の総合順位3名をシード選手とする。但し、予選に参加しなければならず、予選不通過の場合、決勝レースのスタートは2列目からとする。

1992年度

- (1) 250ccクラス
①前年の全日本選手権 250ccクラスにおいての有得点者。
②125ccクラスからのクラス移籍者。(シリーズランキング15位以内の者)
③その他、スポーツ委員会が特に認めた者。
- (2) 125ccクラス
①250ccクラスにおいての無得点者。
②125ccクラスにおいて、ランキング16位以下の者。
③国際B級からの昇格者。



5 競技内容

1. 決勝レース

国際B級：25分+2周または左記時間に相当する周回数

国際A級：30分+2周または左記時間に相当する周回数

2. 予選

1) 国際B級の公式予選競技内容は公式通知に示される。

6 参加定員

定員は定めない。

7 参加資格

1. 参加者およびライダー

参加者およびライダーは、国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(29頁)に合致していなければならない。

2. MFJグランプリ大会の参加資格

国際A級、国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。

8 出場申し込み

1) 申し込み場所は、各主催者(申し込み先)住所とする。

2) 出場申し込み

(1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。

(2) 2クラス以上に出場を申し込む場合でも、申し込み書は、1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入もれのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。

(3) 郵送の場合は現金書留とし、締切り当日の消印のあるものまで有効となる。

(4) 締切り日以降の申し込みおよび電話・FAX等による申し込みはいっさい受け付けられない。

9 出場料およびMFJ共済会掛金

全日本選手権	出場料(MFJ共済会掛金含む)	10,000円
	(2クラス目より)	8,000円

10 参加受理

1) 必要事項を記入した出場申し込み書、所定の金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。

2) 大会が中止された場合、また参加が拒否された場合(申し込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料、共済会掛金が返還される。

3) いったん受理された出場料、共済会掛金は上記2)および細則5の〔⑩レースおよび大会の延期、中止等〕(96頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

11 賞および得点

1) 賞の詳細は、公式通知に示される。

2) 全日本選手権ランキングの得点。

(1) 得点は、国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(32頁)によって得られる。



- (2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
- (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計点によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング順位決定基準(121頁)に示される。
- 3) 賞および得点の制限
賞および得点の制限は、国内競技規則・第3章(16公式得点)(32頁)による。

12 出場車両

車両は、細則4の〔④出場車両〕(84頁)を遵守しなければならない。

13 ゼッケンナンバー

- 国際A級および国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割当てられる。
- 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は次のとおりとする。
 - 250ccクラス指定ゼッケン優先順位
 - 全日本選手権250ccシリーズランキング順
 - 125ccクラスからの移籍者を125ccでのランキング順に追加する。
 - その他、250ccクラスに特に指定された者を追加する。
 - 125ccクラス指定ゼッケン優先順位
 - 250ccクラスへの移籍者(ランキング上位15位)を除いたランキング順
 - 250ccクラスからの移籍者を前年の250ccでの指定ゼッケン順とする。
 - 国際B級からの昇格者を総合ランキング順に指定する。
- 国際B級(No.1~No.30まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は、次のとおりとする。
 - 各クラスのランキング順位により各ライダーの代表クラスを決める。
 - 各クラスのランキング順位を比較し、ラン



雨天時にはヘルメットにゼッケンNO.を記入する

- キング上位の者を優先する。
- ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
 - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
 - ⑤ ④で決定できない場合はスポーツ委員会にて最終決定する。
- 他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
 - ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色で記入しなければならない(18頁および87頁参照)。
 - 年間指定ゼッケンナンバーを与えられていないライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
 - ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
 - レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回は記録されない。
 - 雨天の時、すべてのライダーはヘルメットの両側面にゼッケンナンバーを記さなければならない。

14 ライダーの装備

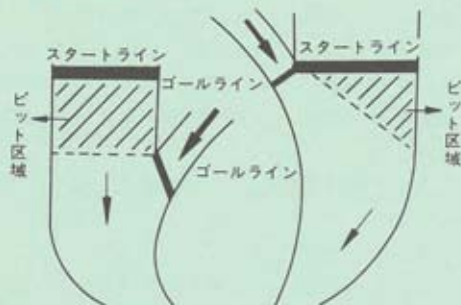
- ライダーの装備等は、細則4の〔⑧ライダーの装備〕(87頁)による。
- MFJ公認マークが貼付されていないヘルメットを使用しているものについては、特別検査料金を(1,000円)を支払い、検査を受けなければならない。

15 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは、国内競技規則・第3章〔⑩燃料およびオイル〕(33頁)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定されたときは、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

16 ビットエリア

ビットエリアは、主催者により指定される。特に指定のない場合のビットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコースサイドまたはコース上である。



第1図ビットエリア(区域)

17 出場受付

出場受付の時間および場所は、公式通知に示される。

- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受領書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

**18** 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人または当該ライダーのメカニックが特参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) 車両検査持込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は出来ない。
- 4) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

**19** ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

20 車両の変更

破損などやむを得ず出場登録済の車両を変更する必要が生じた場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。

- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、手数料 5,000円を添付しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

21 部品の変更

- 1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。

22 自由練習および公式練習

- 1) 競技前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

23 公式予選

- 1) 公式予選の内容は細則 4 の〔⑨公式予選〕(88頁)による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は、公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは、公式練習終了以前に発表される。

24 スタート

1. スタートの方法

- 1) 原則として各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
- 2) ただし、スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

2. スタートの手順

- スタート 2 分前 (ボードまたは旗にて明示)
 スタート 30 秒前 (ボードまたは旗にて明示)
 スタート 10 秒前 (ボードまたは旗にて明示)

3. スタート台数

原則として 30 台とする。ただし、MFJ グランプリはこの限りではない。

4. 予選レースのスタート位置の決定方法

スタート位置は、抽選結果の順位により、スタート位置が自由選択できる。

5. 決勝レースのスタート位置の決定方法 (国際 A 級を除く)

スタート位置の決定は、予選順位に基づき主催者が定める。

6. ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者の指示す



る時間・場所に限られる。

7. エンジンの始動の合図がなされた後

ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は、(キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後) ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

8. スタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いた者は、そのスタート位置を変更できない。

25 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章(⑩競技参加者の遵守事項)(29頁)による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックは、2名に限られる。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗およびゼッケンを記したボードが示され、ピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て再出走が認められる。



26 レース中の公式シグナル(合図旗)

- 1) 公式シグナルは、約750×600mmの寸法の旗を使って次のように与えるものとする。

シグナル	意味
・赤旗	・全員停止
・黒旗とライダーのナンバーを示したボード	・当該ライダー停止
・黄旗(停止)	・危険予告
・黄旗(振る)	・コース上に重大な危険あり、徐行、安全確認、追い越し禁止
・青旗(振る)	・警告、ラップされようとしている
・緑旗	・コース上障害物なし
・白黒チェッカー旗	・レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残りの周回数を示す合図が出される。

27 レースの終了

レースの終了は細則4の(⑩レース)(88頁)による。

28 優勝者・入賞者および得点

各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、細則4の(⑩優勝者、入賞者、完走者および得点)(89頁)による。



29 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、車両重量および音量が測定され、規定を充たしていない車両の当該ライダーは失格となる。



30 総合順位の設定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の設定は、以下のとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。



台風等によるレース中止等も起こり得る

- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点と同点の場合は、上位入賞者を優先する。
3) 上記1)、2)にて決定できない場合は、2ヒート目の成績上位の者を優先する。

31 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 本大会は、本規則に発表した日程から変更また



は延期されることはない。

- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断したときに限り、レースを中止することができる。
3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。
4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた回数（または時間）の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
5) トップ走者が決められた周回数（または時間の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切ったときは、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。



- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他のいっさい損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。
7) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。

32 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㊟暫定結果に対する抗議〕(37頁)による。
2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は車検長が算定するものとする。
3) 車両の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当事者のみとする。

33 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督ならびに



大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

1. 失格

- 1) 故意に走路を妨害した場合。
- 2) レース中に他の援助を受けた場合。
- 3) コース上で逆走した場合。
- 4) コース審判により示された信号旗に従わなかった場合。
- 5) 1度コース外に出て他の所より再びコースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
- 6) フライングを2度繰り返した場合。

2. 1周減算

- 1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。



34 モトクロス・デ・ナシオン派遣選手選抜基準

1991年9月15日オランダにて開催されるモトクロス・デ・ナシオンに日本選手を派遣することにあたり、下記のとおり選抜基準を設ける。

1. 日本国籍を有する者で1991年度全日本選手権シリーズ第8戦までのランキング上位の者を候補とする。
2. 125ccクラスへの派遣選手は125ccクラスランキング上位1名。
3. 250cc、500ccクラスへの派遣選手は250ccクラスランキング上位2名より選出する。
4. 250ccクラスランキング上位の者より250ccか500ccのいずれかを選択する。
5. 選抜された者の中で、出場意志のない者がある場合、下位より繰り上げる。その場合の繰り上げ順位は10位までとする。
6. 選抜された選手に対する支援金は1名100万円とし、経費（交通費・車両運搬・メカニック経費等）はすべて自己負担とする。

35 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てができる。なお、この回答は大変審査委員会の決定を最終的なものとする。

36 本規則の施行

本規則は出場申し込み受け日により有効とする。
 なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1991年1月1日

全日本選手権大会事務局長

'91全日本選手権大会(主要ビッグイベント含む)の開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間(満了)
3月16日(土) ↓ 17日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦 関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03-3472-6241	静岡県 富士スピードウェイ モトクロスコース	2月5日(火) ↓ 2月14日(水)
4月6日(土) ↓ 7日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第2戦 中国大会	MFJ山口 〒753 山口県山口市葵1-5-58 山口県軽自動車協会内 ☎ 0839-22-8877	山口県 周東スポーツランド	2月26日(火) ↓ 3月7日(水)
4月20日(土) ↓ 21日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内 ☎ 06-541-5254	奈良県 名阪スポーツランド	3月12日(火) ↓ 3月21日(水)
5月11日(土) ↓ 12日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第4戦 鈴鹿大会	(株)鈴鹿サーキットランド 鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎ 0593-78-1111	三重県鈴鹿サーキット モトクロスコース	4月2日(火) ↓ 4月11日(水)
5月25日(土) ↓ 26日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第5戦 九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 (株)ホンダ熊本二輪内 ☎ 096-355-5075	熊本県HSR九州内 モトクロス場	4月16日(火) ↓ 4月25日(水)
6月8日(土) ↓ 9日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第6戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎ 0224-83-3111	宮城県スポーツランドSUGO モトクロスコース	4月30日(火) ↓ 5月9日(水)
6月22日(土) ↓ 23日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第7戦 関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03-3472-6241	長野県 コングランド	5月14日(火) ↓ 5月23日(水)
7月6日(土) ↓ 7日(日)	第29回モトクロスMFJグランプリ 全日本モトクロス選手権シリーズ 第8戦 北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東福来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎ 011-782-1492	北海道 栗丘ライディングパーク	5月28日(火) ↓ 6月6日(水)
8月31日(土) ↓ 9月1日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦 四国大会	MFJ四国 〒761 香川県高松市西東町536 (株)ホンダ二輪香川内 ☎ 0878-82-1182	徳島県 美馬モーターランド	7月23日(火) ↓ 8月1日(水)
9月28日(土) ↓ 29日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第10戦 東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区扇町3-4-9 宮城県二輪車安全普及協会内 ☎ 022-284-9484	岩手県 藤沢スポーツランド	8月20日(火) ↓ 8月29日(水)
10月12日(土) ↓ 13日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦 中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市中区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内 ☎ 052-833-9676	岐阜県 多治見コミュニティーランド	9月3日(火) ↓ 9月12日(水)
11月2日(土) ↓ 3日(日)	MFJ創立30周年記念 全日本モトクロス選手権シリーズ 第12戦 九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 (株)ホンダ熊本二輪内 ☎ 096-355-5075	大分県 オートポリス	9月24日(火) ↓ 10月3日(水)
7月20日(土) ↓ 7月21日(日)	パンパシフィック選手権シリーズ 第4戦 スーパークロス	MFJ 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎ 03-3865-8441	福岡県 (よかとびあ跡地)	
8月17日(土) ↓ 18日(日)	世界選手権シリーズ第12戦 日本GP	(株)鈴鹿サーキットランド 鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎ 0593-78-1111	三重県 鈴鹿サーキット	

勝利への第一条件、ミシュラン。

MICHELIN WGP REPORT '90

ROUND	種目	1位	2位	3位
R1	日本 3月25日	500 W・レイニー	W・ガードナー	
R2	アメリカ 4月8日	500 L・カグローラ	W・ガードナー	K・シュワツ
R3	スペイン 5月6日	500 W・レイニー	C・カルダス	W・ツィーレンベルグ
R4	イタリア 5月20日	500 J・コシンスキー	M・ドゥーハン	P・F・キリ
R5	西ドイツ 5月27日	500 W・ガードナー	L・カグローラ	W・ツィーレンベルグ
R6	オーストリア 6月10日	500 J・コシンスキー	W・レイニー	K・シュワツ
R7	ユーゴスラビア 6月17日	500 W・レイニー	K・シュワツ	H・ブラドル
R8	オランダ 6月30日	500 C・カルダス	W・レイニー	M・ドゥーハン
R9	ベルギー 7月8日	500 K・シュワツ	J・コシンスキー	N・マッケンジー
R10	フランス 7月22日	500 J・コシンスキー	W・レイニー	M・ウィマー
R11	イギリス 8月5日	500 W・レイニー	C・カルダス	E・ローソン
R12	スウェーデン 8月12日	500 J・コシンスキー	J・P・ルジア	W・ツィーレンベルグ
R13	チェコスロバキア 8月26日	500 K・シュワツ	D・D・ラフィガス	E・ローソン
R14	ハンガリー 9月2日	500 C・カルダス	W・ガードナー	C・カルダス
R15	オーストラリア 9月16日	500 K・シュワツ	L・カグローラ	W・レイニー

HONDA YAMAHA SUZUKI APRILIA
 (H).....HONDA (Y).....YAMAHA (S).....SUZUKI (A).....APRILIA

黄色地は、
ミシュランタイヤ
装着ライダーを
あらわします。



2輪レースの最高峰である、世界選手権ロードレース。90年、その250と500の両クラスにおける勝ちパトリを創したのは、やはりミシュラン。500のレイニー、シュワツ、ガードナー……。250のコシンスキー、カグローラ、ブラドルらとともに15戦を闘いぬき、栄光のシリーズ優勝を成しとげた。しかもそれは、'85年以降8年連続という快挙である。ミシュランでなければ勝てない。サーキットに生まれたそんな神話は、もはややがてことのないものか、世界最速の男たちが、全幅の信頼をよせる圧倒的なパフォーマンスで、つねに頂点に君臨するタイヤ、ミシュラン。コンペティションというテクノロジーの激進を認めあげられたその栄光の血脈は、すべてのミシュランタイヤのなかに脈々と流れている。

THE TIRE
MICHELIN

自然と友達。



スポーツランドSUGOは

210万㎡の総合スポーツランドです。

ロードレース、モトクロス、トライアルなど

各モータースポーツゾーンから、

テニスやアーチェリーなど

充実のスポーツゾーンまで、

どれも自然に囲まれた爽快感が自慢。

いつも自然と友達でいたい——

それがSUGOの願いです。



スポーツランド



スポーツランドSUGO 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111 〒989-14

●SUGO仙台営業所 宮城県仙台市一番町1-4-1福田ビル1F ☎022-266-8401 〒980

●SUGO東京営業所 東京都中央区銀座8-8-5陽栄銀座ビル4F ☎03-575-4771 〒104

■モータースポーツに関するお問い合わせはSUGOスポーツクラブ(☎0224-83-3127)へどうぞ。

'91 TZ 250用 RC SUGO オプションパーツ

(限定発売)

1. ミッション

1FP 2BP 3B4CP 3D4DP 5DP 6DP 6EP
1FW 2BW 3BW 4DW 6DW 6DW 6EW

2. スロットルバルブ

- 1) 4.0
2) 4.5

1 SET / 15,000円

3. ニードルジェット

- 1) R-3
2) R-5
3) R-7

1 SET / 2,400円

4. ドライブsprocket

13T

4,700円

5. ドリブンスprocket

- 1) 42T
2) 43T

1枚 / 7,700円

'90モデルについても上記内容で若干在庫あります。

'90モデル限定品

1. フロントフォークスプリング

K = 0.54
K = 0.60

1 SET / 9,600円

2. リアスプリング

K = 5.7
K = 6.9

1本 / 4,500円

TZ250トランスミッションセッティング

コース (下段はRC SUGOキット)	トランスミッション						17インチ タイヤ	18インチ タイヤ
	1速	2速	3速	4速	5速	6速		
スポーツランド SUGO	E	D	C (D)	C	C	C	14/37, 15/40, 14/38	14/38, 15/41, 14/39
	F	E	D	C	C	E	15/40, 15/41,	15/42
筑波サーキット	E	D	E	C	C	C	15/39, 14/37, 15/40, 14/38	15/40, 14/38, 14/41, 14/39
2-6速使い	E	B	B	C	C	E	14/40, 14/41	14/41, 14/42
西日本サーキット	E	D	C	C	C	C	15/40, 14/38, 15/41, 14/39	15/41, 14/39, 14/40
	E	C	B	C	C	D	14/39	14/40
鈴鹿サーキット	C	C (D)	C	C	C	C	16/39, 15/37, 14/35-16/40	16/40, 15/38, 14/36, 16/41
	D	D	D	D	D	E	15/38	15/39
西仙台ハイランド	D (E)	C	C	C	C	C	15/41, 14/39, 14/40	14/40, 14/41
	F	D	C	C	C	C	14/39	14/40
出荷時	D	D	D	C	C	C	16/37	

TZ250トランスミッションギヤ、sprocket種類・内容

種類	1速	2速	3速
B	—	28/17 (RC SUGO キット)	24/18 (RC SUGO キット)
C	31/15 5F7-17211-00 26J-17411-01 (オプション)	28/18 5F7-17221-00 5F7-17121-00 (オプション)	29/23 5F7-17231-00 5F7-17131-00 (オプション)
D	28/14 5F7-17211-10 26J-17411-11 (スタンダード)	31/21 5F7-17221-10 5F7-17121-10 (スタンダード)	26/21 5F7-17231-10 5F7-17131-10 (スタンダード)
E	34/18 5F7-17211-20 26J-17411-20 (両輪)	27/19 5F7-17221-20 5F7-17121-20 (両輪)	25/21 5F7-17131-20 5F7-17131-20 (両輪)
F	31/17 (RC SUGO キット)	—	—

種類	4速	5速	6速
C	27/25 5F7-17241-00 (スタンダード)	26/27 5F7-17251-01 5F7-17151-01 (スタンダード)	20/22 5F7-17261-01 5F7-17161-01 (スタンダード)
D	24/23 (RC SUGO キット)	20/21 (RC SUGO キット)	22/25 (RC SUGO キット)
E	—	—	20/23 (RC SUGO キット)

●お求め、お問合せはRSS(ヤマハレーシングサービスショップ)にてお願いいたします。

●記載の商品は全て限定販売ですので、品切れの際はご容赦ください。

取扱店RSS店

RC SUGO

〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 6-1
TEL 0224-83-3125 FAX 0224-83-3130

スパジオ11レザースーツ

men's: S・M・L・LL ¥138,000 (02-095)

men's: 3L ¥143,000 (02-096)

color: 黒・黒・黒 赤・白・青・白 赤

MFJ公認申請中

material:

革: 牛革1.6mm

裏地: メディカルマーバス

衝撃吸収ゴム シェル使用

フロントジッパー: スイス リリージッパー

転倒時のダメージはもちろん、レース走行時におけるライダーの動きを許容し、革の裁断、縫製、素材の一つ一つに至るまでを厳選。常に高水準の安全性をキープする。

ライダーの身を守る為、戦時時代の甲冑として、スパジオレザースーツは存在する。

スパジオレザースーツシリーズ各デザイン共、MFJ公認仕様として、オーダーメイドが可能です。



KOMINE

社 平111 東京都台東区小島2-20-11 電話03-3863-1811代
FAX 03-3866-5134代 TEL 03-3863-5335 平111
大 平92 大阪府大阪市東淀野2-4-6 電話072-74-1055代
FAX 072-74-3631

T TRIAL

■細則6 トライアル競技規則

1. 適用の範囲	104
2. トライアル	104
3. 出場車両	104
4. MFJ公認車両・公認部品	104
5. 総合仕様	104
6. ライダーの装備	106
7. コース	106
8. セクション	106
9. タイムキーピング	107
10. 競技の進行	107
11. ペナルティ	108
12. ペナルティの定義	108
13. 競技結果	111
14. 同点者の判定	111
15. 賞	112
16. 抗議	112
17. ライダーの遵守事項	112
18. 審判員権限	112

■細則7 '91全日本トライアル選手権大会 特別規則

1. 開催競技会	113
2. 公式通知・タイムスケジュール	113
3. 開催種目および競技方法	113
4. 運営実行組織	113
5. 参加およびライダー	113
6. 出場申し込み	114
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	114
8. 賞および得点	114
9. 日本代表選手団の選考基準	114
10. 出場車両	115
11. ゼッケンナンバー	115
12. ライダーの装備	115
13. ガソリンおよびオイル	115
14. 出場受け	115
15. 車両検査	115
16. ライダーおよび車両変更	116
17. 練習	116
18. スタート	116
19. 競技中の車両の整備	116
20. ゴール	117
21. 競技の終了	117
22. 最終検査	117
23. 競技結果	117
24. ヘルパーライダー	117
25. 競技会の延期、中止および打ち切り	117
26. 抗議	118
27. ライダーの遵守事項	118
28. 本規則の違反、裁定	118
29. 本規則の解釈	118
30. 本規則の施行	118

トライアル 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表わされる。

3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、次の総合仕様をみたし、安全上完全に装備されているものでなければならない。なお、改造されて型式が判明できないような車両は出場することができない。

1) 国際A級、国際B級部門

車両は自由とする。ただし総合仕様をみたしていること。

なお、すべての車両はフレーム、フロントフォークスイングアーム、ハンドルバー、ホイールスピンドルの構造にチタン合金を素材とした部品を使用してはならない。

2) 国内A級、国内B級、ジュニア部門

車両は、一般生産型モーターサイクル、またはトライアル競技専用マシンで、いずれもMFJ公認車両でなければならない。なお、フレームおよびクランクケースは公認時のものとし、交換は認められない。また、すべての車両は総合仕様をみたしていなければならない。なお、チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

4 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は、国内競技規則・第3章・(13)MFJ公認車両および公認部品・用品(33頁)を参照。

5 総合仕様

車両は安全のため、次の各項のすべてを充たしていなければならない。

1. 排気管およびサイレンサー
排気管およびサイレンサーは、規定の音量規制値を充たしていなければならない。
2. タイヤ
 - 1) タイヤは、MFJ公認タイヤでなければならない。
 - 2) タイヤに改造を加えてはならない。
 - 3) タイヤには、チェーン、スパイク等を装備、加工してはならない。
3. ハンドル
 - 1) ハンドルバーの幅は600mm以上850mm以内とする。

- 2) グリップは150mm以内とし、ハンドルバーの先端に取り付けられていてはならない。

露出されたハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、それがゴムでカバーされるようにしなければならない。

- 3) ハンドルを左右いっぱいに切ったとき、ライダーの指を挟まないようにハンドルと燃料タンクの間で最低30mm以上の間隔を確保するようストッパーを取り付けなければならない。

クラッチレバーおよびブレーキレバー

クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端は、直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。この球を平たくすることは認められるが、平たくした部分の厚みは14mm以上とし、いかなる場合においてもその端部に丸味を持たせなければならない。

これらのレバー端部は固定されていてレバーと一体構造でなくてはならない。

- 2) ブレーキペダルおよびギヤシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められていなければならない。

5. スロットルコントロール

スロットルコントロールは、手を放すと戻る方式でなければならない。

6. ブレーキ

車両前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

8. 音量

音量はFIM方式による測定方法で、94db(A)とする。FIM方式による音量測定方法は国内競技規則・第3章〔②車両検査〕(34頁)を参照。

9. 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバ



ープレートを装着しなければならない。

1) ナンバープレートの寸法

ナンバープレートは次頁図1に示す大きさのものでなければならない。

2) 取り付け方法

ナンバープレートは、1枚を車両の前面に見えやすいように前向きに取り付けなければならない。

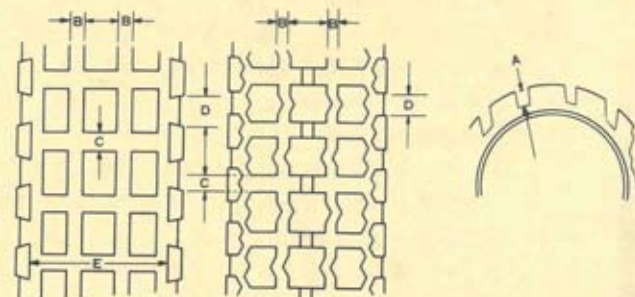
3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは、次のとおりである。なお、蛍光色は一切認められない。
 ジュニア部門＝黒地に白文字
 国内B級部門＝白地に黒文字
 国内A級部門＝黄地に黒文字
 国際B級部門＝緑地に白文字
 国際A級部門＝赤地に白文字

4) ナンバープレートの字体

ナンバープレートの字体は、下記に示すブロッ

トライアルタイヤ公認規格



トライアル競技に使用する車両のタイヤは下記各項を充たし、MFJ公認申請を行い、公認されたものでなければならない。

A: トレッドの深さ

トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。

B: トレッドの幅

タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。

C: トレッドの幅

タイヤの円周方向では13mm以内であること。

D: 肩部スタッドのスペース

22mm以内であること。

E: トレッドのさしわたす寸法

タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅におよんでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。

ク体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。判読しづらい文字、斜傾文字等の場合は、競技会への出場が一斉認められない。

図1

12345
67890



なお、国際A級および国際B級部門については、上記図1に示すようプレート下部に記名しなければならない。

10. 取り外し部品

車両が一般生産型モーターサイクルの場合、下記部品を安全上の理由により取り外さなければならない。

- 1) キャリア類
- 2) タンデムフットレスト
- 3) 車両番号標板（ブラケットごと）
- 4) バックミラー
- 5) ライト類およびガラスレンズ類（ただしレンズおよびライト類はテーピングするなどレンズ類の飛散防止策を施せばよい）

6 ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIST8133-1982のA種、および同JIST8133の1種（JIST8133の1982年8月までの規格）以上のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- 3) MFJ公認ヘルメットで、MFJの公認マークの貼付されていないものについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。
- 4) ヘルメットの検査は、競技会の車両検査受付時に行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上、使用を禁止される。



2. ライダーの服装

- 1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 2) 手袋および足首以上を保護する突出部品のないブーツなど皮靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

7 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

8 セクション

1. セクションの表示

セクションは、次のセクションカードおよびテープで表示される。

- 1) 入口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に“IN”などの表示



右に赤のカード“IN”、左に青のカード“IN”が示される

- 2) 途中 右側 赤いカード又はテープ
左側 青いカード又はテープ
- 3) 出口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に“OUT”などの表示
- 4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のカードを置く。

2. セクションの幅

- 1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードおよびテープによって制限する場合は1.2m以上とする。
- 2) 同じ側のカードとカードの間を迂回することはできない。

3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

9 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により、1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、ゴール地点でタイムチェックを受けなければならない。

10 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなければならない。
- 3) セクション間の移動は、コースマークまたはテープにしたがって行わなければならない。
- 4) ライダーは、セクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは、審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。

- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、コース上およびセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし、セクション内でフルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。
- 8) (1) 車両の部品交換は、マーキングされていないもののみ認められる。ただし、ライダーはその部品を主催者の定める区域以外の場所で受け取ることはできない。
(2) ライダーは、主催者の定める区域内であれば他の援助を受けることができる。
(3) ライダーは、コース上のどこにおいても工具を受け取ることができる。ただし、ライダーが車両の整備を行う場合、主催者の定める区域外では、他の援助を受けることはできない。これに違反した場合、失格とされる。
(4) 競技中、事故を起した場合や車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに競技役員に申し出なければならない。
- 9) 必要以上にスタンディングをしたり、不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。



トライアル

●トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

減点ゼロ
おみごと/
クリーンです

減点1
残念、
足つき1回

減点2
無念なり
足つき2回

減点3
足バタバタ
3回以上

減点5
ミスりました
失格です



トライを放棄すれば減点10

11

ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
- (1) クリーン……………0点
 (2) 足つき……………1点～3点減点
 (3) 失敗……………5点減点
 (4) 放棄……………10点減点
- 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課せられる。
- (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合…1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
 (2) ゴールタイムチェックの遅れ……………失格
- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり科せられる。
- (1) 競技役員および審判員に対する
 不適切な態度および言動……………失格退場
 (2) セクションにおいて審判員の
 指示に従わなかった場合……………10点減点
 (3) 定められたコースを不適當に
 カットした場合……………50点減点
- 注：上記(3)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される

12

ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

1. 足つきの定義

車両が前進しながらライダーの身体のどこかの部

分、またはマシンのどこかの部分（フットレスト、エンジンガード、タイヤホイールを除く）が地面に接触した場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーの身体のどこかの部分が障害物（立木、壁など）にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足の場合、そのつけ根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

1) 1点減点

- (1) 足つき1回。
 (2) 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合。
 (3) 片足を軸にして車両を回転させた場合。
 (4) 手を立木・壁等についた場合。
 (5) 体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修整した場合。
 (6) コーステープの内側または外側への足つき1回。

2) 2点減点

- (1) 足つき2回。
 (2) 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合。
 (3) 両足同時の足つき。

3) 3点減点

- (1) 足つき3回以上。
 (2) 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合。



2. 失敗 (減点 5 点)

- 1) ライダーが足つきをし、マシンが完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合。
- 2) バック中の足つき。
- 3) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤ

が浮いてリヤタイヤがバックした時。

- 4) マーカーの迂回 (下図Aのようなふくらみ、またはターン)。
- 5) 車両・ライダーによるテープ切断およびたるませ、またはテープを止めているクイなどを移動・破損させた場合。

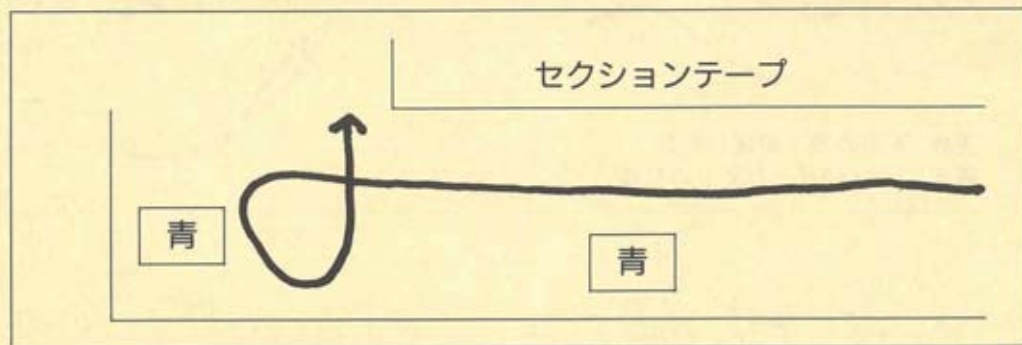
〔図 A〕



- 6) 車体の右側または左側に両足が同時に足つきをした場合。
- 7) 両足つきの状態で車両がフロントホイールを上^に90°以上かたむいた場合。
- 8) フロントタイヤまたはリヤタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合。
- 9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだち^にに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない(下図参照)。
- 10) 車両によるマーカー移動、マーカー破損。
- 11) 申告エスケープについては、特に審査員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする。



〔減点 5 の例〕



3. 減点の対象とならない行為

1) 接触

接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることを言い、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とならない。

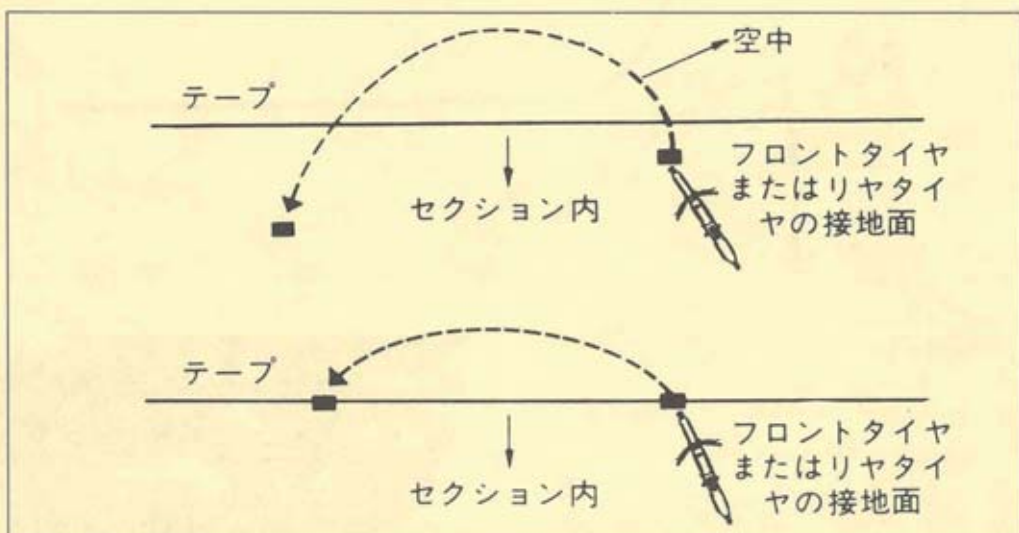
なお、マーカー、テープには車両、身体どちら

で接触しても、接触のみであればペナルティーは課せられない。

2) 図Bの場合は減点5点の対象とはならない。

(1) テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリヤタイヤがテープ外に出た場合、テープの立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合

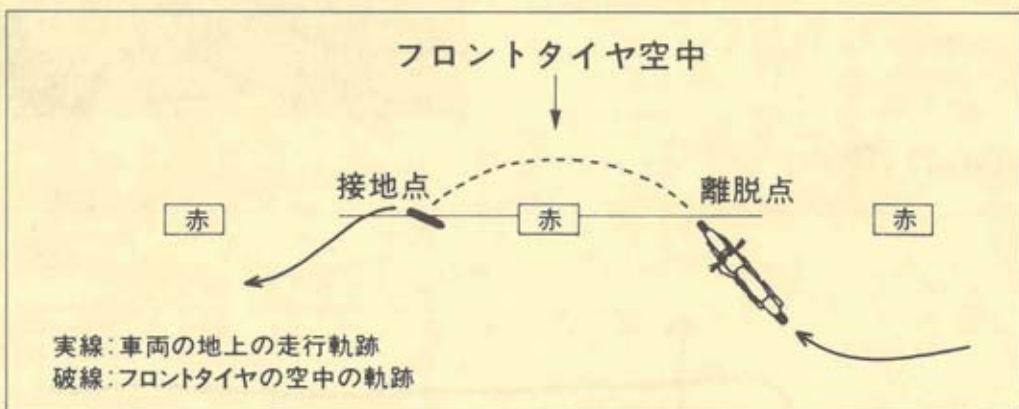
〔図B〕



(2) マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、フロントタイヤ

の接地面と接地面がマーカーの内側を通れば減点5点の対象とはならない(下図C参照)。

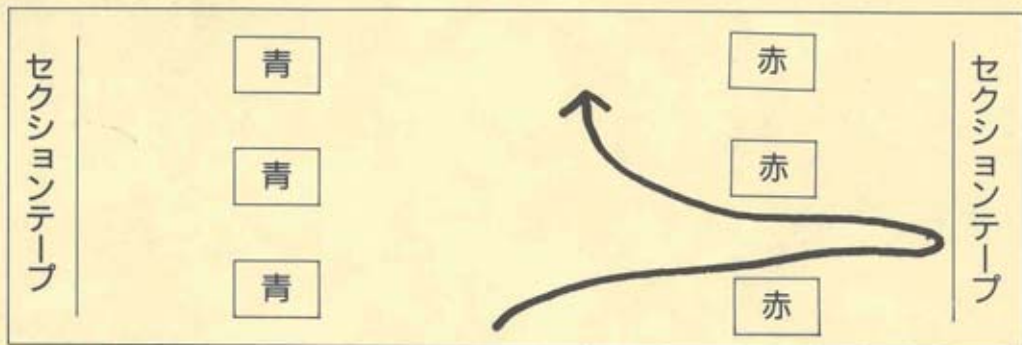
〔図C〕



(3) セクションテープがある場合、カードとカードを結ぶ直線をはみだしてもテープより出ない

限り減点とはならない(次頁図D参照)。

〔図D〕



- (4) V字型の地形等でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- (5) アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なお、この状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- (6) エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- (7) 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。
- (8) 減点の対象にならない車両の部分
車両が停止状態で立木、壁、石等、または地面で重心を支えても減点の対象とはならない車両の部分は、次のとおりである。

- (1) タイヤ
- (2) ステップ
- (3) アンダーガード底部

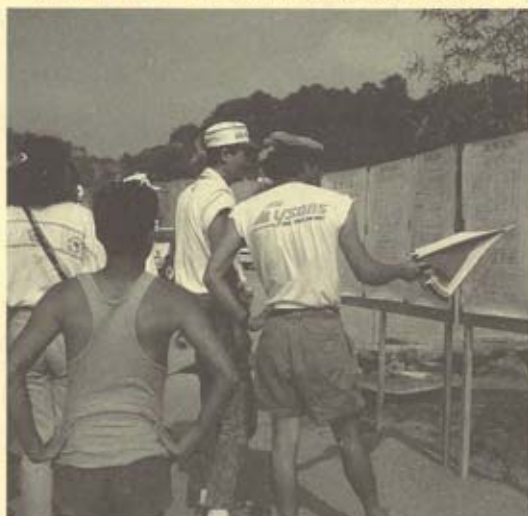


4. 放棄

放棄とはセクションを走行しなかった場合をいう。

13 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) 競技が1日で行われる場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 3) 2日以上にわたって競技が行われる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。



14 同点者の判定

同点者の判定は、次の判定順序に従って行う。

- 1) クリーン数の多い者を上位とする。
- 2) 1点減点の多い者を上位とする。
- 3) 2点減点の多い者を上位とする。
- 4) 3点減点の多い者を上位とする。
- 5) 以上によって決定できない場合は主催者の判断により決定する。



15 賞

国内競技規則・第3章(⑮入賞)(32頁)に定める出走台数により次のとおり賞を定める。ただし、地方選手権大会以下の場合、各大会公式通知による。

出走台数	賞の範囲	出走台数	賞の範囲
25台以上	15位迄	12台-13台	6位迄
22台-24台	12位迄	10台-11台	5位迄
20台-21台	10位迄	8台-9台	4位迄
18台-19台	9位迄	6台-7台	3位迄
16台-17台	8位迄	5台	2位迄
14台-15台	7位迄		

16 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則による。
- 2) 抗議により車両の分解検査が行われた場合、分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合には抗議提出者、抗議が成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 審判員の下したジャッジに対して抗議することは一切できない。

17 ライダーの遵守事項

ライダーは、次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則にのっとり行われる。
ライダーは、すべての行動に対して責任をとら

なければならない。

- 2) リタイヤするライダーは、必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお、本人がやむを得ず提出できない場合は、代理人による提出も認められる。これに違反した場合は、総則に記載される罰則が課せられる。
- 3) ライダーは、すべて本競技規則にのっとり行動すること。違反行為には場合によっては、失格さらには退場に至る罰則が課せられる。
- 4) 参加者は、国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員からの指示に従わなければならない。
- 5) 参加者は、常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は、競技期間中、アルコール類あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJライセンスを必ず携帯しなければならない。また交通法規を厳守しなければならない。

18 審判員権限

審判員は、競技規則等にのっとり担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する最終的権限をもつものである。

TRIAL 細則7

'91全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 開催競技会(118頁に提示)

2 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切り後に発送される。



セクションは沢を利用したものも多い

3 開催種目および競技方法

1. トライアル

- 1) 全日本選手権の対象部門は、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は、国際A級・国際B級ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとし、国際A級全員は持ち時間、セクションにスペシャルステージが含まれる。なお、各大会のセクション数および持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

例)

国際B級 13セクション×3ラップ
(持ち時間5時間)

国際A級 13セクション×3ラップ+2スペシャルステージ
(持ち時間5時間30分)

4 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

5 参加者およびライダー

1. 参加資格

- 1) 1991年版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(29頁)の条件を満たしていること。
- 2) 国際A級部門のエントリーは、フリーエントリーとする。
- 3) 国際B級部門のエントリーは、フリーエントリーとする。



※予告事項

'92年度全日本選手権の参加台数は一大会国際A級、国際B級あわせて原則として100台に制限する。国際A級部門のエントリーはフリーエントリーとし、国際B級のエントリーは申し込み台数が多数の場合、以下の優先順位で制限する。

- 1) '91年全日本選手権国際B級部門ポイント獲得者。
- 2) '92年に国際B級に昇格した者で、'91トライアルG C大会で国内A級部門1位～15位までの者。
- 3) '91年各地方選手権国際B級部門のポイントランキングで、項目1)に該当するものを除く上位5名の者。
- 4) その他の国際B級で3)の条件に準ずる上位5名以下の者。

6 出場申し込み

1. 全日本選手権シリーズ大会出場申し込み

出場申し込み書(日本グランプリ含む)に必要な事項を、記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。なお、ヘルパーライダーを申請する場合は、ヘルパーライダー申請料を添付しなければならない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門———10,000円
国際B級部門———10,000円
(MFJ共済会掛金200円含む)

8 賞および得点

1. 賞

- 1) 入賞は1位～6位とする。
また、国際A級、国際B級ともにベストクリーン賞が与えられる。(クリーン数が同数の場合は、成績が上位の者とする)。
- 2) 国際A級、および国際B級部門全日本ランキングの得点
 - (1) 得点は、MFJ国内競技規則によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) その詳細は全日本選手権ランキング決定方法(126頁)に示される。

9 '91トライアル・デ・ナシオン日本代表選手団の選考基準

'91年9月22日開催のトライアル・デ・ナシオン(開催国：ドイツ)の日本代表選手団の選考基準および詳細は下記のとおりとする。

1. 出場選手の選考基準

- 1) 日本国籍を有する者で'90全日本選手権第3戦から第8戦までと、'91年全日本選手権第1戦から第2戦(日本GP大会)までの国際A級部門得点合計の上位者3名ならびにトライアル委員会が特にその功績を認めた1名の合計4名の者とする。
し経費等(交通費、車両運搬、メカニック経費他)はすべて自己負担とする。
- 2) MFJより派遣選手には一部援助金が出される。
- 3) 1)の選手で出場意志のない選手が出た場合は下位より繰り上げとする。その場合ランキング6位までの選手とする。
- 4) 5月31日までに参加者が3名に満たない場合は、日本選手団の派遣は取りやめとする。
- 5) チームユニホーム(ナショナルチームジャンパー等)は、MFJで決定するものとする。

※予告事項

'92年トライアル・デ・ナシオンの日本代表選手団の選考基準は、'91年全日本選手権第3戦から第7戦までと'92年全日本選手権第1戦から5月31日までに行なわれる全日本選手権の得点合計の上位者3名ならびにトライアル委員会が特にその功績を認めた1名の合計4名の者とする。なおその他の規定は'91と同様とする。



10 出場車両

車両は、細則6の〔③出場車両〕(104頁)を厳守しなければならない。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級・B級の年間指定ゼッケンナンバーは、別に定めるゼッケンナンバー決定基準によって割り当てられる。

主催者から特に指示がない場合は、車両検査までに規定の書体および色分けてナンバーを記入しなければならない。

- 3) ナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 競技中、ナンバープレートを装着しなかったり主催者が配布したゼッケンを装着せずに走行した場合は罰則が課せられる。



出場車両は必ず車検を過ぎなければならない

12 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、細則6の〔⑥ライダーの服装〕(106頁)による。

13 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは国内競技規則・第3章〔⑨燃料およびオイル〕(33頁)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によ

って主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。

- 3) ガソリンおよびオイルを入れる容器と、その取り扱いは消防法により定められているものとする。

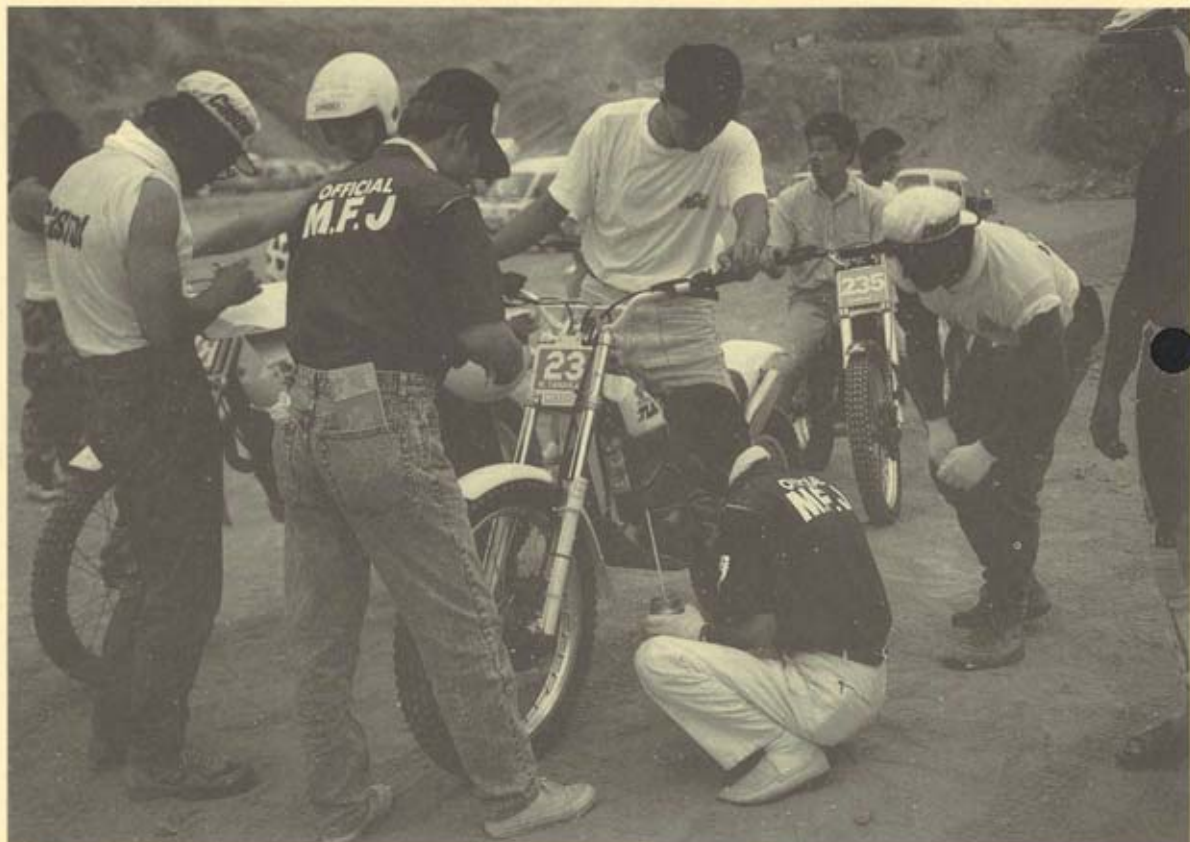


14 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に、必ずライダー本人が、MFJライセンス、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

15 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参し車両検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は1台に制限される。
- 4) 車両検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車両は、一切の走行を拒否される。
- 5) 車両検査において、フレームボディ・クランクケース、サイレンサーについてマーキングを行う。以上の部品は、当日の競技に使用され、競技が終了するまで交換することはできない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中、無断で交換した場合には失格とされる。
- 6) 車両検査時には、細則6の〔⑤総合仕様〕(104頁)



の方式にのっとり、車両の音量検査が行われる。

- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

16 ライダーおよび車両変更

ライダーおよび出場車両の変更は、原則として認められない。ただし、車両の変更は国内競技規則・第3章〔㊤ライダーおよび車両の変更〕(36頁)に該当する場合は、出場受付け終了以前に手数料5,000円を添えて申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ、認められる。

17 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

18 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序は、ゼッケンの下位の者

からとする。

- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位者からとし、ポイント取得者以外のゼッケン下位から順にスタートする。



19 競技中の車両の整備

- 1) 車両のパーツは、マーキングされていないもののみ交換することができる。ただし、ライダーはスペアパーツを主催者の定める区域外で受け取ることはできない。
- 2) ライダーは、コース上のどこにおいても工具を受け取ることができる。ただし、ライダーが車両の整備を行う場合、主催者の定める区域外で、他

の援助を受けることはできない。これに違反した場合は失格とされる。

20 ゴール

ゴール時間に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。



トライアルは時間との戦いでもある

21 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

最終検査

最終ラップ終了後、車両は主催者が定める区域において、車両検査時に付けたマークの有無の確認が行なわれる。

23 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定順序に従って行う。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする。
 - (5) 以上によって決定できない場合は主催者の判断により決定する。

24 ヘルパーライダー

ライダー1名に対し1名のヘルパーライダーが認められる。ヘルパーライダーの資格および遵守事項は、次のとおりとする。

- 1) ヘルパーライダーは、トライアル国内A級以上のライセンス所持者でライダーのエントリー時に5,000円の申請料を添付し申し込まなければならない。

なお、エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。

また、大会によりヘルパーライダーの受付を認めない場合がある。
- 2) 車両は、MFJ公認車両とし、大会当日車検およびゴール後のマシンチェックを受けなければならない。
- 3) 車両のフロントゼッケンに“ヘルパー”の表示をしなければならない。
- 4) 移動コースは、ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 5) セクショントライは一切認められない。
- 6) 指定区域外での車両整備の援助または部品の供給は、一切行ってはならない。
- 7) ヘルパーライダーの不正は、当該ライダーに罰則が課せられる。

25 競技会の延期、中止および打ち切り

- 1) 大会は、本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会は、大会審査委員会が天変地異等の特別な理由によって競技を中止しなければならないと判断したときに限り競技が中止される。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を請求することはできない。



トライアル

26 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㊟暫定結果に対する抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算出するものとする。
- 3) 審判員の下したチャージに対して抗議することは一切できない。

27 ライダーの遵守事項

ライダーは、次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則にのっとって行われる。ライダーはすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) リタイヤするライダーは、必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお本人がやむを得ず提出できない場合は代理人による提出も認められる。これに違反した場合は、総則に記載される罰則が課せられる。
- 3) ライダーは、すべて本競技会特別規則にのっとり行動すること。場合によっては、失格、さらに退場に至る罰則が科せられる。
- 4) 参加者は、国規競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員の指示に従わなければならない。また公道上では交通法規を守らなければならない。

- 5) 参加者は、常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は競技期間中、アルコール類あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJ競技ライセンスを必ず携帯しなければならない。

28 本規則の違反・裁定

本規則に対する違反の裁定は、大会審査委員会によって判断され、違反者には罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえども、これに従わなければならない。

29 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑申し立てができる。なお、質疑申し立てに対する回答は、大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

30 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1991年1月1日

全日本選手権大会事務局

'91全日本選手権の開催日程

開催日	大会名	主催者・出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間(消印有効)
4月21日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦九州トライアル大会	MFJ九州 〒861-41 熊本市近見町2273-1 ㈱ホンダ二輪熊本内 ☎096-355-5075	佐賀県 城山モーター スポーツ場	3月13日(水) ↓ 3月22日(金)
5月19日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦第19回日本グランプリトライアル大会	MFJ 〒103 中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル (財)日本モーターサイクルスポーツ協会 ☎03-3865-8441	神奈川県 宮ヶ瀬トライアル パーク	4月10日(水) ↓ 4月19日(金)
6月2日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦東北トライアル大会	MFJ東北 〒020-01 盛岡市みたけ5-16-27 岩手県モーターサイクルスポーツ協会 ☎0196-43-8895	岩手県 室横山スキー場 特設コース	4月24日(水) ↓ 5月3日(金)
8月4日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦北海道トライアル大会	MFJ札幌 〒065 札幌市東区東福来3条1-4-3 ☎011-782-1492	北海道 夕張マウントレース イスキーリゾート	6月26日(水) ↓ 7月5日(金)
9月8日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦近畿トライアル大会	MFJ近畿 〒550 大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06-541-5254	大阪府 ブラザ阪下	7月31日(水) ↓ 8月9日(金)
10月6日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦中国トライアル大会	MFJ中国 〒730 広島市中区光南1-14-17 広島県モーターサイクルスポーツ協会 ☎082-241-6999	広島県 グリーンピア安浦 特設コース	8月28日(水) ↓ 9月6日(金)
10月20日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦中部トライアル大会	MFJ中部 〒466 名古屋市長和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 ☎052-833-9676	岐阜県 遊らんど坂内 スキー場	9月11日(水) ↓ 9月20日(金)



エンジン、チューニングの神様。
ホフア吉村は68年に及ぶ人生の4分の3をエンジンと共に生きて来た。
彼の口グセのひとつ。
「エンジンとは本当に面白いものだ。いじれば、しるほど、その魅力の虜になってしまう。」
エンジンのTECHNICAL EPは、ユーザーにとっては少しも深い、関わりはない、あくまでレースの世界の話に聞こえるかも知れないが、本気でどうなのだろうか。バイクが、クルマが、今日の人間社会にとって、欠かすこと出来ない存在となつて久しい。各々のユーザーは、その存在の重要性をあらためて問う必要はないだろうか。
そして、バイクも、クルマも、一体どうして動いて、このかといふことを本気で分かっているのだろうか。
今では、たしかに神様と呼ばれて、ホフア吉村も、そのまもは、うしたバイクやクルマ、あるいは、ヒューマンの動力源への基本な疑問から始まったはず。その答えはエンジン、チューニングの大事な工程のひとつ。クルマの研鑽を行なっているホフアの手だ。エンジンを知りつくしている手だ。
そしてついにオイルにまみれて、その手だから、たしかにオイルが分かる手もある。

21世紀のエンジンにふさわしいオイル。



LCE-700
4サイクルレーシングオイル
(10W50/100%合成)
苛酷きわまりないレース用に開発されたエンジンオイル。
より高回転域での優れた潤滑性を高い次元で発揮。
ピークパワーを高めながら、焼付きを防止。冷却性にも優力を発揮。



LCE-500
4サイクルエンジンオイル
(10W50/100%合成)
レースで得たテクノロジーをみごとにフィードバック。優れた耐熱性と潤滑性がエンジンに確実に保護。
スポーティーカー、スポーツバイクから、オフロード車などのスポーツ走行に最適。



be-all Racing
2サイクルレーシングオイル
(混合給油用)
特に高回転域での性能が求められる2サイクルのレーシングフィールドで優れた潤滑性を発揮。
加えて充分なピークパワーを確保しながら焼付きを防止。



be-all Sports
2サイクルエンジンオイル
(分岐給油用)
レーシングテクノロジーを生かして開発されたオイル。
回転をスムーズにしながら、排気煙を減少。したがって、レーサーレプリカからオフロードバイクまでのスポーツ走行に最適。



be-all Mission
2サイクルキヤノーオイル
レース用に開発されたから、一般用にも充分利用できる。
優れた粘度特性と潤滑性により小気味よいシフトタッチを実現。同時にギヤの摩耗防止にも効果を発揮。



WAKOS

FOR
4
STROKE
ENGINE

E430
4CRV



(フォーシーアルブイ)
●100%化学合成オイル
SAE20W-40 API SG/CD
耐久レース使用を目的に生まれたオイル。耐摩耗性、高温安定性、清浄性、そして-45度の低温点により低温時の始動にも優れた性能を発揮。大型車、外車、空冷エンジン車に最適。
標準価格3,800円/1L

E420
4CR



(フォーシーアル)
●100%化学合成オイル
SAE15W-50 SAE15W-40 API SG/CD
レーシングクワトロジーが主づく、極限での使用を可能にした最高級4サイクルレーシングオイル。化学合成ならではの優れた耐熱性能、耐久性により、コンペティションモデル、市販ハイパフォーマンスに最適。
標準価格2,800円/1L

4CT



(フォーシーディー)
●半化学合成オイル
E400 (ACT-40)
SAE10W-40 API SG/CD
E410 (ACT-50)
SAE20W-50 API SG/CD
優れた耐摩耗性、耐換油性、低温流動性、清浄性により高出力、高回転エンジンに性能を引き出す最高級オイル。四輪、二輪用。
標準価格1,900円/1L

●価格には消費税は含まれておりません。

FOR
2
STROKE
ENGINE

E530
2CRV



(フォーシーアルブイ)
●化学合成、特殊油 (混合専用)
市による劣化を解消する全天候オイル。コンペティションでの極限使用を可能にしたハイパフォーマンスオイル。ローレースに最適。
標準価格4,000円/1L

E320
2CR



(フォーシーアル)
●100%化学合成オイル (混合専用)
最適なレース条件下でエンジンの性能低下を防ぐ2サイクル専用オイル。換油サイクルにより極限までの換油も防ぎます。ローレース、モトクロス、ミニバイク、カートなどモータースポーツに最適。
標準価格3,000円/1L

E501
2CT



(フォーシーディー)
●100%化学合成オイル (混合専用)
高性能2サイクルスポーツ車に最適な最高級オイル。耐摩耗性、耐換油性はもとより、優れた清浄性によりエンジン内をクリーンに保ちます。全量給油用。
標準価格3,000円/1L

E551
V2R



(ファイアーアル)
●100%化学合成オイル (全量・混合両用)
油性、耐摩耗性、耐換油性に優れたスーパーレースタイプオイル。ミニバイクから高性能2サイクルバイク、スーパーバイク、ウォーターバイクなど多くのモータースポーツに対応した、全量・混合両用オイルです。
標準価格1,700円/500ml

FORK OIL
BRAKE
FLUID
CHEMICAL

T510
FK-5



●半化学合成オイル
フレンドタイプのフォークオイル。FK-5とFK-20を混合し、フォーリングに合った硬さのフォークオイルを作れます。
標準価格1,600円/500ml

T520
FK-20



●半化学合成オイル
フレンドタイプのフォークオイル。FK-5とFK-20を混合し、フォーリングに合った硬さのフォークオイルを作れます。
標準価格1,600円/500ml

T150
SP-5



(スーパープロ5)
●グリコールエーテル系
ブレーキフルードの最高規格であるDOT5に合格。150℃以上のウェット沸点を持ち、苛酷な運転条件下でも確実な制動を得られます。
標準価格1,800円/350ml

A101
ブレーキ&パーツ クリーナー(BC)



●ブレーキ、パーツ洗浄スプレー
オイル、グリース、その他の汚れを素早く取り除き、しかもすぐに乾く。ブレーキ装置の洗浄以外にも、プラグ、キャブ等の洗浄に使用できる。強力な洗浄力と吐出圧力をもった多目的クリーナー。
標準価格1,600円/400g

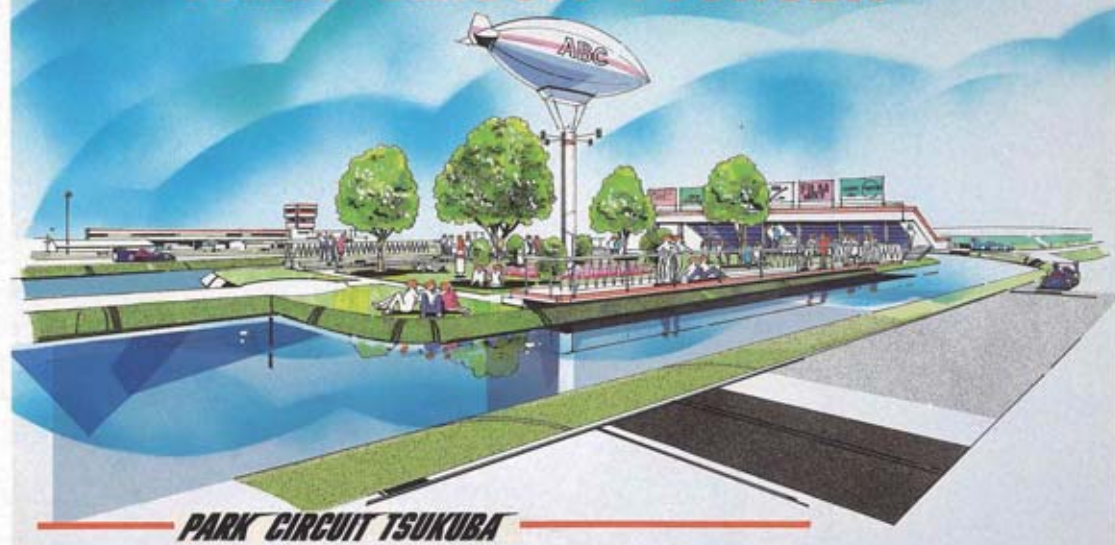
おかげのクオリティを誇ります。
販売スタッフ・営業マン募集

〒 新 20-35 歳迄
勤務地 関東・東海地区の希望する各営業所
詳しくは本社・人事担当 大川すみえ迄

(株)和光ケミカル
神奈川県小田原市前川16-2 TEL.0465-48-2211(代)

速ぶ。の事実。証。

21世紀のサーキット PARK CIRCUIT TSUKUBA



筑波6H耐久ロードレース大会

モータースポーツイベントの中で長時間闘い抜く耐久レースは、選手からもファンの人々からも高い人気を博しています。レース展開の面白さ、メカニックとライダーとのチームワーク、チーム全体の作戦、予期せぬトラブル等、耐久レースはマシンと人の体力と気力の限界を要求し、そのスリルと興奮はぜつ大です。

そこで、'91年11月9、10日の両日、筑波サーキットにおいて2輪の「筑波6H耐久ロードレース大会」を開催することになりました。

賞金総額1,000万円、数多くの選手のエントリーをお待ちしております。マシンはTT-F1で、国際A級と国内A級の混走により予選・決勝(6時間耐久)が行なわれます。なお、決勝に進めなかった選手により、

9日(土)に「2時間耐久レース」を行ない上位2組を10日(日)の本レースに出場する権利が与えられます。

大会開催はずつと先ですが、出場の申請は受付けております。フルテでご参加ください。なお、大会の詳細は'91年1月中旬に発表します。

- 大会名：筑波6H耐久ロードレース大会
- 開催日：'91年11月9日(土)、10日(日)
- 会場：茨城県・筑波サーキット
- 開催クラス：国際A級・国内A級の混走
(TT-F1クラス)
- 主催：財日本オートスポーツセンター

JASC会員を広く募集中

筑波サーキットでは、JASC会員を広く募っています。

これは筑波サーキットのファン組織であり、大会開催時以外のときのサーキットへの無料入場、同時にMFJ(日本モーターサイクルスポーツ協会)の国内C級ライセンスの取得と、スポーツ走行会員になれる特典があります。

そのほかにも、このJASCニュースの配布や、筑波サーキットで行なわれるレース大会はすべて割引される優待券、カレンダー引換券の配布など…と、さまざまな特典があります。

JASC会員の新規登録は、講習会の受講料、共済保険料、ライセンス発給料、MFJ国内C級ライセンス発給料、年会費などを含めて13,000円となっています。そして、次年度へ更新する場合は3,500円だけです。

また、全日本選手権や関東選手権の財日本オートスポーツセンター主催のレース日は入場料を50%割引いたします。さらに、関東選手権開催日に限り、女性観客は無料入場できるサービスも行なっています。

もし、あなたの友だちで未加入の方がいましたら、ぜひ会員として登録されるようお願いいたします。そしてひとりでも多くのファンが「パークサーキット・ツクバ」の真髄にふれ、楽しいひと時をお過ごしください。

更新の手続きを忘れていた人は、早く手続きを完了し、われわれの息の長い仲間としてサーキットの運営にご協力して頂けるよう希望いたします。



PARK CIRCUIT TSUKUBA

本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056
筑波サーキット 〒300-04 茨城県結城郡千代川村岡字西原 ☎0296-44-3146~7

S SUPPLEMENT

■細則8 MFJライセンス 昇格・降格に関する規則

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 目的 | 124 |
| 2. 自動昇格に必要な得点 | 124 |
| 3. ロードレース・ライセンスの昇格 | 124 |
| 4. モトクロス・ライセンスの昇格 | 125 |
| 5. トライアル・ライセンスの昇格 | 125 |
| 6. 自動降格の基準 | 126 |
| 7. 特別昇格およびその手続き | 126 |
| 8. 特別降格およびその手続き | 126 |
| 9. 再昇格基準 | 127 |
| ●MFJ公認車両・ヘルメット
レーシングスーツ・部品・タイヤ | 128 |
| ●MFJ共済制度 | 138 |
| ●歴代チャンピオンリスト | 139 |

MFJライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、勸業日本モーターサイクルスポーツ協会(以下「MFJ」という)が発給管理する。競技ライセンスの昇格・降格に関し規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点は、公認競技会の成績に応じて与えられる。その得点は、次のとおりである。
- 2) 昇格の対象となる期間は、前年度の11月から当該年度の10月末日までの12ヵ月間とする。
- 3) ジュニア部門の公認競技会における得点は、競技会の格式にかかわらず、上記②その他の公認競技会の得点とする。
- 4) 昇格後の資格が有効となるのは、翌年の1月1

①全日本選手権および地方選手権競技会

順位	台数	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13				
5位	11	11	11	11	11	11	11	11					
6位	10	10	10	10	10	10	10						
7位	9	9	9	9	9	9							
8位	8	8	8	8	8								
9位	7	7	7	7									
10位	6	6	6										
11位	5	5											
12位	4	4											
13位	3												
14位	2												
15位	1												

日からとする(’91年の成績で昇格した者は’92年1月1日からの昇格後の資格が有効)。

②その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	台数	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6	6		
4位	5	5	5	5			
5位	4	4					
6位	3						

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ台数とする。

3 ロードレース・ライセンスの昇格

- 1) 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - (1) 各地方選手権ごとの公認競技会において国内B級部門125cc、250ccおよびTTF-3クラス、SP250(SP250Fは除かれる)、SP400のいずれかの同一クラス年間得点合計で、得点10点以上の成績を得た者(異なるクラスおよび異なるサーキット間の得点は合計しない)。
 - (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、都・府・県支部(以下「県支部」という)および地方ブロック協議会(以下「ブロック」という)の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
 - (3) その他、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 2) 国内A級から国際A級への昇格基準
 - (1) 全日本選手権(MFJカップ含む)ランキング6位迄の者(自動昇格)〔’91年のみ規制〕
 - (2) 全日本選手権(MFJカップ含む)にて15ポイ

ント以上獲得した者で、ランキング15位以内の者のみ申請ができる。〔'91年のみ規制〕

- (3) 地方選手権以上の得点合計で30点以上獲得し、かつ全日本選手権ポイントを有する者は、特別昇格の申請ができる。

① 地方選手権における国内A級については表

①(118頁)のポイントを与える。

② 他のサーキットの得点も加算する。

4 モトクロス・ライセンスの昇格

ジュニア部門から国内B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を得た者（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない）。㊦：得点は格式にかかわらず国内競技規則・第3章〔㊦公式得点〕(32頁)に順ずる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 2) 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない）。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	40	40	30	30	30	40	40	30

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。



(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 3) 国内A級部門から国際B級への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 全日本選手権ランキングで、クラス1位から6位にランクされた者。

(2) 全日本選手権シリーズ大会において30点以上を得た者。

(3) 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

(4) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(5) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 4) 国際B級部門から国際A級への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 全日本選手権ランキングで、クラス1位から15位にランクされた者。

(2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

5 トライアル・ライセンスの昇格

- 1) ジュニア部門から国内A級部門への昇格の対象者は次のとおりとする。

(1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。

① 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

② 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

(2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 2) 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。

- ① 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者（次の大会より国内A級部門で出場すること）。
- ② 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において、国内B級部門での優勝者および2位の2名の者（次の大会より国内A級部門で出場すること）。

※ ①②においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。

- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 3) 国内A級部門から国際B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - (1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日まで)において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	5	7	20	13 (内北陸3)	10	7	5	8

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 4) 国際B級部門から国際A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - (1) 全日本選手権ランキングで、1位から5位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
 - (2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

6 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、そ

●自動降格基準表

種目 ライセンス 更新期間	モトクロス・トライアル				ロードレース		
	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
1年	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
2年	//	//	//	//	//	//	//
3年	//	国内B級	国内A級	//	//	国内B級	//
4年	//	//	国内B級	国際B級	//	//	国内A級
5年	//	//	//	//	//	//	//
5年以上	//	//	//	国内A級	//	//	//

※ ロードレースについては5年以上の未更新期間のある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

の期間によって、下表によりライセンス資格が自動降格される。



段階を踏み、国際A級の選手となる

7 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までにMFJ事務局に到達されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は、所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、県支部またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円(切手でも可)を添えて県支部に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。

8 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は、次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。

- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までにMFJ事務局に到達されることを要する。申請者の用紙は、県支部又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円(切手でも可)を添えて県支部およびブロックの承認・経由して、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。
- ※ 特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年間経過し、得点の得られなかった者のみとする。

9 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。

- 1) ロードレース
- (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
- (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

- 2) モトクロス
- (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズ大会で優勝した者。
- (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) トライアル
- (1) 国際B級部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。
- (4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1991年1月1日から施行する。



MFJ公認車両

一般市販車

●本田技研工業(株)

東京都港区南青山2-1-1 ☎03(3431)1111

車名	型式	排気量(cc)	φ7×ストローク(mm)	公認月日
TLM200R	MD15	193	67.0×55.0	'85.3.28
XL125R	JD04	124	56.5×49.5	'85.7.15
XL200R	MD14	194	65.5×57.8	'85.5.20
MTX200RH	MD13	193	67.0×55.0	'85.2.25
XLR250R	MD16	249	75.0×56.5	'85.5.20
XL600R	PD04	591	97.0×80.0	'85.9.18
CBX250S	MC12	249	75.0×56.5	'85.3.28
VT250F INTEGRA	MC08	248	60.0×44.0	'85.5.20
NS400R	NC19	387	57.0×50.6	'85.5.20
CBR400F	NC17	399	55.0×42.0	'85.8.28
CBR400F ENDURANCE	NC17	399	55.0×42.0	'85.8.28
CBR400F FORMULA-3	NC17	399	55.0×42.0	'85.8.28
GB400 Tourist Trophy	NC20	399	84.0×72.0	'85.9.18
GB400 Tourist Trophy MKII	NC20	399	84.0×72.0	'85.9.18
GB500 Tourist Trophy	PC16	498	92.0×75.0	'85.9.18
CBX750F BOLD'OR	RC17	747	67.0×53.0	'85.6.10
TLR250R	MD18	244	72.0×60.0	'86.5.26
XLR250R	MD20	249	73.0×59.5	'86.12.15
FTR250(キット)	MD17	249	73.0×59.5	'86.3.26
FTR250(セル)	MD17	249	73.0×59.5	'86.3.26
VT250F	MC15	249	60.0×44.1	'86.4.28
NSR250R	MC17	249	54.0×54.5	'86.10.13
CBR250FOUR	MC14	249	48.5×33.3	'86.4.28
VFR400R	NC21	399	55.0×42.0	'86.3.26
CBR400R	NC23	399	55.0×42.0	'86.7.9
VFR400Z	NC21	399	55.0×42.0	'86.4.28
VFR750F	RC24	748	70.0×48.6	'86.3.26
SHADOW	RC25	749	79.5×75.5	'86.4.28
TLM200R	MD15	193	67.0×55.0	'87.5.6
XLR80R	HD10	79	47.5×45.0	'87.9.4
MONKEY R	A-AB22	49	39.0×41.4	'87.4.2
NS50F AERO	A-AC08	49	39.0×41.4	'87.3.31
NSR50	A-AC10	49	39.0×41.4	'87.7.8
CBX125CUSTOM	JC12	124	58.0×47.0	'87.8.5
CBX125F	JC11	124	58.0×47.0	'87.8.5
NS125R	TC01	124	56.0×50.6	'87.8.5
VT250F	NC15	249	60.0×44.1	'87.3.4
CBR250R	MC17	249	48.5×33.8	'87.5.6
VTZ250	MC15	249	60.0×44.1	'87.6.5
CB250CLUBMAN	MC10	249	72.0×61.3	'87.3.31
CBR400R	NC23	399	55.0×42.0	'87.3.4
CBR750スーパーエアロ	RC27	748	70.0×48.6	'87.3.4
VFR400R	NC24	399	55.0×42.0	'87.5.6
VFR400Z	NC21	399	55.0×42.0	'87.6.5
TRANSALP600V	PD06	583	75.0×66.0	'87.6.5
V45MAGNA	RC28	748	70.0×48.6	'87.6.5
VFR750R	RC30	748	70.0×48.6	'87.12.9
ATC70	-	72	-	'87.3.4
XL80S	HD04	79	-	'87.3.4
XR80	XR80	79.7	-	'87.3.4
モンキー	Z50J	49	-	'87.3.4
ゴリラ	Z50J	49	-	'87.3.4
ダックス	ST50	49	-	'87.3.4
XL50S	AD03	49	-	'87.3.4
XLR BAJA	MD22	249	73.0×59.5	'88.1.6
NSR80	HC06	79	49.5×41.4	'88.1.6
AX1	MD21	249	70.0×64.8	'88.1.6
NSR250R	MC18	249	54.0×54.5	'88.2.16
CBR400RR	NC23	399	55.0×42.0	'88.2.16
BROS PRODUCT-Two(400)	NC25	398	64.0×62.0	'88.2.16
BROS PRODUCT-ONE(650)	RC31	647	79.0×66.0	'88.2.16
NS50F AERO	A-AC08	49	39.0×41.4	'88.3.9
CRM50	A-AD10	49	39.0×41.4	'88.4.13

CRM80	HD11	79	49.5×41.4	'88.4.13
NX125	JD09	124	56.5×49.5	'88.4.13
NSR250RSP	MC18	249	54.0×54.5	'88.5.13
MONKEY	A-AB	49	39.0×41.4	'88.5.13
CBR250R	MC19	249	48.5×33.8	'88.6.16
AFRICATWIN	RD03	647	79.0×66.0	'88.8.3
VTZ250	MC15	249	60.0×44.1	'88.8.3
VT250 SPADA	HC20	249	60.0×44.1	'88.12.8
VFR400R	NC30	399	55.0×42.0	'89.1.2
NSR250R	MC18	249	54.0×54.5	'89.2.8
XLR 250R	MD22	249	73.0×59.5	'89.3.15
NS50F	A-AC08	49	39.0×41.4	'89.3.15
NSR250R SP	MC18	249	54.0×54.5	'89.4.5
CB-1	NC27	399	55.0×42.0	'89.4.5
CRM250R	MD24	246	66.0×72.0	'89.5.10
NSR50	A-AC10	49	39.0×41.4	'89.7
NSR80	HC06	79	49.5×41.4	'89.7
NSR250R	MC21	249	54.0×54.5	'90.3.7
VFR400R	NC30	399	55.0×42.0	'90.3.7
NS50F	A-AC08	49	39.0×41.4	'90.4.6
NSR250R SP	HC21	249	54.0×54.5	'90.5.2
CBR250RR	NC22	249	48.5×33.8	'90.4.19
CBR400RR	NC90	399	55.0×42.0	'90.4.19
VFR750F	RC36	748	70.0×48.6	'90.4.15

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎0538(32)1150

車名	型式	排気量(cc)	φ7×ストローク(mm)	公認月日
RZ250	1HK	49	40.0×39.7	'85.5.20
RZ125	1GV	123	56.0×50.0	'85.5.20
SEROW225	1KH	223	70.0×58.0	'85.8.28
TZR250	1KT	249	56.4×50.0	'85.10.27
FZ250	1HX	249	48.0×34.5	'85.3.28
FZ400N	1KF	399	54.0×43.6	'85.3.28
FZ750	1FM	749	68.0×51.6	'85.3.28
DT200R	1TG	195	66.0×57.0	'85.11.28
XT225	2LN	223	70.0×58.0	'86.12.15
YSR50	2AL	49.9	40.0×39.7	'86.4.28
YSR80	2GX	79	48.0×42.0	'86.9.9
FZ250	1KG	249	48.0×34.5	'86.4.28
FZR250	2KR	249	48.0×34.5	'86.12.15
FZ400R	4EX	399	54.0×43.6	'86.4.28
FZR400	1WG	399	56.0×40.5	'86.4.28
SRX400	1JL	399	87.0×67.2	'86.3.26
FZX750	2AK	749	68.0×51.6	'86.4.28
TW200	2JL	196	67.0×55.7	'87.6.5
DT200R	2LR	195	66.0×57.0	'87.3.31
TZR125	2RM	124	56.4×50.0	'87.5.6
SDR	2TV	195	66.0×57.0	'87.9.4
FZR400R	2TK	399	56.0×40.5	'87.3.2
FZR750	2LM	749	68.0×51.6	'87.3.31
XV400	2NU	399	68.0×55.0	'87.3.31
XV400	2NT	399	68.0×55.0	'87.3.31
SRX400	2NY	399	87.0×67.2	'87.3.4
SRX600	2NX	608	96.0×84.0	'87.3.4
TRZ125	2VT	124	56.4×50.0	'88.3.9
TZR250	2XT	249	56.4×50.0	'88.3.9
TDR250	2YK	249	56.4×50.0	'88.3.9
XV250	3DM	248	49.0×66.0	'88.3.9
YSR80	3CE	79	49.0×42.0	'88.5.13
FZR250	3HX	249	48.0×34.5	'88.5.13
SRX400	3HV	399	87.0×67.2	'88.9.2
SRX600	3GV	608	96.0×84.0	'88.9.2
SR400C	3HT	399	87.0×67.2	'88.9.2
SR500C	3GM	499	87.0×84.0	'88.9.2
RZ250R	3HM	247	54.0×54.0	'88.9.2
TDR50	3FY	49	40.0×39.7	'88.9.2
TDR80	3GA	79	49.0×42.0	'88.10.13
TZR250	3MA	249	56.0×50.7	'89.2.8
FZR250R	3LN	249	48.0×34.5	'89.2.8
FZR400R	3EN	399	56.0×40.5	'89.3.15
FZR750R	3FV	749	72.0×46.0	'89.3.15
DT200R	3ET	195	66.0×57.0	'89.5.10
XT225	3RW	223	70.0×58.0	'89.8.8

TZR125	3TY	124	56.4×50.0	'90.1.3
FZR400RR	3TJ	399	56.0×40.5	'90.1.3
FZR400RR SP	3TJ	399	56.0×40.5	'90.2.7
TZR50	3TU	49	40.0×39.7	'90.3.7
FZR250R	3LN	249	48.0×34.5	'90.3.7
TZR250	3MA	249	56.0×50.7	'90.3.7
TZR250SP	3MA	249	56.0×50.7	'90.3.7
SRX400	3VN	399	87.0×67.2	'90.4.6
SRX250	3WP	249	73.0×59.6	'90.5.4
R1-Z	3XC	249.7	56.4×50.0	'90.7.5
FZX750	3XF	749	68.0×51.6	'90.7.12
DT200WR	3XP	199	66.8×57.0	'91.2.12

●スズキ(株)

静岡県浜松市外高塚 ☎0534(40)2172

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
50Γ	A-NA11A	49.8	41.0×37.8	'85.3.28
RG125Γ	NF11F	123	54.0×54.0	'85.7.15
RG250Γ	GJ21B	247	54.0×54.0	'85.4.18
GF250	GJ71C	249	44.0×41.0	'85.3.28
GSX-R400	GK71B	398	53.0×45.2	'85.2.25
RG400Γ	HK31A	397	50.0×50.6	'85.2.25
RG500Γ	HM31A	498	56.0×50.6	'85.5.20
GSX-R750	GR71F	749	70.0×48.7	'85.3.28
VS750	VR51A	747	80.0×74.4	'85.4.18
TS50W	A-SA11A	49.8	41.0×37.8	'85.3.28
SX125R	SP41B	124	57.0×48.8	'85.5.20
SX250R	SH41A	199	66.0×58.2	'85.5.20
GAG	A-LA41A	49	39.0×41.8	'86.2.24
RG250Γ(ハーフカウル)	GJ21B	247	54.0×54.0	'86.2.24
RG250Γ(フルカウル)	GJ21B	247	54.0×54.0	'86.2.24
GF250S	GJ71C	249.2	44.0×41.0	'86.2.24
GF250SS(アンダーカウル)	GJ71C	249	44.0×41.0	'86.2.24
NZ250	NJ44A	249	72.0×61.2	'86.2.24
NZ250S(カウル)	NJ44A	249	72.0×61.2	'86.2.24
GSX-R400	GK71F	398	56.0×40.4	'86.3.26
GSX400Xインパルス	GK71E	398	56.0×40.4	'86.3.26
LS650	NP41A	652	94.0×94.0	'86.11.23
GSX-R750R	GR71G	749.2	70.0×48.7	'86.2.24
GSX-R250	GJ72A	248	49.0×33.0	'87.3.31
RG250Γ	GJ21B	247	54.0×54.0	'87.7.8
GSX-R400	GK71F	398	56.0×40.4	'87.7.8
GSX-R750	GR71G	749	70.0×48.7	'87.5.6
AVAGE	NK41A	396	88.0×65.2	'87.5.6
RGV250Γ	VJ21A	249	56.0×50.6	'87.4.13
GSX-R400	GK73A	398	56.0×40.4	'88.4.13
GSX-R750	GR77C	748	73.0×44.7	'88.4.13
RH250J	SJ11C	249	70.0×64.8	'88.7.9
GSX-400R	CA74A	398	56.0×40.4	'88.7.9
TV250(ウルフ)	VJ21A	249.2	56.0×50.6	'88.8.3
GSX-R250R	GJ73A	248	49.0×33.0	'88.2.8
GSX-R250R(SP仕様)	GJ73A			'89.2.8
RGV250Γ	VJ21A	249.2	56.0×50.6	'89.2.8
RGV250Γ(SP仕様)	VJ21A			'89.2.8
GSX-R400R	VJ21A	398	56.0×40.4	'89.2.8
GSX-R400R(SP仕様)	VJ21A			'89.2.8
GSX-R750R	GR77C	749	70.0×48.7	'89.5.10
TS125R	SF15A	124	56.0×56.6	'89.5.10
RGV250Γ SP	VJ22A	249.2	56.0×50.6	'90.2.7
GSX-R400R	GK9A	398	56.0×40.4	'90.3.7
GSX-R400R SP	GK9A	398	56.0×40.4	'90.3.7
GSX-R750	GR7AC	749	70.0×48.7	'90.3.7
RGV250Γ	VJ2A	249	56.0×50.6	'90.4.6
RGV250Γ SPII(M)	VJ2A	249	56.0×50.6	'90.4.6
DR250SH	SJ44A	249	73.0×59.6	'90.10.4
DR250S	SJ4A	249	73.0×59.6	'90.10.4

●川崎重工業(株)

兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078(921)1451

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
GPZ400R	ZX400D	398	56.0×40.4	'85.2.25
FX400R	ZX400D	398	56.0×40.4	'85.11.28
GPZ600R	ZX600A	592	60.0×52.4	'85.6.10
GPZ750F	ZX750A	738	66.0×54.0	'85.6.10
VULCAN	VN750	749	84.9×66.2	'85.2.25
AR125S	AR125A	123	55.0×51.8	'85.1.30
CASUAL SPORTS	BR250A	249	74.0×58.0	'86.1.30
GPZ250R	EX250E	248	62.0×41.2	'86.1.30
GPX750R	ZX750	748	68.0×51.5	'86.7.9
ELIMINATOR	ZL750A	748	70.0×48.6	'86.1.30
GPX250R	EX250E	248	62.0×41.2	'87.3.31
GPX400R	ZX400F	398	56.0×40.4	'87.3.31
GPZ400S	EX400A	398	70.0×51.8	'87.3.31
KR-1	KR250B	249	56.0×50.6	'88.2.16
ZX-4	ZX400G	398	57.0×39.0	'88.2.16
KS-1	MX050A	49	39.0×41.6	'88.2.16
KS-II	MX080A	78	49.0×41.6	'88.2.16
KXM200	MX200A	191	67.0×54.4	'88.5.13
ZXR750	ZXR750H	748	68.0×51.5	'89.1.21
KDX200R	KDX200R	198	66.0×58.0	'89.1.21
ZXR250	ZX250A	249	48.0×34.5	'89.3.15
ZXR250R	ZX250A	249	48.0×34.5	'89.3.15
ZXR400	ZX400H	398	57.0×39.0	'89.3.15
ZXR400R	ZX400H	398	57.0×39.0	'89.3.15
KR-1S	KR250C	249	56.0×50.6	'89.4.13
KR-1R	KR250C	249	56.0×50.6	'89.4.13
KDX200R	DX200E	198	66.0×58.0	'90.2.7
ZXR250	ZX250A	249	48.0×34.5	'90.2.7
ZXR250R	ZX250A	249	48.0×34.5	'90.2.7
ZXR400	ZX400H	398	57.0×39.0	'90.2.7
ZXR400R	ZX400H	398	57.0×39.0	'90.2.7
ZXR750	ZX750H	748	68.0×51.5	'90.2.7
KDX200SR	DX200G	198	66.0×58.0	'90.5.3
KSR-I	MX050B	49	39.0×41.6	'90.5.3
KSR-II	MX080B	79	47.0×45.8	'90.5.3
ZEPHYR750	ZR750C	738	66.0×54.0	'90.9.20

スポーツ専用市販車・ロードレーサー

●(株)ホンダレーシング

埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎0484(77)9538

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
RS125R-V	ND4	124	56.0×50.7	'85.3.28
RS250R	ND5	249	56.0×50.6	'85.2.25
'87RS125R	NF4	124	54.0×54.5	'86.10.13
'87RS250R	NF5	249	54.0×54.5	'86.11.23
RS250R-II	ND5	249	56.0×50.6	'86.1.30
'88RS125R	NF4	124	54.0×54.5	'87.12.9
'88RS250R	NF5	249	54.0×54.5	'88.1.6
'89RS250R	NF5	249	54.0×54.5	'88.12.8
'89RS125R	NF4	124	54.0×54.5	'89.1.21
'90RS125R	NF4	124	54.0×54.5	'89.12.6
'90RS250R	NF5			'89.12.6
'90NSR250RK	NH3F	249	54.0×54.5	'90.3.7
'91RS250R	NF5	249	54.0×54.5	'90.12.1
'91RS125R	NF4	124	54.0×54.5	'91.2.1

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎0538(32)1150

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認年月
TZ250	59W	249.7	56.0×50.7	'85.1.29
TZ250	1RK	249.7	56.0×50.7	'86.1.30
TZ250	2KM	249.7	56.0×50.7	'87.2.10
TZ250	3AK	249	56.0×50.7	'88.2.16
TZ250	3LC	249	56.0×50.7	'89.1.21
TZ250	3TC	249	56.0×50.7	'90.1.3
TZ250	3XM	49	40.0×39.7	'90.2.7
TZ250	3YL	249	56.0×50.7	'91.1.20

スポーツ専用市販車・モトクロッサー

●本田技研工業(株)

東京都港区南青山2-1-1 ☎03(3431)1111

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
CR80R	HE04	79	46.0×47.8	'85.9.18
CR125R	JE01	123	54.0×54.0	'85.9.18
CR250R	ME03	249	66.4×72.0	'85.9.18
XR250R	ME06	249	75.0×56.5	'85.5.20
XR80R	HE01	79.7	47.5×45.0	'86.7.2
CR125R	JE01	124.8	54.0×54.5	'86.9.30
CR250R	ME03	249	66.4×72.0	'86.9.30
XR250R	ME06	249	73.0×59.5	'86.10.13
CR80R	HE04	79.4	46.0×47.8	'87.10.7
CR125R	JE01	124.82	54.0×54.5	'87.10.7
CR250R	ME03	249.3	66.4×72.0	'87.10.7
CR125R	JE01	124.8	54.0×54.5	'88.9.2
CR250R	NE03	249.3	66.4×72.0	'88.9.2
RM80L	RC12A	79.4	46.5×46.8	'89.8.18
RM125L	RF14A	124.8	54.0×46.8	'89.8.18
RM250L	RJ15A	249.6	67.0×70.8	'89.8.18
CR125R	JE01	124.8	54.0×54.5	'89.11.9
CR250R	ME03	249.3	66.4×72.0	'89.11.9
XR250R	ME06	249	73.0×59.5	'90.2.7
XR100R	HE03	99.2	53.0×45.0	'90.2.7
CR250R	ME03	249.3	66.4×72.0	'90.9.22
CR125R	JE01	124.8	54.0×54.5	'90.9.22

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎0538(32)1150

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
YZ80	1LR	79.1	47.0×45.6	'85.9.18
YZ125	1LX	123	56.0×50.0	'85.9.18
YZ250	1LU	246	68.0×68.0	'85.10.27
YZ80	2JF	79.1	47.0×45.6	'86.9.9
YZ125	2HG	123	56.0×50.0	'86.9.9
YZ250	2HH	246	68.0×68.0	'86.9.9
YZ80	2VF	79.1	47.0×45.6	'87.9.4
YZ125	2VN	123	56.0×50.0	'87.9.4
YZ250	2VM	246	66.0×68.0	'87.10.7
YZ125	3IDI	124	56.0×50.7	'88.9.2
YZ250	3JE1	246	68.0×68.0	'88.9.2
YZ80	3ML			
YZ250	3XK	249	68.0×68.8	'90.9.20
YZ125	3XJ	124	56.0×50.7	'90.9.20

●スズキ(株)

静岡県浜松市外高塚 ☎0534(40)2172

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
RM80	RC12A	79	46.5×46.8	'85.10.8
RM125	RF13A	123	54.0×54.0	'85.9.18
RM250	RJ13A	246	67.0×70.0	'85.9.18
RM80	RC12A	79	46.5×46.8	'86.11.23
RM125	RF13A	123	54.0×54.0	'86.11.23
RM250	RI13A	246	60.0×70.0	'86.12.15
RA125-II	SF13A	124	56.0×50.6	'86.11.23
RH250-II	SJ11C	249	70.0×64.8	'86.11.23
RM80	RC12A	79	46.5×46.8	'87.10.7
RM125	RF13A	123	54.0×54.0	'87.10.7
RM250	RJ14A	246	67.0×70.0	'87.10.7
RM80	RC12A	79.4	46.5×46.8	'88.9.2
RM125	RF14A	124.8	54.0×54.5	'88.9.2
RM250	RJ15A	249.6	67.0×70.8	'88.10.13
RMX250	RJ11A	249.6	67.0×70.8	'89.5.10
RM80XM	RC12A	79.5	46.5×46.8	'90.7.12
RM125M	RF14A	124.8	54.0×54.5	'90.7.12
RM250M	RJ15A	249.6	67.0×70.8	'90.8.10
DR350	DK41A	349	79.0×71.2	'90.12.6

●川崎重工業(株)

兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078(921)1451

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
KX60	KX060B	60	43.0×41.6	'85.7.15
KX80	KX080H	79	47.0×45.8	'85.7.15
KX125	KX125E1	124	56.0×50.6	'85.8.28
KX250	KX250D2	249	70.0×64.9	'85.8.9
KDX200	KDX200C	198	66.0×58.0	'86.10.13
KX80	KX080H	79	47.0×45.8	'86.8.5
KX125	KX125E	124	56.0×50.6	'86.8.5
KX250	KX250E	249	67.4×70.0	'86.8.5
KX60	KX060B	60	43.0×41.6	'87.9.4
KX80	KX080M	79	47.0×45.8	'87.9.4
KX125	KX125F	124	56.0×50.6	'87.9.4
KX250	KX250F	249	67.4×70.0	'87.9.4
KX80		79	47.0×45.8	'88.4
KX60		60	43.0×41.6	'88.9.2
KX80		79	47.0×45.8	'88.9.2
KX80-II		79	47.0×45.8	'88.9.2
KX125		124	56.0×50.6	'88.9.2
KX250		249	67.4×70.0	'88.9.2
KDX200R		198	66.0×58.0	'88.10.13
KX60	KX060B	60	43.0×41.6	'89.10.4
KX80	KX080M	79	47.0×45.8	'89.10.4
KX80-II	KX080P	79	47.0×45.8	'89.10.4
KX125	KX125H	124	56.0×50.6	'89.10.4
KX250	KX250H	249	67.4×70.0	'89.10.4
KX250	KX250H	249	67.4×70.0	'90.9.20
KX125	KX125H	124	67.4×70.0	'90.9.20
KX80	KX080S	79	47.0×45.8	'90.9.20
KX80-II	KX080V	79	47.0×45.8	'90.9.20
KX60	KX060B	60	43.0×41.6	'90.9.20

スポーツ専用市販車・トライアラ

●(株)ホンダレーシング

埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎0484(77)9538

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
TLM240R	F8F	236	72.0×58.0	'85.11.28
'87 TLM240R	F8F	236	72.0×58.0	'86.10.13
RTL250S	ND9	249	70.0×64.9	'86.10.13
'87 RTL250S	ND9	249	70.0×64.9	'86.10.13
RTL50S	NT9	49	39.0×41.4	'87.11.4
'88 TLM250R	F8F	249	74.0×58.0	'87.1.6
'88 RTL250S	NNO	249	70.0×64.9	'87.1.6
TLM220R		216	69.0×58.0	'88.4.11
'89 TLM250R	F8F	249	74.0×58.0	'88.11.3
'89 RTL250S	NNO	249	70.0×64.9	'88.12.8
TLM260R	NNI	256.2	75.0×58.0	'90.2.7
'91 TLM260R	NNI	256.2	75.0×58.0	'90.11.1

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎0538(32)1150

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
TY250R	1LW	246	68.0×68.0	'85.9.18
TY350R	1VY	341	80.0×68.0	'85.10.27
TY250R	1LW	246	68.0×68.0	'86.10.13
TY250R	3BB	246	68.0×68.0	'87.11.4
TY250R	4AJ	246	68.0×68.0	'90.11.6

スクーター

●本田技研工業(株)

東京都港区南青山2-1-1 ☎03(3431)1111

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
アクティブCH50E	35R			'87.3.4
リードS	AF01			'87.3.4
タクティ	AB19			'87.3.4
シャリー70	CF70	72		'87.3.4
リード80	HF01	79		'87.3.4
スベイシー80	HF02	76		'87.3.4
リーダー	A-AF03	49		'87.3.4
エクスパレス	A-AB20	49		'87.3.4
クスプレスビジネス	A-AB20	49		'87.3.4
スーパーカル	A-AF04	49		'87.3.4
イブ	A-AF06	49		'87.3.4
ビート	A-AF07	49		'87.3.4
フラッシュ	A-AB19	49		'87.3.4
イブスマイル	A-AF06	49		'87.3.4
ロードバール	NC50Z	49		'87.3.4
R&P	CY50	49		'87.3.4
Dio		49	39.0×41.4	'88.3.9
DJ-IRR		49	39.0×41.4	'88.3.9
PAL		49	41.0×37.4	'88.4.13
LEAD50		49	39.0×41.4	'88.5.13
LEAD90		49	48.0×41.4	'88.5.13
PAXCLUB		49	41.0×37.4	'88.5.13
シャリー	CF50	49		
STAND UP TACT	A-AF24	49	39.0×41.4	'89.5.10
HONDA G	A-AF23	49	39.0×41.4	'89.8.15

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎0538(32)1150

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
ナリアンCA50E	14T	49	40.0×39.2	'87.2.11
ナリアンCA50ES	14T	49	40.0×39.2	'87.2.11
ナリアンCA50ED	14T	49	40.0×39.2	'87.2.11
ジョグCE50E	27V	49	40.0×39.2	'87.2.11
ジョグCG50E	2JA	49	40.0×39.2	'87.2.11
チャンPJ50EM	54V	49	40.0×39.2	'87.2.11
チャンPJ50E	54V	49	40.0×39.2	'87.2.11
チャンPJ80ES	2GM	79	49.0×42.0	'87.2.11
チャンPJ50R	2NA	49	40.0×39.2	'87.2.11
チャンPJ50E	2NE	49	40.0×39.2	'87.2.11
ミンSH50E	1YU	49	40.0×39.2	'87.2.11
ミンSH50	1YU	49	40.0×39.2	'87.2.11
キューICN50ED	53L	49	40.0×39.2	'87.2.11
トライCP50E	52W	49	40.0×39.2	'87.2.11
ボタスンCQ50E	1HV	49	40.0×39.2	'87.2.11
エタセルCK50E	1YT	49	40.0×39.2	'87.2.11
アクティブCH50EM	35R	49	40.0×39.2	'87.2.11
アクティブCH50ET	35R	49	40.0×39.2	'87.2.11
バツルS50	2E9	49	40.0×39.2	'87.2.11
バツルS50D	2E9	49	40.0×39.2	'87.2.11
バツルミロンS50	2E9	49	40.0×39.2	'87.2.11
バツルHSS0II	2E9	49	40.0×39.2	'87.2.11
バツルHSS0IIE	2E9	49	40.0×39.2	'87.2.11
バセッタSB50	2MO	49	40.0×39.2	'87.2.11
バセッタSB50E	5MO	49	40.0×39.2	'87.2.11
CG80Z(JOG)	5MO	79	49.0×42.0	'88.3.9
CG50Z(JOG)		49	40.0×39.2	'88.3.9
CW50(BWS)		49	40.0×39.2	'88.5.14
CX50(CHAMP CX)		49	40.0×39.2	'88.5.14
CY50	3KJ	49	40.0×39.2	'89.4.5
ジョグCY50	3KJ	49	40.0×39.2	'90.4.6
ニュージョグ CY50Z	3RY	49	40.0×39.2	'90.5.3
YA50	3VP	49	40.0×39.2	'90.6.8
ジョグCY50D	3KJ	49	40.0×39.2	'90.7.12
YA50D	3VP	49	40.0×39.2	'90.8.10

●スズキ(株)

静岡県浜松市外高塚 ☎0534(40)2172

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
ラン	CA11A	49	41.0×37.8	'86.11.26
チャンス	CA12A	49	41.0×37.4	'86.11.26
パウ	CA13A	49	41.0×37.4	'86.11.26
ラフスター	CA15A	49	41.0×37.4	'86.11.26
ハイ	CA19A	49	41.0×37.4	'86.11.26
ラン	CA17A	49	41.0×37.4	'86.11.26
ジェンマ	A-CA1BA	49	41.0×37.4	'86.11.26
モレ	A-FA14A	49	41.0×37.4	'86.11.26
カーナ	A-CA18A	49	41.0×37.4	'86.11.26
シュート	A-CA14B	49	41.0×37.4	'86.11.26
アドレスチューン		49	41.0×37.4	'88.7.9
アドレスウェイ		49	41.0×37.4	'88.8.13
Hi-UP		49	41.0×37.4	'88.9.9
Hi-UP R	A-CA1DS	49	41.0×37.4	'89.2.8
アドレスチューン	A-CA1CA	49	41.0×37.4	'89.5.10
SEPIA	A-CA1EA	49	41.0×37.4	'89.5.10

'85~輸入車両

●(株)旺文社インターナショナル

東京都新宿区横手町55 ☎03(3266)6035

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
FANTIC TRIAL 101	FM266	249.4	74.0×58.0	'85.8.28
FANTIC HP 1	FM265	124.4	55.2×52.0	'85.8.28
FANTIC TRIAL 125.1	FM267	124.4	55.2×52.0	'86.8.5
FANTIC TRIAL 201	FM267	156.99	62.0×52.0	'86.8.5
FANTIC TRIAL 241	FM289	212	69.0×56.5	'86.8.5
FANTIC 243	FM363	212	69.0×56.5	'87.7.8
FANTIC 303	FM364	249.4	74.0×58.0	'87.7.8
FANTIC TRIAL 125	FM361	124.4	55.2×52.0	'88.1.6
FANTIC 245	FM363	212	69.0×56.5	'89.5.10
FANTIC 305	FM364	249.4	75.0×58.0	'89.5.10
FANTIC 247	FM363	212	69.0×56.5	'90.3.7
FANTIC 307	FM364	249.4	74.0×58.0	'90.3.7

●村山モータース

東京都渋谷区笹塚2-7-8 ☎03(3378)0181

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
DUCATI	ZDM750R	748	88.0×61.5	'86.7.9
DUCATI	ZDM750M	748	88.0×61.5	'86.7.9
DUCATI	ZDM400R	398	70.5×51.0	'86.7.9
DUCATI-750S		748	88.0×61.5	'88.10.13
DUCATI-851SI		851	92.0×64.0	'88.10.13
ドカチ400 スーパーエースジョグ	ZDM400SS	390	70.5×51.0	'90.5.3
ドカチ400 スーパーエースジョグ	ZDM906SC	904	92.0×68.0	'90.5.3
ドカチ400 バブ	ZDM906PC	904	92.0×68.0	'90.5.3

●(株)レイズ

大阪府東大阪市長田西5-81-1 ☎06(746)1010

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
BETATR-34	BETA B-3	239.2	72.8×57.5	'87.2.10
BETA TR-34/CAMPONATO	BETA-3	239.2	72.8×57.5	'89.5.10
BETA ZERO240	BETA B4	239.2	72.8×57.5	'90.3.7
BETA TR-35REVERSE	BETA B3	239.2	72.8×57.5	'90.3.7

●(株)カロッツェリア ジャパン

東京都千代田区神田東紺町26-1 ☎03(3252)9201

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
Bimota YB7	Y-B7	399	56.0×40.5	'89.2.17
Bimota YB4 corsa	YB-4E-1	749	68.0×51.6	'89.5.13
フサベル MC501	YU 77E 50ML	502	92.0×75.5	'90.9.7

●(株)トシニシヤマ

東京都大田区大森北3-13-2 ☎03(3766)4320

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
KTM125MX		124	54.0×54.0	'89.2.25
KTM250MX		246.9	67.5×69.0	'89.2.25

●(株)大沢商会

東京都港区芝浦4-2-8 ☎03(3455)0125

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
Aprilia CLIMBER240		238.2	70.5×61.0	'89.2.25
Aprilia CLIMBER300		276.6	76.0×61.0	'89.2.25
Aprilia TXR250		238.2	70.5×61.0	'89.2.25
Aprilia CLIMBER240	ED06M2960M	238	70.5×61.0	'90.4.6
Aprilia CLIMBER300	ED06M2960M	276.6	76.0×61.0	'90.4.6

●(株)亜路款

東京都世田谷区太子堂2-1-3 ☎03(3419)6053

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
GAS GAS		238.9	71.0×60.0	'90.3.7
GAS GAS	VTR GG	237.5	71.0×60.0	'90.11.2

●伊藤忠商事(株)

東京都港区北青山2-5-1 ☎03(3497)2121

車名	型式	排気量(cc)	ボア×ストローク(mm)	公認月日
GILERRA SATURNO	NH01	348.8	80.0×69.4	'90.7.12
GILERRA SATURNO	NH02	491.9	92.0×74.0	'90.8.1

'91 FIM公認車両

	SUPER BIKE	FORMULA 1	SUPER SPORT			
本田技研工業(株)	TRANSALP600V XL600R CBR600F NV750C VF750F VFR750F CBR750 VFR750R(RC30)	CB650(RC03) CBX650C VFR750F CB750F2 CB750K CB750FZ(RC04) NV750C VF750F VF750S CBX750F XLV750 CBR600F CBR750 NX650 VFR750R(RC30) XLV750R	CBR600F VFR400R(NC30) NSR250R(MC21) PC25			
	ヤマハ発動機(株)	FZR750R FZR750 FZ750 FZR600 TDM850	IT425 TDM850 XJ650 RD500LC XS650SP XJ700X XJ750 XJ750E XS850 RD400E FZ750 SRX600 FZR750 FZR750R FZR600 XTZ750	FZR600 FZR400RRSP TZR250SP TDM850		
		スズキ(株)	GSXR750J GSXR750 GSXR600FJ GSXR750R GSXR750L	PE400 GR650 GS650EZ GS650GZ GS750 GSX-R750 GSX750E GSX750EX GSX750SZ RG500P RG400P GSX-R750R GSX-R750 GSX-R750R	GSXR600FL GSXR600F GSXR400RSP RGV250SP	
			川崎重工業(株)	ZX750F ZX600A ZX600B ZX600C ZX750G ZX750H ZX750K ZX750J	KZ650 ZX750J KZ750 ZX750K KZ750V KZ750(Z2) ZX750A GPZ750R VN750 ZX750F(GPX750R) Z1(A&B) ZX750F ZX750G ZX750H	ZX600D ZX400H KR250C ZX400L ZX750K

B M W		K75 R65 R80	
ビ モ ー ト	YB4E1750		
ド ッ カ イ	750R ZDM851S ZDM1000R ZDM888S	DM650SL/A DM650SL ZDM750R	
	B S A	Rocket III	
	LAVERDA	750SF3	
	MOTO GUZZI	Le MANS	

MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選
形状/J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

'83~'84公認ヘルメット(ロードレース特選)

兼アライヘルメット	昭栄化工製
XJ040 ZZR RZ035 高橋国光 X-65 AVANTI スベンチーレブリカ クローレブリカ スーパードルフィン8 K-700 FA-200 シングルトンレブリカ VENT ASTRO SL-80 松本幸二 CLCRX-7 RACER REPLICA SUPER VENT RAPIDE RACING VENT	RF-KATAYAMA TASK-1 TASK-3 TASK-5 W-GARDNER V-II ARMET ER-II GR-Z ER-7 RF-102 RF-101 RF-VOGUE RF-GARDNER

公認ヘルメット

●昭栄化工(株)

東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎03(3502)0301

名 称	取得規格	形 状	公認年月
PS-J15	JIS-C・T用	J	'85.5.20
PS-J46	JIS-C・T用	J	'85.5.20
PS-J47	JIS-C・T用	J	'85.5.20
PS-J48	JIS-C・T用	J	'85.5.20
RF-V KATAYAMA II	SNELL JIS-C・R特選	F	'85.6.10
PS-R61	SNELL JIS-C・R特選	F	'85.6.10
PS-R62	SNELL JIS-C・R特選	F	'85.6.10
PS-R66	SNELL JIS-C・R特選	F	'85.6.10
VT-1	JIS-C・M用	J	'85.6.10
PS-J50	JIS-C・M用	F	'85.8.28
VX-1	JIS-C・M用	F	'85.8.28
VX-2	JIS-C・M用	F	'85.11.22
PS-L52	JIS-C・M用	J	'85.11.22
PS-L53	JIS-C・M用	J	'85.11.22
GX-1	SNELL JIS-C・特選	F	'86.3.26
PS-J48	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J20	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J51	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J52	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-R20	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
RF-α	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
TR-2	JIS-B・TR用	J	'86.7.2
VJ-1	JIS-C・M用	J	'86.8.5
RF-REAL	SNELL JIS-C・R特選	J	'86.10.13
R-76	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-77	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-78	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-79	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
RF-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23

IF-SARRON	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.3.4
VJ-201	JIS-C・T用	F	'87.3.31
TJ-72	JIS-C・T用	J	'87.6.31
GX-2	SNELL JIS-C・R特選	J	'87.6.5
GX-2(FAVOR)	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.6.5
RFV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RF-TRITONE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
REV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-ROBERTS	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
RV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-LAWSON	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-GARDNER	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4

●(株)アライヘルメット

埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825

名 称	取得規格	形状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIII	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用, SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8

●東京シート(株)

埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎0484(62)1121

名 称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L05)	JIS-B・TR, T用	J	'86.7.2
R91	JIS-C・R用	F	'86.7.2
AMI(L-06)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
Ami		J	'88.1.18
SEED-R22		F	'88.1.18
SEED-R23		F	'88.1.18
RHEOS R98		F	'88.1.18
RHEOS R99		F	'88.1.18
RHEOS		F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14

●(株)コミネオートセンター

東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9774

名 称	取得規格	形状	公認年月
KF-RX	JIS-C・R用	F	'85.6.10
KF-RX	SNELL・R特選	F	'85.10.8
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3

●(株)榎東

東京都世田谷区粕谷1-8-23 ☎03(3484)3121

名 称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N42	JIS-C・R用	F	'85.2.28
NOLAN N25	JIS-C・R用	F	'87.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13

●大日本インキ化学工業(株)

東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03(3272)4511

名 称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP'87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(ONE) S50C		F	'88.1.18
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL JIS-C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS-C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS-C・R用	F	'89.7.20
DIC	JIS-C・R用	F	'89.11.7

●興和精機(株)

東京都港区芝1-13-17 ☎03(3453)6011

名 称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GSS30)	JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)	JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GSS30)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モータース

東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	取得規格	形状	公認年月
KVAS(KVL-KEVLAR)	JIS-C・R用	F	'85.4.18
KVAS(TV-FIBER)	JIS-C・R用	F	'85.4.18
KVAS(CROSS)	JIS-C・M用	F	'85.4.18
MDS(M84)	JIS-C・M用	F	'85.3.28
MDS(M90)	JIS-C・R用	F	'85.3.28
AGV(X70)	JIS-C・R, M用	J	'85.3.28
MDS(M81)	JIS-C・R用	F	'85.3.28
AGV(X300/83)	JIS-C・R用	F	'85.3.28
MDS(M83)	JIS-C・R用	F	'85.3.28
AGV(KR2000)	JIS-C・R用	F	'86.1.30

●ワールド通商(株)

東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03(3818)5451

名 称	取得規格	形状	公認年月
ホルン・デザイン(CP-4)	JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)	JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)	JIS-C・R用	F	'88.1.6
ANSWER		F	'88.8.3

●(株)谷尾商会

大阪府松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名 称	取得規格	形状	公認月日
NAVA 3A/C	JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ

東京都港区芝浦1-6-38

名 称	取得規格	形状	公認月日
FJ(FJ-01)	JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)	JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インナダ)	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノ工業(株)

東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03(3494)3371

名 称	取得規格	形状	公認月日
EF-2	JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA	JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE	JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX	JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)

東京都港区六本木7-3-17 ☎03(3478)2707

名 称	取得規格	形状	公認月日
VS-2	JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)	JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEP-R02		F	'88.6.10

●ヤマハ大船渡製造(株)

岩手県大船渡市大船渡町字欠の向1-1 ☎0192(24)4104

名 称	取得規格	形状	公認月日
GEORAMA-TS	JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS	JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X	JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE	JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV		F	'88.3.15
GEORAMA-GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
CFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8

●ジャーティン・マセゾン(株)

東京都港区西新橋1-6-21 大和銀行虎ノ門ビル3F ☎03(3595)1613

名 称	取得規格	形状	公認月日
GPA(G1)	JIS-C・R用	F	'85.1.29
GPA(G2)	JIS-C・R用	F	'85.1.29
GPA(G4)	JIS-C・M用	J	'85.1.29
GPA(F1)	JIS-C・R用	F	'85.3.28
GPA(G1)	JIS-C・M用	F	'85.3.28
GPA(E1)	JIS-C・M用	J	'85.4.18

●マルシン工業(株)

東京都葛飾区四ツ木5-9-6 ☎03(3693)5791

名 称	取得規格	形状	公認月日
VT-910	SNELL JIS-C・R特選	F	'85.9.18
VT-810	SNELL JIS-C・M用	J	'85.9.18

●(株)レイズ

大阪府東大阪市長田西5-81-1 ☎06(746)1010

名 称	取得規格	形状	公認月日
クラクター(JET-1)	JIS-C・M,TR用	J	'85.9.18

●(株)ジャパンプロダクト

東京都江戸川区上一色町416-1 ☎03(3655)9055

名 称	取得規格	形状	公認月日
R120N R2-1	JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ

大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	取得月日	形状	公認月日
JT(ALS-1)	JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)	JIS-C・M用	F	'87.9.4

●(株)旺文社インターナショナル

東京都新宿区横寺町55 ☎03(3266)6035

名 称	取得規格	形状	公認月日
NAVA	JIS-C・T用	セリJ	'86.7.26

●(株)ローヤル

東京都大田区北千束2-26-11 ☎03(3726)1331

名 称	取得規格	形状	公認月日
ファンティックモーター	JIS-B・T用	J	'85.2.25

●(株)立花自動車用品

東京都江戸川区本一色557-3 ☎03(3653)6277

名 称	取得規格	形状	公認月日
アタセル・クレード	JIS-C・R用	F	'85.7.15

●(株)大部

東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	取得規格	形状	公認月日
BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06(364)4678

名 称	取得規格	形状	公認月日
MAC	JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426(65)7843

名 称	取得規格	形状	公認月日
BELL MOTO5	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03(3843)2000

名 称	型 式	公認月日
ON THE RACE G ²	RR, PX, MM, RD, PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MDI,2は条件付)	'90.10.23
KADOYA	OR・SR	'90.10.23

●(株)プロショップ高井

愛知県名古屋市中区江向町4-28 ☎052(531)5551

名 称	型 式	公認月日
Takai R	TR・TRL	'90.10.23

●(株)クシタニ

静岡県浜松市三島町231 ☎0543(56)8611

名 称	型 式	公認月日
KUSHITANI	KR・KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23

●(株)ルック

東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03(3604)7800

名 称	型 式	公認月日
SR	SR-01-03	'90.10.23
RS	RS-I-V	'90.10.23
SS	SS-I-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23

●(株)RSタイチ

大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	型 式	公認月日
Nixe レーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29

●(株)アズ・スポーツ

東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03(3709)3750

名 称	型 式	公認月日
Justys /	J-001R-J-023R	'90.10.23
Justys / J-PRO-R	JPR-001R-JPR004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SR-AS-007SO	'90.10.23

●(株)大都

東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	型 式	公認月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23

●(株)光輪モーターズ

東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	型 式	公認月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23

●(株)セクレテール

東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03(3714)0533

名 称	型 式	公認月日
セクレテール	RF, RC, RS, TR, MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23

●レーシングパドックテグナー

京都府京都市山科区川田前畑町1-8 ☎075(501)7137

名 称	型 式	公認月日
テグナー	R-1	'90.10.23
テグナー	R-2	'90.10.23
テグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

広島県福山市港町2-16-22 ☎0849(23)2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS-ゴーズアップシリーズ	'90.10.23

●(株)邑輝総研

東京都渋谷区神宮前6-31-21 ☎03(3409)9305

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのコウタ

茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296(49)0626

名 称	型 式	公認月日
コウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

愛知県一宮市大和町菟安賀字角出62 ☎0586(44)6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23

●東京ベルト(株)

東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422(45)2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

千葉県松戸市松台50-17 ☎0473(64)6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダー・レーシングスーツ)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3843)5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダー・レーシングスーツ)	'90.11.17



MFJ公認部品

●(株)京浜精機製作所

神奈川県川崎市中原区市ノ坪386 ☎044(411)6381

部 品 名	型 式	適用車種	公認月日
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY2	PJRR34	ロードレース用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJRR36	ロードレース用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJRR38	ロードレース用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX34	モトクロス用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX36	モトクロス用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PJMX38	モトクロス用	'85.12.15
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	CRS36	ロードレース・モトクロス用	'85.8.28
2サイクルE/G用キャブレター-ASSY	CRS38	ロードレース・モトクロス用	'85.8.28
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR	ロードレース用	'90.3.6
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR	ロードレース用	'90.5.3
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR	ロードレース用	'90.5.3
4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	FLAT-CR	ロードレース用	'90.5.3

●(株)無限

埼玉県朝霞市駿折町2-15-4 ☎0484(61)4131

部 品 名	型 式	適用車種	公認月日
無限'86ME125エンジンワーアップキット	YA1	モトクロス用	'85.11.28
無限SHOWA'87ME125777-777-777	YA1	'87CR125RH	'86.12.15
無限SHOWA'87ME125スペシャルリヤクッション	YA1	'87CR125RH	'86.12.15
無限SHOWA'87ME250777-777-777	YA2	'87CR250RH	'86.12.15
無限'86ME125フロントフォークASSY	YA1	'86CR125RG	'86.1.30
無限'86ME125スペシャルリヤクッション	YA1	'86CR125RG	'86.1.30
無限'86ME125スペシャルリヤクッション	YA2	'86CR250RG	'86.1.30
無限'86ME250777-777-777	YA2	'86CR50RG	'86.1.30
ME125Wエンジンワーアップキット	YA1	CR125RH	'87.3.4
ME125エンジンワーアップキット	YA1	CR125RJ	'87.12.9
ME125フロントフォークキット	YA1	CR125RJ	'87.12.9
ME125リヤクッション	YA1	CR125RJ	'87.12.9
ME250フロントフォークキット	YA2	CR125RJ	'87.12.9
ME250リヤクッション	YA2	CR250RJ	'87.12.29
ME125エンジンワーアップキット	YA1		'89.1.27
ME125フロントフォークキット	YA1		'89.1.27
ME125リヤクッションASSY	YA1		'89.1.27
ME125フロントフォークASSY(側立タイプ)	YA1		'89.1.27
ME250リヤクッションASSY	YA1		'89.1.27
ME250フロントフォークキット	YA1		'89.1.27
ME125エンジンワーアップキット	YA1	CR125R	'90.2.9
ME125フロントフォークキット	YA1	CR125R	'90.2.9
ME125リヤクッションASSY	YA1	CR125R	'90.2.9
ME250フロントフォークキット	YA2	CR250R	'90.2.9
ME250リヤクッション	YA2	CR250R	'90.2.9

●カヤハ工業(株)

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル ☎03(3435)3553

部 品 名	型 式	適用車種	公認月日
リヤショックユニット	OG-T	ロードレース用	'85.11.28
リヤショックユニット	OGS-T	ロードレース用	'85.11.28
NSR250用リヤショック	NSR250		'88.1.6

●カスノモーターサイクル

京都府伏見区下島羽田面田町95 ☎075(622)0225

部 品 名	型 式	適用車種	公認月日
H・Hシリンダー	49VHH	TZ250('81~'84)	'85.2.25

●カワサキオートバイ販売(株)

兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078(922)5039

部 品 名	型 式	適用車種	公認月日
GP400R用フロントフォークキット	ZX-R1	GPZ400R	'86.7.9
ZX-4用6速クロスミッションセット			'88.2.9
KR-1用6速クロスミッションセット			'88.2.9
ZX-4用フロントフォークキット	657FF1	ZX-4	'89.1.27
ZX-4用リヤショックアブソーバキット	675RCL	ZX-4	'89.1.27
ZX-4用クロスミッションギヤセット	ZX400H	ZX-4	'89.2.14
ZX-4用フロントフォークキット	657FF2	ZX-4	'89.2.14
KR-1用クロスミッションギヤセット	KR-1		'89.3.7
ZXR400,ZXR400R用キャブレター-ASSY	ZXR400,ZXR400R		'89.5.9

●(株)ホンダレーシング

埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎0484(77)9538

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
NS250R用6速ミッションキット	NE8	NS250R	'85.3.28
CBR400F用6速ミッションキット	NE5	CBR400F	'85.2.25
VF400F用6速ミッションキット	NE4	VF400F	'85.2.25
RS125R-V用キャブレター-ASSY	PJ12A	RS125R-V	'85.2.25
トランスミッションセット	NF2	VFR400R/Z	'86.3.26
トランスミッションセット	NF8	CBR400R	'86.7.9
トランスミッション	NH3	NSR250R	'86.10.30
トランスミッションセット	NFZ	VFR400R/2	'87.5.6
2.4サイクルE/G用キャブレター-ASSY			'88.3.15
トランスミッションセット			'88.2.9
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'89.1.27
NSR250R・Lフロントクッション	NH3	NSR250R	'89.1.27
NSR250Rトランスミッションキット	NH3	NSR250R	'89.2.14
RS125R-V, RS125R-V用リジダー-COMP		RS125R-V, RS125R-V-I	'89.6.13
VFR400Rトランスミッション	NLI	VFR400R	'90.2.9
VFR400Rリヤクッション	NLI	VFR400R	'90.2.9
NSR250Rトランスミッション	NH3	NSR250R	'90.3.6
NSR250Rフロントクッション	NH3	NSR250R	'90.3.6
NSR250Rリヤクッション	NH3	NSR250R	'90.3.6

●RC・SUGO

宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224(83)3111

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
TZR250用6速クロスミッションキット	1KT	TZR250	'85.10.27
FZ750クロスミッションキット	1FM-M	FZ750	'85.3.28
FZR400用クロスミッションキット	1WG	FZR400	'86.4.28
TZR250用クロスミッションキット	1KT	TZR250	'86.10.13
SRX400クロスミッション	2NY	SRX400	'87.3.31
'87TZR250クロスミッション	1KT	'87TZR250	'87.3.31
SRX600クロスミッション	2NX	SRX600	'87.3.31
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TX	FZR400R	'89.1.27
FZR400Rフロントフォークキット	2TK	FZR400R	'89.1.27
FZR400Rクロスミッションキット	2TK	FZR400R	'89.1.27
TZR250リヤサスペンションキット	2TK	TZR250	'89.1.27
TZ250ミッションレシオ変更キット	3MA	TZ250	'89.1.27
TZR250クロスミッションキット	3MA	TZR250	'89.1.27
TZ250リジダー-キッド	3LC-C	TZ250	'89.2.14
FZR400Rクロスミッションキット	2TK-RM	FZR400R	'89.2.14
FZR400Rリヤサスペンションキット	2TK-RS	FZR400R	'89.2.14
FZR400R用フロントフォークキット	2TK-FF	FZR400R	'89.2.14
TZR250リヤサスペンションキット	3MA-RSI	TZR250	'89.2.14
TZR250ミッションレシオ変更キット	3MA-RM	TZR250	'89.2.14
TZR250クロスミッションキット	3MA-RM	TZR250	'89.2.14

●(株)カロツツェリアジャパン

東京都千代田区神田東紺町26-1 ☎03(3252)9201

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
オーリス・ガスシヨックアブソーバー	YA7100	TZR250	'88.1.6
オーリス・ガスシヨックアブソーバー	DV7430	TZR250	'88.1.6
オーリス・ガスシヨックアブソーバー	BM4412	KJ30M/725.58CFR550/KX	'88.1.6
オーリス・リヤサスペンション	HO-0060	'90RS125R用	'90.5.3
オーリス・リヤサスペンション	HO-0070	'90RS250R用	'90.5.3
オーリス・リヤサスペンション	YA-0070	'90TZ250R用	'90.5.3
リヤシヨックアブソーバー	YA9510	'90TY250用	'90.6.8

●(株)ヨシムラジャパン

神奈川県愛甲郡愛川町中津6748 ☎0462(86)3868

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
GSX-R400用クロスミッション	YC86	GSX-R400	'86.4.28
ヨシムラSHOWA41Fフォークキット	YS-001		'89.1.27
'86GSX-R400用クロスミッション用約ナシヤット	YS-001	GSX-R400III	'89.1.27

●(有)モリワキエンジニアリング

三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593(70)0090

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
'87NSR250R用リヤサスペンションキット	HO7	NSR250R	'89.4.11
CBR400R用リヤサスペンションキット	HO5	CBR400R	'89.4.11
'89RS250Rリジダー改	NZ250	RS250R	'89.4.11
CBR400RR倒立フロントフォーク	MPT	CBR400RR	'90.4.13
VFR400R倒立フロントフォーク	MPT	VFR400R	'90.4.13

●(株)スポーツショップイシイ

東京都江戸川区北葛崎2-97 ☎03(3679)4266

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
TRZ250レース用リヤシヨックASSY	YC-1006	TZR250	'87.9.4
SDRリヤシヨックASSY			'88.2.9
TZ250用リジダー	YC-1008	TZ250	'89.2.14
TZ250スペシャルリジダー-ヘッド	YC-1009	TZ250	'90.7.12

●川崎重工業(株)

兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078(921)1451

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
KX125フロントフォーク-トリッジキット	KX-125-FC	KX125	'87.3.31
KX250フロントフォーク-トリッジキット	KX250-FC	KX250	'87.3.

●(株)日本ビート工業

大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722(57)7600

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
クロスレシオトランスミッション	ZX400-D1	GPZ400R	'85.3.28

●カワサキモーターサービス(株)

兵庫県神戸市西区玉津町居住92-1 ☎078(922)1492

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
KR250用6速クロスミッションセット	KR250AEM	KR250	'85.3.28
GPZ400R用6速クロスミッションセット	ZX400DEM	GPZ400R	'85.3.28

●オート用品(株)

静岡県浜松市篠原町21339 ☎0534(48)9851

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
GSX-R400Rリヤシヨックアブソーバー-ASSY	SXR63R	GSX-R400R	'89.2.14
GSX-R400RフロントフォークASSY	SXR63F	GSX-R400R	'89.2.14

●(株)浅見レーシング

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
FRONT FORK UP SIDE DOWN	3448	モトクロス用	'90.1.3

●(有)バム・レーシング

東京都台東区台東4-13-23 ☎03(3831)4265

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
2.4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PKW38S	ロードレース用	'90.7.12
2.4サイクルE/G用キャブレター-ASSY	PKW39S	ロードレース用	'90.7.12

●(株)エムシー・インターナショナル

大阪府大阪市福島区玉川2-7-4

部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 認 月 日
倒立型フロントフォーク	3612SA/VAP	ロードレース用	'90.8.7
リアシヨック	3568C/MA	ロードレース用	'90.8.7



MFJ公認タイヤ

●井上ゴム工業(株)

愛知県名古屋市中川区八家町3-28 ☎052(361)8661

タイヤ名	サイズ	公認月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'87.7.8

●日本ミシュランタイヤ(株)

東京都文京区本郷7-2-1 ☎03(5684)3322

タイヤ名	サイズ	公認月日
MICHELIN TRIAL COMPETITION×ITL	4.00R18 TL	'87.7.8

●部商会(株)

東京都千代田区神田美土代町3 ☎03(3233)2212

タイヤ名	サイズ	公認月日
ビレリートライアルタイヤ・MT73グラトリアル	2.75-21 MT73	'90.9.7

●(株)日本ダンロップ

兵庫県神戸市中央区筒井町1-1-1 ☎078(231)4141

タイヤ名	サイズ	公認月日
K 320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23



MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース	3,500円	MFJ共済会見舞金 1,000万円 (MFJが契約した傷 害保険含む)	MFJ共済会見舞金 A 通院実日数(ギプス等の固 定期間および通勤、通学、 就業が不可能として診断さ れた日数含む)×1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断 書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上 記、様式9のほかには傷害保 険請求用紙(大正海上)等 の各種書類が必要となりま す。
スポーツプロダクション ロードレース 50・80ccのロードレース (ノーマル車レース含む)				
公認サーキットにおける シングル・ツイン・クラシックレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,000円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	200円			
ミニバイクレース	500円			
エンデューロ	500円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	200円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ピットクルー	500円 (ライセンス料に含まれる)	↑	↑	↑
競技役員				
講師				

- ☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。
- ☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。
- ☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。
- ☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。
- ☆上記共済会は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けて下さい。
- ☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。
- ☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者からMFJ共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共

済会見舞金請求書(様式9)と診断書式(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中の必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヵ月以内に指定口座に振り込まれます。



歴代チャンピオンリスト

90年度全日本選手権シリーズチャンピオン《国際A級》

ロードレース500ccクラス チャンピオン

伊藤真一
(初)



Rd2	4/8	筑波	3位
Rd3	4/22	鈴鹿	1位
Rd5	5/13	SUGO	1位
Rd6	5/27	筑波	1位
Rd8	6/24	筑波	1位
Rd11	8/5	富士	7位
Rd12	8/26	SUGO	2位
Rd13	9/9	鈴鹿	5位
Rd15	10/7	SUGO	9位
Rd16	10/28	GP	3位
合計			157P

ロードレース250ccクラス チャンピオン

岡田忠之
(V2)



Rd2	4/8	筑波	1位
Rd4	4/29	西日本	3位
Rd5	5/13	SUGO	1位
Rd6	5/27	筑波	1位
Rd7	6/10	鈴鹿	1位
Rd8	6/24	筑波	2位
Rd9	7/8	SUGO	1位
Rd11	8/5	富士	2位
Rd13	9/9	鈴鹿	1位
Rd14	9/23	西仙台	1位
Rd15	10/7	SUGO	—
Rd16	10/28	GP	1位
合計			212P

ロードレース125ccクラス チャンピオン

坂田和人
(初)



Rd2	4/8	筑波	2位
Rd4	4/29	西日本	—
Rd5	5/13	SUGO	2位
Rd8	6/24	筑波	1位
Rd12	8/26	SUGO	—
Rd13	9/9	鈴鹿	1位
Rd14	9/23	西仙台	4位
Rd16	10/28	GP	1位
合計			110P

ロードレースTT-F1クラス チャンピオン

岩橋健一郎
(初)



Rd1	3/3	鈴鹿	1位
Rd3	4/22	鈴鹿	2位
Rd7	6/10	鈴鹿	2位
Rd8	6/24	筑波	1位
Rd9	7/8	SUGO	2位
Rd13	9/9	鈴鹿	3位
Rd15	10/7	SUGO	3位
Rd16	10/28	GP	—
合計			121P

ロードレースTT-F3クラス
チャンピオン

鶴田
竜二
(初)



Rd1	3/25	鈴鹿	2位
Rd4	4/29	西日本	1位
Rd6	5/27	筑波	1位
Rd7	6/10	鈴鹿	3位
Rd9	7/8	SUGO	2位
Rd11	8/5	富士	—
Rd14	9/23	西仙台	1位
Rd16	10/28	GP	2位
合計			129P

モトクロス250ccクラス
チャンピオン

モトクロス125ccクラス
チャンピオン

東福寺
保雄
(V9)



250ccクラス

Rd1	3/11	関東	2位	1位	(1)
Rd2	3/25	九州	1位	2位	(1)
Rd3	4/8	中国	6位	4位	(1)
Rd4	4/22	近畿	5位	3位	(1)
Rd5	5/12	鈴鹿	5位	3位	(1)
Rd6	5/27	SUGO	9位	4位	(1)
Rd7	6/17	GP鈴鹿	1位	10位	(1)
合計					208P

125ccクラス

Rd1 (Rd8)	7/15	北海道	3位	3位	(1)
Rd2 (Rd9)	8/19	関東	5位	11位	(1)
Rd3 (Rd10)	9/2	四国	11位	4位	(1)
Rd4 (Rd11)	9/30	東北	5位	4位	(1)
Rd5 (Rd12)	10/14	中部	2位	1位	(1)
Rd6 (Rd13)	11/4	GP九州	2位	2位	(1)
合計					171P

トライアル
チャンピオン

伊藤
敦志
(V3)



Rd1	3/4	九州	1位
Rd2	5/20	中国	1位
Rd3	6/10	東北	1位
Rd4	7/21	近畿	1位
Rd5	8/5	北海道	1位
Rd6	9/16	GP長野	3位
Rd7	10/7	北陸	2位
Rd8	10/28	中部	2位
合計			152P

ROAD RACE

●ロードレース部門('68~'90年)



年	部門	クラス	氏名
'68	アマチュア	90cc	角谷新二
		125cc	鈴木聖弘
		250cc	大脇俊夫
	ジュニア	90cc	酒井豊
		125cc	森井一夫
		250cc	森井茂夫
'69	アマチュア	90cc	野田正彦
		125cc	斎藤茂憲
		250cc	中尾康夫
	ジュニア	90cc	角谷新二
		125cc	高井俊次郎
		250cc	尾崎俊彦
'70	アマチュア	90cc	小田豊
		125cc	隅谷守男
		250cc	隅谷秀夫
	ジュニア	90cc	岩道博
		125cc	柴谷正
		250cc	小塚正男
'71	アマチュア	90cc	江崎正
		125cc	青山英二
		250cc	糟野雅治
	ジュニア	90cc	近藤英二
		125cc	小田豊
		250cc	大脇俊夫
'72	アマチュア	90cc	平井裕
		125cc	上田公次
		250cc	大橋富夫
	ジュニア	90cc	渡辺富士夫
		125cc	青木辰巳
		250cc	内田隆
'73	アマチュア	90cc	江崎正
		125cc	遠藤恒雄
		250cc	中尾康夫
	ジュニア	90cc	金谷秀夫
		125cc	杉本泉
		250cc	大脇俊夫
'74	アマチュア	90cc	菅原伸夫
		125cc	坂上公平
		250cc	上野真一
	ジュニア	90cc	毛利良一
		125cc	大本十生
		250cc	大本敬

年	部門	クラス	氏名
'72	エキスパート ジュニア	125cc	渡辺 富士夫
		250cc	阿部 孝夫
		251cc以上	内田 隆
セニア	125cc	小田 豊	
	251cc以上	小田 豊	
ノービス	90cc	杉野 順三	
	125cc	松山 守	
	250cc	橋本久仁啓	
ジュニア	90cc	新田 茂	
	125cc	坂 公平	
	250cc	山崎 達衛	
350cc	佐藤 順造		
エキスパート ジュニア	125cc	毛利 良一	
	750cc	片山 敬済	
セニア	125cc	角谷 新二	
	750cc	橋本 健	
ノービス	90cc	岡崎 隆史	
	125cc	佐藤 健正	
	250cc	井 克	
ジュニア	90cc	合津 悟志	
	125cc	石井 康夫	
	250cc	橋本久仁啓	
350cc	鈴木 修		
エキスパート ジュニア	125cc	岩道 博	
	750cc	阪本 裕介	
セニア	125cc	青木 辰己	
	750cc	高井 幾次郎	
アマチュア	90cc	片橋 英治	
	125cc	東金 育男	
	250cc	橋谷 俊彦	
ジュニア	90cc	田口 勝雄	
	125cc	山梨 保克	
	250cc	酒井 孝治	
350cc	大島 孝治		
エキスパート ジュニア	125cc	相沢 清	
	750cc	石井 康男	
セニア	125cc	江崎 正	
	750cc	浅見 貞男	
ノービス	90cc	牧野 栄	
	125cc	川上 浩	
	250cc	木下 恵司	
ジュニア	125cc	東金 育男	
	250cc	水谷 一博	
	350cc	太田 一博	
エキスパート ジュニア	125cc	飯田 浩之	
	250cc	毛利 良一	
	350cc	佐藤 順造	
750cc	高井 幾次郎		
ノービス	90cc	鈴木 利彦	
	125cc	伊藤 裕之	
	250cc	藤本 泰東	
ジュニア	125cc	川上 浩	
	250cc	山名 久	
	350cc	徳外 仁久	
エキスパート	90cc	平野 芳男	
	125cc	飯田 裕之	
	350cc	鈴木 修	
750cc	毛利 良一		
ノービス	125cc	上田 幸也	
	250cc	長谷川 嘉久	
	750cc		
ジュニア	125cc	伊藤 裕之	
	250cc	伊藤 巧	
	350cc	藤本 泰東	
エキスパート	125cc	上田 公次	
	250cc	上田 公次	
	350cc	石川 岩夫	
750cc	上野 真一		
ノービス	125cc	富田 英志	
	250cc	斉藤 光雄	
	750cc		
ジュニア	125cc	吉村 俊宝	
	250cc	阿部 三吉	
	350cc	平 忠彦	
国際A級	125cc	斉藤 三夫	
	350cc	木下 恵司	
	750cc	勝 勝	

年	部門	クラス	氏名
'80	ノービス	125cc	五百部 徳雄
		250cc	窪田 正二
		750cc	
ジュニア	125cc	山本 隆一	
	250cc	垣内 清孝	
	350cc	田中 光男	
国際A級	125cc	一瀬 憲明	
	350cc	平 忠彦	
	750cc	鈴木 修	
ノービス	125cc	荒木 利春	
	250cc	中山 博文	
	750cc		
国際B級	125cc	竹村 浩生	
	250cc	七尾 道夫	
	350cc	新井 亮一	
国際A級	125cc	一瀬 憲明	
	350cc	藤本 泰東	
	500cc	木下 恵司	
ノービス	125cc	窪田 雅樹	
	250cc	三浦 昇	
	750cc		
国際B級	125cc	荒木 利春	
	250cc	小林 大	
	750cc		
国際A級	125cc	一瀬 憲明	
	250cc	堀田 照男	
	500cc	水谷 勝	
ノービス	フォーミュラ3	宮城 光	
	125cc	吉田 健一	
	250cc	宮城 光	
国際B級	125cc	窪田 雅樹	
	250cc	坂口 彰	
	750cc		
国際A級	125cc	栗谷 二郎	
	250cc	斉藤 光雄	
	500cc	忠彦 忠彦	
ノービス	フォーミュラ3	斉藤 兼一	
	125cc	山田 浩史	
	250cc	塩森 俊修	
国際B級	フォーミュラ1	宮城 光	
	フォーミュラ3	宮城 光	
	250cc	清水 雅弘	
国際A級	フォーミュラ1	八代 俊二	
	フォーミュラ3	江崎 正	
	250cc	栗谷 二郎	
国際B級	フォーミュラ1	小林 大	
	フォーミュラ3	小林 大	
	250cc	平 忠彦	
国際A級	フォーミュラ1	神田 利明	
	フォーミュラ3	太田 浩一	
	250cc	井上 實博	
国際A級	フォーミュラ1	辻本 聡	
	フォーミュラ3	山本 欽本	
	250cc	小林 大	
ジュニア	フォーミュラ3	町井 邦生	
	125cc	藤沢 哲也	
	250cc	町井 邦生	
国際A級	フォーミュラ3	山本 隆一	
	フォーミュラ1	辻本 健一	
	250cc	吉田 信二	
ジュニア	フォーミュラ3	新垣 敏之	
	125cc	佐藤 聡一郎	
	250cc	嶋村 健太	
国際A級	フォーミュラ3	田口 益光	
	フォーミュラ1	大島 行弥	
	250cc	欽本 久	
ジュニア	フォーミュラ3	白井 直樹	
	125cc	原田 哲也	
	250cc	水井 康友	
国際A級	フォーミュラ3	塩森 俊修	
	フォーミュラ1	塩森 俊修	
	250cc	廣瀬 政幸	
国際A級	125cc	藤原 利彦	
	250cc	木間 儀彦	
	500cc	藤原 儀彦	

年	部門	クラス	氏名
'88	ジュニア	フォーミュラ3	福島 聡
		125cc	和人 和人
		250cc	坂井 秀也
国際A級	フォーミュラ3	ダグ・ポレン	
	フォーミュラ1	ダグ・ポレン	
	125cc	山崎 冬樹	
国内A級	SP750	吉川 和多留	
	フォーミュラ	高橋 勝義	
	フォーミュラ3(サイクル)	遠辺 学	
'90	国際A級	フォーミュラ3(サイクル)	仲内 正人
		フォーミュラ3(サイクル)	森兼 正明
		フォーミュラ1	鈴木 繁
国際A級	フォーミュラ3(サイクル)	窪田 竜二	
	フォーミュラ3(サイクル)	森北 貴行	
	フォーミュラ1	小林 敏也	
国際A級	125cc	岩橋 健一郎	
	250cc	坂田 和人	
	500cc	岡田 忠之	
国際A級	125cc	伊藤 真一	

*F3・2サイクルはMFJカップロードレース選手権のもの
です。

MOTO CROSS

●モトクロス部門('68~'90年)



年	部門	クラス	氏名
'68	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
		251cc以上	山下 和男
ジュニア	50cc	鏡名 博昭	
	90cc	鏡名 博昭	
	125cc	西 信之	
	250cc	西 信之	
	251cc以上	西 信之	
セニア	90cc	星野 一義	
	125cc	星野 一義	
	250cc	山本 隆	
アマチュア	50cc	田中 敏夫	
	90cc	多田 茂次	
	125cc	中里 道夫	
	250cc	岩尾 敏一	
	750cc	岩尾 敏一	
ジュニア	50cc	堀 勇	
	90cc	堀 勇	
	125cc	堀 勇	
	250cc	鈴木 秀明	
	750cc	鈴木 秀明	
セニア	90cc	山本 隆	
	125cc	矢島 金次郎	
	250cc	鈴木 忠男	
ノービス	50cc	一色 兼	
	90cc	小田切 信雄	
	125cc	平野 芳男	
	250cc	青木 雅和	
ジュニア	90cc	鈴木 都良夫	
	125cc	岩尾 敏一	
	250cc	岩尾 敏一	
セニア	125cc	吉村 太一	
	250cc	吉村 太一	
	750cc	吉村 太一	
ノービス	90cc	栗原 和年	
	125cc	栗原 和年	
	250cc	栗原 和年	

TRIAL

●トライアル部門('73~'90年)



年	部門	クラス	氏名
'71	ジュニア	90cc	中村 忠
		125cc	杉浦 種保
	250cc	竹沢 正治	
	エキスパート ジュニア	125cc	瀬尾 勝彦
250cc		瀬尾 勝彦	
セニア	125cc	矢島金次郎	
	250cc	上野	
'72	ノービス	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
	250cc	藤 秀信	
	エキスパート ジュニア	125cc	小田切信雄
250cc		池田 勝	
ジュニア	90cc	唐沢栄三郎	
	125cc	唐沢栄三郎	
	250cc	唐沢栄三郎	
セニア	125cc	鈴木 秀明	
	250cc	鈴木都良夫	
'73	ノービス	90cc	菅家 上 恵
		125cc	菅家 村 恵
	250cc	菅家 村 恵	
	ジュニア	90cc	古田 哲郎
125cc		古田 哲郎	
エキスパート ジュニア	125cc	古田 哲郎	
	250cc	古田 哲郎	
セニア	125cc	岸川 清秀	
	250cc	藤 秀信	
'74	ジュニア	90cc	鈴木都良夫
		125cc	鈴木 秀明
	250cc	鈴木 秀明	
	エキスパート ジュニア	90cc	谷川 徹二
125cc		谷川 徹二	
セニア	125cc	大賀 広美	
	250cc	大賀 広美	
'75	ジュニア	90cc	渡辺 明
		125cc	渡辺 明
	250cc	渡辺 明	
	エキスパート ジュニア	125cc	鈴木 秀明
250cc		鈴木 秀明	
'76	ジュニア	90cc	北村 隆賢
		125cc	青山 金助
	250cc	青山 金助	
	エキスパート ジュニア	125cc	東福寺保雄
250cc		東福寺保雄	
セニア	125cc	杉尾 良文	
	250cc	増田 耕次	
'77	ジュニア	90cc	月岡 尚人
		125cc	月岡 尚人
	250cc	月岡 尚人	
	エキスパート ジュニア	125cc	光安 鉄美
250cc		青山 金助	
セニア	125cc	鈴木都良夫	
	250cc	竹沢 正治	
'78	ジュニア	90cc	渡辺 義己
		125cc	小沢 孝
	250cc	福田 正敏	
	エキスパート ジュニア	125cc	佐藤 健二
250cc		大泉 浩一	
セニア	125cc	瀬尾 勝彦	
	250cc	瀬尾 勝彦	
'79	ジュニア	90cc	原本 松市
		125cc	庄司 覚
	250cc	ケイトロフット	
	エキスパート ジュニア	125cc	佐々木 隆
250cc		佐々木 隆	
セニア	125cc	瀬尾 勝彦	
	250cc	光安 鉄美	
'80	ジュニア	90cc	斎藤 武男
		125cc	大久保和親
	250cc	堀口 雅史	
	エキスパート ジュニア	125cc	秋元 春夫
250cc		原口 衛	
セニア	125cc	光安 鉄美	
	250cc	光安 鉄美	
'81	ジュニア	125cc	小野沢良一
		250cc	小野沢良一
	国際 B 級	125cc	谷川 龍太郎
	国際 A 級	125cc	庄司 覚

年	部門	クラス	氏名
'81	ジュニア	125cc	平山 勝一
		250cc	茶谷 学
	国際 B 級	125cc	岡部 篤史
		250cc	岡部 篤史
'82	ジュニア	125cc	東福寺保雄
		250cc	福本 敏夫
	国際 B 級	125cc	ロン・キング
		250cc	馬場 善人
国際 A 級	125cc	小橋 勝年	
	250cc	小橋 勝年	
'83	ジュニア	125cc	大関 昌典
		250cc	東福寺保雄
	国際 B 級	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
国際 A 級	125cc	茶谷 学	
	250cc	茶谷 学	
'84	ジュニア	125cc	庄司 良文
		250cc	杉尾 良文
	国際 B 級	125cc	調所 伸一
		250cc	小栗 伸幸
国際 A 級	125cc	菅原 義広	
	250cc	鶴田 忍	
'85	ジュニア	125cc	東福寺保雄
		250cc	スティーブマーチン
	国際 B 級	125cc	長沼 朝之
		250cc	花田 茂樹
国際 A 級	125cc	田淵 武	
	250cc	川崎 智之	
'86	ジュニア	125cc	岡部 篤史
		250cc	スティーブマーチン
	国際 B 級	125cc	藤本 正勝
		250cc	吉田 和泉
国際 A 級	125cc	花田 茂樹	
	250cc	花田 茂樹	
'87	ジュニア	125cc	伊田井佐夫
		250cc	東福寺保雄
	国際 B 級	125cc	岸田 隆夫
		250cc	橋本 慎二
国際 A 級	125cc	吉田 和泉	
	250cc	石橋 博也	
'88	ジュニア	125cc	岡部 篤史
		250cc	東福寺保雄
	国際 B 級	125cc	大塚 元和
		250cc	大塚 元和
国際 A 級	125cc	大塚 忠和	
	250cc	大塚 忠和	
'89	ジュニア	125cc	岡部 篤史
		250cc	東福寺保雄
	国際 B 級	125cc	黒古 尚利
		250cc	黒古 尚利
国際 A 級	125cc	芹沢大麻樹	
	250cc	榎本 正則	
'90	国内 A 級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
	国際 B 級	125cc	元木 龍幸
		250cc	村橋健太郎
国際 A 級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	東福寺保雄	

年	部門	氏名
'73	選 抜	木 村 治 男
'74	ノービス	伊 近 吹 健 博
	ジュニア	伊 近 吹 健 博
'75	ジュニア	黒 藤 秀 男
	エキスパート	蜂 加 藤 文 博
'76	ジュニア	町 黒 山 山 晴 一
	エキスパート	町 黒 山 山 晴 一
'77	ジュニア	山 本 昌 博
	エキスパート	山 本 昌 博
'78	ジュニア	山 田 民 雄
	エキスパート	山 田 民 雄
'79	ジュニア	佐 藤 雄 博
	国際 A 級	佐 藤 雄 博
'80	ジュニア	近 藤 一 美
	国際 A 級	近 藤 一 美
'81	ジュニア	石 黒 山 山 正 一
	国際 A 級	石 黒 山 山 正 一
'82	国際 B 級	高 山 雅 博
	国際 A 級	高 山 雅 博
'83	国際 B 級	和 山 本 弘 行
	国際 A 級	和 山 本 弘 行
'84	国際 B 級	米 沢 満 夫
	国際 A 級	米 沢 満 夫
'85	国際 B 級	泉 山 本 裕 昌
	国際 A 級	泉 山 本 裕 昌
'86	国際 B 級	小 山 林 直 樹
	国際 A 級	小 山 林 直 樹
'87	国際 B 級	小 谷 藤 敏
	国際 A 級	小 谷 藤 敏
'88	国際 B 級	成 伊 藤 敏
	国際 A 級	成 伊 藤 敏
'89	国際 B 級	宮 成 田 昌 浩
	国際 A 級	宮 成 田 昌 浩
'90	国際 B 級	前 野 繁 志
	国際 A 級	前 野 繁 志

SAFETY LEATHER

MFJ安全基準に合格。
加えてライダーに気持ちよいレザースーツ。
世界が認めたKUSHITANI Leathers.

数値が全てをあらわしているというつもりはありません。数字だけがひとり歩きをしてしまうと、無限の比較地獄の世界から抜け出すことができなくなってしまいます。それでもモノの性質の一部を端的にあらわすことができる、ひとつの判断材料にはなりません。例えばレザースーツ。このロードレースでライダーの身体を守るための革の鍵は、ともするとデザイン面と付属品が目につくもの。しかし、本来の“安全”というテーマを考えれば考えるほど、革そのものの性能が気になってくるので、デザインと機能を論ずる前に、革そのものを鍛えなければなりません。それがレザースーツメーカーに課せられた命題といえるのです。レザースーツは、モータースポーツの黎明期からしっかりとライダーを支えてきました。人類の生み出した驚異の天然素材として知られる皮革は、私たちの生活に密着しています。衣料、靴、鞆、家具などに形を変えて私たちの生活に潤いをもたらしてくれるのです。軽く、強く、しなやかな天然素材leatherは、ロードレースに欠かせないライダーのための必須アイテム。レザースーツ、グローブ、ブーツなしに時速270km/hの快感を味わうことはできません。leatherはライダーを完全に包み込み、安全と安心を提供してくれます。万一、270km/h(秒速75m/s)でクラッシュしたときのことを考えると、レザースーツそのものの安全を無視することはできません。無事に生還するために、我々は多くの新機構を導入しています。1991年、MFJレザースーツ公認制度がSTARTします。



91年型(右)機頭部写真

●皮革の厚さ1.2mm以上 ●皮革は引き裂き強度、引っぱり強度、摩擦強度についてMFJ基準を満たしていなければならない
●肩、肘、膝、膝の4ヶ所について皮革を最低2枚重ねにするか最低8mm以上の厚さが必要とする ●せき髄部分は8mm以上のパッドで保護されていること。 ●パンチング加工部分の強度—以上のような項目を満たしたレザースーツに対してMFJ公認マークが発給されることになりました。91年度は条件付きで、92年からは公認レザースーツ以外はロードレースで使用できなくなります。伝統あるクシタニレザースーツは、もちろんこれら厳重な規格をパス。安全性と着心地を満足させた最高級のレザースーツならではの性能はライダーの強力な支えとなります。丁寧な縫製、フィット感、プロテクション機能、全てがクシタニの誇りです。皮革を知り尽くしたプロフェッショナルたちの厳しい眼が今日もクシタニ製品を鍛え続けているのです。



KI-230 (MFJ公認) シェルタースーツ レザースーツ

ニューパターン採用により運動性を飛躍的に向上させたロードレース用レザースーツ。
●素材: (表) 牛革 (裏) マーバスマッシュ ●仕様: 肩、肘、膝、縫合、背中にインナープロテクター、腰から膝とヒザ上にシャーディング、ヒザ裏にジョーグを標準装備、同様にヒザ内側にパンチング、ピンホールタイプのエアダクト、両モモにKUSHITANIフォーム入り、R-03クレーンシッパ付き。
●カラー: 白/ガンメタリック 青/白 ●サイズ: M, L, LL ●¥170,000 ●既製品用仕様イメージオーダー価格 ¥190,000

NASU EXPLORER CIRCUIT
0287-63-7300

エクスプローラークラブ会員募集中!
お問い合わせは、お近くのクシタニショップもしくは、エクスプローラークラブ事務局 ☎03-3424-9560まで。



株式会社クシタニ

静岡清水浜松市三島町231平430番053(44)12251
仙台営業所: 仙台市若林区加町5-2-1 983-0222(239)3664
東京営業所: 世田谷区上馬4-2-1 アビル9F 1545 03(3424)2840
浜松営業所: 浜松市三島町231平430番053(44)12251
大阪営業所: 箕面市西小路3-17-12 メゾン 樋山 703 962 0727(21)2311
熊本営業所: 熊本市江津2-311-1 9662 0906(379)1752

SHOP LINE-UP

- 盛岡店 ☎0196-37-2621
- 仙台店 ☎022-239-3663
- 郡山店 ☎0249-22-5184
- 高崎店 ☎0273-63-2785
- 熊谷店 ☎0485-24-2264
- 川口店 ☎0482-55-9290
- 千葉店 ☎0472-42-8363
- 江東店 ☎03-3636-7681
- 文京店 ☎03-3944-0278
- 練馬店 ☎03-3931-5010
- 板橋町店 ☎03-3429-2261
- 五反田店 ☎03-3784-2352
- 府中店 ☎0423-69-3599
- 横浜店 ☎045-312-3022
- 辻沢店 ☎045-904-1711
- 平塚店 ☎0463-21-7880
- 浜松店 ☎0534-75-0211
- 佐鳴台店 ☎0534-56-9418
- 岡崎店 ☎0564-54-1537
- 文京店 ☎052-522-0749
- 名古屋天白店 ☎052-835-0595
- 名古屋東店 ☎0561-62-9033
- 鈴鹿店 ☎0593-70-0186
- 松新町店 ☎075-573-1301
- 京都西店 ☎075-811-5737
- 奈良店 ☎0742-71-7695
- 大阪南店 ☎06-541-3501
- 富田店 ☎0720-21-8174
- 箕面店 ☎0727-22-4105
- 堺店 ☎0722-22-3316
- 西宮店 ☎0798-73-6641
- 神戸店 ☎078-871-7515
- 姫路店 ☎0794-47-6333
- 岡山店 ☎0862-25-8330
- 広島店 ☎082-230-0012
- 福岡店 ☎092-551-8388
- 久留米店 ☎0942-43-9017
- 北九州店 ☎093-921-3014
- 大分店 ☎0975-43-3261
- 熊本店 ☎096-379-1752



仙台ハイランド レースウェイ

チカラ、ありったけ。



2 | 輪 | 走 | 行 | ラ | イ | セ | ン | ス | 講 | 習 | 会 |

〈ライセンスは取得日より1カ年有効〉

■ 申込方法 ■

前日までに電話にて予約申し込みをして下さい。☎022-395-2120・2123(仙台ハイランドレースウェイ)

■ 受付時間 ■

AM8:30~AM9:00

■ 当日持参するもの ■

運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆
又はボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、ブーツ、2輪車(No付、レーサー共に可)
※20才未満の方については、所定の誓約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

■ 費用 ■

新規ライセンス発給料20,000円・共済費5,000円・合計25,000円

■ 開催日 ■

3月より12月までの間



各サーキットのSPチャンピオンが競う

第2回 ハイランドグランドナショナルSPチャンピオン大会

(ハイランド選手権ロードレース第1戦併催)

主催及び参加申込先

- 主催●
ハイランドレースウェイクラブ Hi-Rac
- 参加申込●
仙台ハイランドレースウェイ
選手権事務局
- 申込期間●
3月4日～3月14日
- お問い合わせ先●
〒989-34 仙台市青葉区新川早坂12
TEL. 022-395-2120・2123

4/13(土)・14(日)

※第2回 ハイランドグランドナショナルSPチャンピオン大会は国内サーキットの'90地方選手権シリーズSP各クラス (SP125、250F、250、400) 1位から3位迄の選手を招待し、開催します。招待選手は出場料が無料、遠征費の一部が支給されます。出場御希望の招待対象の選手は、エントリーの手続きをお問い合わせの上申し込み下さい。

※挑戦者は'91MFJ国内B級保持者 (SP125・250Fは国内C級でも可) であれば誰でも参加可能です。

'91ハイランドロードレーススケジュール

開催日	大会名称	申込期間	地方選手権										全日本選手権							
			SP				国内B級			国内A級			国際A級	スペシヤル	国内A級			国際A級		
			SP125	SP250F	SP250	SP400	125	250	F-3	125	250	F-3	MFJカップ	80	125	250	F-3	125	250	F-3
4月13日(出) 14日(回)	第2回ハイランドグランドナショナルSPチャンピオン大会 ・ハイランド選手権ロードレース第1戦併催・	3/4-3/14	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	○ 12L	● 8L								
5月11日(出) 12日(回)	ハイランド選手権ロードレース 第2戦	4/1-4/11	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	○ 12L									
6月8日(出) 9日(回)	ハイランド選手権ロードレース 第3戦	4/29-5/9	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	○ 12L	● 8L								
7月20日(出) 21日(回)	ハイランド選手権ロードレース 第4戦	6/10-6/20	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	○ 12L									
8月17日(出) 18日(回)	ハイランド選手権ロードレース 第5戦	7/8-7/18	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L		● 8L								
9月21日(出) 22日(回)	全日本選手権第14戦 仙台ハイランド大会	8/12-8/22											○ 15L	○ 15L	○ 15L	○ 15L	○ 20L	○ 20L		
10月5日(出) 6日(回)	3時間耐久ロードレース	8/26-9/5	○ NB&N	○ NB&N	○ 3H NA&NB	○ 3H NA&NB				○ 3H NA&NB										
10月19日(出) 20日(回)	MFJカップロードレース選手権 イースタンシリーズ第4戦 ・ハイランド選手権ロードレース第6戦併催・	9/9-9/19	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L		☆ 15L	☆ 15L							

●はハイランド選手権シリーズ表彰対象レース

- * ○90分…90分耐久レース SP125・SP250Fの混走で行う。RiderはMFJ国内C級か国内B級のライセンス所持者で2名とする。
- * ○3H…3時間耐久レース SP250・SP400・F3の混走で行う。RiderはMFJ国内B級ライセンス所持者で2名とするが、その内1名はMFJ国内A級ライセンス所持者を登録することができる。

CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ

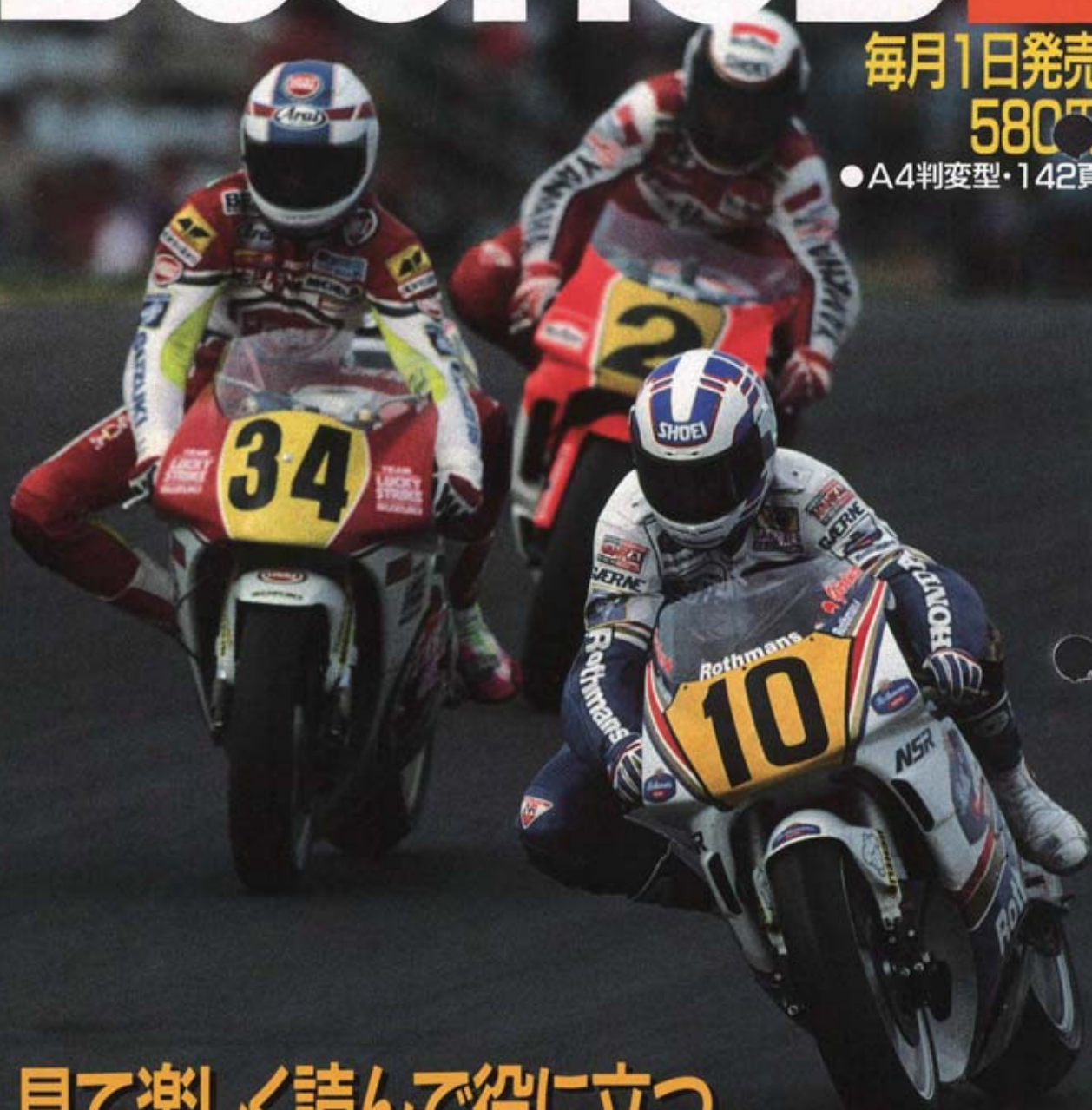
ロードスポーツマガジン

NOV.1991 NO.100

SINCE
1983

毎月1日発売
580円

●A4判変型・142頁



見て楽しく読んで役に立つ
ロードレース専門誌

このカードに国境はない。



世界187カ国770万店(国内120万店)が
サインひとつのビッグスケール

MFJ・GPカード

初回の年会費772円(含消費税22円)は、
MFJが負担します。お申込みはいますぐ!

MFJと世界No1カードのVISAが提携した「MFJ・GPカード」は、持つ人のライフステージからスポーツマインドまでまるごと応援します。ショッピング・レジャー・スポーツ・トラベルなど、国内から海外までVISA加盟店は群を抜いた幅広さ。

そのうえサービスも国際的——「VISAグローバル・アシスタンス・サービス」は、海外でも電話1本で最新情報やトラブル時の対応などを日本人スタッフが優しくアシストしてくれるし、「VISAグローバルATMネットワーク」なら、このカード1枚で世界38カ国に設置された45,000台のグローバルATMから現地通貨をその場で受け取れる。そのほか便利なサービス・特典が満載されているから言うことなし。プライベートからビジネス、もちろんモーターサイクルスポーツに欠かせない1枚となること請け合いです。

*満18歳以上(除く高校生)でお勤めされている方のお申込みをお待ちしています。

■MFJ・GPカードのお問合わせは
日本モーターサイクル協会 ☎03(865)8441

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル



GM-1 ¥13,000

■ファイバーグラス製 ■サイズ/M・L・XL ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・ベンチレーションシステム ■スライドシールド ■ワンタッチホルダー ■フレンツメッシュ(内装)



BM-1 ¥8,000

■ファイバーグラス製 ■サイズ/フリー(調整クッション付) ■カラー/ブラック・ホワイト・ネイビーブルー・バイオレット・クロームメタリック・オーディー(新色) ■ワンタッチホルダー

M-1 ¥7,500

■ファイバーグラス製 ■サイズ/S・M・L ■カラー/ブラック・ブルー・ホワイト・レッド・ピンク・ネイビーブルー・クロームメタリック ■ワンタッチホルダー ■イヤーフラップ着脱式



A5-1 ¥7,500

■ABS樹脂 ■サイズ/S・M・L ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・ネイビーブルー ■回転シールド ■ワンタッチホルダー ■イヤーフラップ着脱式 ■ワンタッチホルダー



K-80DX ¥9,500

■ファイバーグラス製 ■サイズS・M・L ■カラー/ブラック・ブルー・ホワイト・レッド・グリーン・クロームメタリック ■ワンタッチホルダー ■イヤーフラップ着脱式



GP-1 ¥13,000

■ファイバーグラス製 ■サイズ/M・L・XL ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・ネイビーブルー・クロームメタリック ■ベンチレーションシステム ■スライドシールド ■ワンタッチホルダー ■フレンツメッシュ(内装)



MA-1 ¥5,500

■サイズ/フリー(調整クッション付) ■カラー/ブラック・ホワイト・キャンディーレッド・ネイビーブルー・クロームメタリック ■ワンタッチホルダー

好評発売中 CAL(カル)シリーズ



FS-1 ¥14,000

■ファイバーグラス製 ■サイズ/M・L・XL ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・クロームメタリック ■回転シールド ■ワンタッチホルダー



US-1 ¥9,500

■ファイバーグラス製 ■サイズ/M・L ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・クロームメタリック ■回転シールド ■ワンタッチホルダー ■角型バイザー・角型シールド付



AB-1 ¥6,000

■ファイバーグラス製 ■サイズ/フリー ■カラー/ブラック・ホワイト・レッド・ネイビーブルー・クロームメタリック ■ワンタッチホルダー ■角型バイザー付

SHYシャイ なヘルメット。

*広告内の各製品価格には消費税は含まれておりませんので御購入の際には別途消費税が加算されます。予め御了承下さい。

MET メット工業株式会社

本社工場 〒136 東京都江東区北葛6-12-14 ☎03(645)2545(代) FAX.03(644)9695
千葉工場 〒289-27 千葉県海上郡飯岡町 ☎0479(57)2565

*ヘルメットは正しくお取り扱い下さい。

DUNLOP



攻めの走りこそ、僕そのものだ。——伊藤真一

無我夢中で走り続けた3年間。

ついに念願のタイトルが獲れて、最高に幸せだ。

がむしろに攻めるのが、僕の最大の武器だと思うから、

これからも守りのレースはしたくない。

いつも心の底で、自分自身に向かって「行け！」って叫ぶ。ただそれだけだ。

頂点を目指す男たちとともに、ダンロップもまた、レーシングテクノロジーの
すべてを注ぎ込んで、若い情熱をフルサポートします。

RADIAL POWER
Rideen





パワーの驚異

鋭い火花で驚異的なパワーを発揮。

NGK **V**シリーズプラグ



コールドパラジウム
Vプラグ
〔9〕BPSEV



プラチナ
VXプラグ
〔9〕BPSEVX



コールドパラジウム
EGVプラグ
〔9〕BBEGV



日本特殊陶業



Passion!

JECS

MOTOR SPORTS PROJECT

情熱の表現

僕たちは醒めてはいない、僕たちには目的がある、僕たちには夢がある、そして僕たちはそのすべてを必ず実現する！

「JECS MOTOR SPORTS PROJECT」のマインドも、そんな君たちと全く同じです。その、私たちの気持ちをすべて言い表わした言葉が「情熱の表現」なのです。

モータースポーツはあらゆるスポーツの中でも最もエキサイティングそしてパワフル。その極限のスピードの中で繰り広げられるドラマは私たちに最高の感動を与えてくれます。このドラマを私たちは多くの人達と共有したい、そして最高の感動を分かちあいたい。

「JECS MOTOR SPORTS PROJECT」は君たちと私たちJECSの情熱を表現するステージなのです！

カーエレクトロニクスのシステムメーカー

JECS

日本電子機器

本社・工場 群馬県伊勢崎市柏川町1671-1 TEL. 0270-26-7111

東京支社 東京都渋谷区東1丁目32番12号 TEL. 03-3407-6841
渋谷プロパティウエストビル(10-11階)

群馬・東京・広島・ロスアンゼルス